

末日聖徒イエス・キリスト教会・2015年9月号

# リァホサ

『家族——世界への宣言』

1995年9月－2015年9月

伝統的な結婚を擁護する, 12ページ

結婚生活を改善することによって  
子供を祝福する, 18ページ

結婚の律法を心に刻む,  
24ページ







「五羽のすすめは  
ニアサリオンで  
売られているでは  
ないか。  
しかも、その一羽も  
神のみまえて  
忘れられてはいない。

その上、  
あなたがたの  
頭の毛までも、  
みな数えられている。  
恐れることはない。  
あなたがたは  
多くのすすめよりも、  
まさった者である。」

ルカ 12:6-7



メッセージ

- 4 大管長会メッセージ——  
家族と祈り  
ヘンリー・B・アイリング管長
- 7 家庭訪問メッセージ——  
イエス・キリストの神聖な特質  
——力と栄光に満ちた御方

特集

- 12 主は今あなたを  
必要としておられます！  
M・ラッセル・バラード長老  
「神の武具」で身を固めて今日の戦い  
に加わるための3つの方法
- 18 結婚生活を改善することによって  
子供を祝福する  
ローリー・クラフ・シェード  
結婚生活の質は、あなたが思う以上に  
子供に影響を及ぼします。
- 24 神殿と、天が定めた結婚の秩序  
ブルース・C・ヘーフエン長老  
神がアダムとエバにお与えになった  
結婚の秩序に従うことにより、夫と  
妻は救い主のようになることができ  
ます。
- 30 教会手引き ——  
文書化された物事の規定  
ペア・G・マーム長老  
あなたの召しの義務について学ぼう  
としているところですか。教会の方針  
について質問がありますか。教会  
手引きに答えが載っています。

- 36 決して独りではない ——  
シエラレオネの聖徒たち  
ノーマン・C・ヒル  
試練にもかかわらず、この聖徒たちは  
天の御父が彼らを覚えてくださって  
いると知っています。

シリーズ

- 8 2015年4月の大会ノート
- 10 わたしたちの家庭、  
わたしたちの家族 ——  
祈り —— 母親の賜物  
匿名
- 40 末日聖徒の声
- 80 また会う日まで ——  
救い主の訪れ  
ロレンゾ・スノー大管長

表紙

表紙——写真/コーディ・バル  
表紙裏——フォトイラストレーション/  
デビッド・ストーカー  
裏表紙裏——写真/クレグ・ダイヤモンド





48

44 イエス・キリストの贖いの力を  
感じたとき

ヤングアダルトたちが、平安や希望、力を生活の中に見出すために、救い主の贖いをどのように生かすことができているかを紹介しています。

48 グアテマラにおける信仰の文化

リサ・ロペス  
教会の中で活発であり、他の聖徒たちとの交わりを持っていることは、このヤングアダルトの生活を祝福しています。

こんげつごう なか  
今月号の中に  
かく  
隠れている  
リアホナを  
さが  
搜しましょう。  
ヒント——  
モルモン書を読むと、  
どんな気持ちか  
しますか。

50 真に悔い改める方法

D・トッド・クリストファーソン長老  
悔い改めの5つの面は、基本原則に対するあなたの見方を変えること  
でしょう。

51 ポスター——生ける水を求めなさい

52 とどまるべきか、それとも、従うべきか  
メルビン・ロンディーリヤ  
家族を喜ばせるか、主を喜ばせるか  
——彼は決断しなくてはなりません  
でした。

54 あなたは変わることができます

デビッド・ティクソン  
学校で、そして人生で、あなたの過  
去の出来不出来があなたの将来の  
可能性を決めてしまうわけではあり  
ません。

56 世のものとならず

今日の世にあって世のものになら  
ないようにという救い主の戒めに、  
どのように従えばよいでしょうか。

59 そこが知りたい

60 セミナリーには価値があります

世界中の青少年がセミナリーに出  
席するために犠牲を払っています。  
でも彼らは皆、セミナリーが与えてく  
れるものは犠牲を払うだけの価値  
があるということに賛成しています。

62 「自分で分かりました」

トラビス・サール  
セミナリーは今、あなたの証を強める  
ためのさらに二つの方法を提供して  
います。

64 わたしたちのスペース

54



73

66 新約聖書に出てくる人——  
ほうとうむすこ

67 わたしたちの女性指導者

69 すばらしい考え

70 リンゼーの家族のパズル

ジル・ハッキング  
リンゼーのお父さんは、家族歴史が  
パズルとどのようににているのか説  
明してくれました。

72 家族のお話クイズ

キャロライン・コルトン  
家族のお話についてさらに知るた  
めに、家族とこのゲームをすること  
ができます。

73 特別な証人——  
どうしたら人に親切にできますか

74 喜んで助けます

エイミー・ジェーン・リービット  
ウィリアムと妹たちは葉っぱを集め  
終わっていい気分でしたが、ふと、  
となりの家の庭に気づきました。

76 聖文の時間——  
せいさん——イエスを思い出す

78 小さな みんなのために——  
新しい気持ち

フランシスレイン・ウルキディ・  
ファーファン・バサー  
家族とモルモン書を読んでいると  
き、ガブリエルは今までに感じたこ  
とのないものを感じました。



●定期購読は、「リアホナ」注文用紙でお申し込みになるか、郵便振替(口座名: 末日聖徒イエス・キリスト教会 振込口座番号/00100-6-41512)にて教会管理本部配送センターへご送金いただければ、直接郵送いたします。●「リアホナ」のお申し込み・配送についてのお問い合わせ……〒113-0057 東京都江戸川区西小岩 5-8-6/末日聖徒イエス・キリスト教会 管理本部配送センター 電話: 03-5668-3391

発行所 末日聖徒イエス・キリスト教会  
〒106-0047 東京都港区南麻布 5-10-30  
電話: 03-3440-2351

価格 年間購読: 国内 1,030円(送料込み)  
海外 1,030円(+送料実費)

海外在住の方はお近くのディストリビューションセンターへのお申し込みをお勧めします。  
普通号/大会号 100円

「リアホナ」へのご投稿およびご質問は、英語版ホームページ [iahona.lds.org](http://iahona.lds.org) からお送りください。電子メールの場合は [iahona@ldschurch.org](mailto:iahona@ldschurch.org) へお送りください。また、下記の連絡先でも受け付けています。

[iahona@ldschurch.org](mailto:iahona@ldschurch.org)  
Liahona, Rm. 2420, 50 E. North Temple St.,  
Salt Lake City, UT 84150-0024, USA

「リアホナ」(モルモン書に出てくる言葉。「羅針盤」または「指示器」の意)は、以下の言語で出版されています。

アルバニア語、アルメニア語、ヒスパラマ語、ブルガリア語、カンボジア語、セブアノ語、中国語、中国語(簡体字)、クアアチア語、チェコ語、デンマーク語、オランダ語、英語、エストニア語、フィンランド語、フランス語、ドイツ語、ギリシャ語、ハンガリー語、アイスランド語、インドネシア語、イタリア語、日本語、キリバス語、韓国語、ラトビア語、リトアニア語、マダガスカル語、マレーシア語、モンゴル語、ノルウェー語、ポーランド語、ポルトガル語、ルーマニア語、ロシア語、サモア語、スロベニア語、スペイン語、スワヒリ語、スウェーデン語、タガログ語、タヒチ語、タイ語、トンガ語、ウクライナ語、ウルドゥー語、ベトナム語(発行頻度は言語により異なります。)

©2015 Intellectual Reserve, Inc. All rights reserved. 印刷: 日本

「リアホナ」に掲載されている文章や視覚資料は、教会や家庭において一時的に、また非営利目的に使用する場合は複写することができます。視覚資料に関しては、作品の著作権表示に制限が記されている場合に複写できないことがあります。著作権に関するご質問は、Intellectual Property Office, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150, USA に郵送するか、電子メール [cor-intellectualproperty@ldschurch.org](mailto:cor-intellectualproperty@ldschurch.org) にご連絡ください。

**For Readers in the United States and Canada:**  
September 2015 Vol. 39 No. 9. LIAHONA (USPS 311-480)  
English (ISSN 1080-9554) is published monthly by The Church of Jesus Christ of Latter-day Saints, 50 E. North Temple St., Salt Lake City, UT 84150. USA subscription price is \$10.00 per year; Canada, \$12.00 plus applicable taxes. Periodicals Postage Paid at Salt Lake City, Utah. Sixty days' notice required for change of address. Include address label from a recent issue; old and new address must be included. Send USA and Canadian subscriptions to Salt Lake Distribution Center at address below. Subscription help line: 1-800-537-5971. Credit card orders (American Express, Discover, MasterCard, Visa) may be taken by phone or at [store.lds.org](http://store.lds.org). (Canada Post Information: Publication Agreement #40017431)

POSTMASTER: Send all UAA to CFS (see DMM 707.4.12.5).  
NONPOSTAL AND MILITARY FACILITIES: Send address changes to Distribution Services, Church Magazines, P.O. Box 26368, Salt Lake City, UT 84126-0368, USA.

# 家庭の夕べのためのアイデア

今月号には、家庭の夕べで活用できる記事や活動が載っています。以下に二つの例を挙げます。



「世のものとならず」56 ページ——ペリー長老が仕事上の集まりで牛乳の入ったグラスを掲げることにした経験を読みましょう。(このお話については、57 ページを参照。) 世にあって世のものとならないために、自分たちなりの方法について家族で話し合しましょう。例えば、友人たちが適切でない映画やポルノグラフィーを見ようと言ったら、どうすればよいでしょうか。あるいは、ジョセフ・スミスや結婚、純潔の律法についての信条をばかにする人にはどのように対処すればよいでしょうか。家族でこれらの質問に答える際、キリストの模範を心に留めておきましょう。

「新しい気持ち」78 ページ——記事と一緒に読み、聖霊がどのように語りかけられるかについて話し合うとよいでしょう。次の聖句を活用しましょう: ガラテヤ 5: 22-23 (愛、喜び、平和、寛容、柔和、慈愛、忠実、希望); ヨハネ 14: 26 (真理を教え、思い出させる); アルマ 19: 6 (闇を光に替える); モロナイ 10: 5 (真理を明らかにする); 教義と聖約 6: 14-15 (思いを照らす); 8: 2-3 (考えを頭に、気持ちを心に入れる) 聖霊を感じたときの経験を分かち合うとよいでしょう。

## あなたの言語で

[languages.lds.org](http://languages.lds.org) で、「リアホナ」や、教会のその他の資料を多くの言語で入手できます。家庭の夕べのアイデアや、日曜日のレッスンのためのヒントや、友達、家族と分かち合える靈感されたメッセージをみつめるために、[Facebook.com/liahona.magazine](http://Facebook.com/liahona.magazine) (現在は英語・スペイン語・ポルトガル語のみ) をご覧ください。

## 今月号に採り上げられているテーマ

数字は記事の最初のページを表します。

- 願い, 44
- 安息日, 42
- イエス・キリスト, 7, 44, 51, 56, 76, 80
- 祈り, 4, 10, 41, 43, 54
- 改宗・改心, 41
- 家族, 4, 12, 18, 24, 70, 72
- 家族歴史, 69, 70, 72
- 可能性, 54
- 犠牲, 24
- 悔い改め, 44, 50
- 結婚, 12, 18, 24
- 子供, 10, 18
- 指導者, 30
- 従順, 50, 52
- 信仰, 10, 36, 48
- 親切, 73
- 神殿, 24
- 新約聖書, 66
- 聖餐, 76
- 聖書, 59
- 聖霊, 78

- セミナー, 60, 62
- 懐み深さ, 59
- テクノロジー, 12
- 伝道活動, 36, 41
- 奉仕, 40, 74
- ポルノグラフィー, 12
- 模範, 4, 56
- モルモン書, 78
- 赦し, 44



大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・  
アイリング管長

# 家族と祈り

かつて、わたしが夜通し父を看病したとき、父は自分の子供時代のことについて話してくれました。困難な時期に感じた両親の愛について、また天の御父と救い主の愛について話してくれました。わたしは父ががんの末期であることを知っていましたので、父が天の御父に対する気持ちと、この世の父親の愛と優しさに対する気持ちとを時折混同することには特に驚きませんでした。父は祈るときに天の御父の笑顔を思い浮かべることができると思うと、度々口にしていました。

父の両親は父に対して、神に語りかける口調で祈ることを模範によって教え、また神が愛をもってこたえてくださるとも教えていました。父には最後までその模範が必要でした。痛みが激しくなった日の朝、ベッドのそばにひざまずいている父の姿がありました。ひどく弱っていてベッドに戻ることができないほどでした。父は、善い人になろうといつも努めてきたのにこれほどの苦しみに遭うのはなぜなのか、天の御父に尋ねるために祈っていたと、わたしたちに言いました。そして、「神には勇敢な息子たちが必要である」と優しく語りかける答えを受けたと言うのです。

こうして父は、神が自分を愛し、祈りを聞き、支えてくださると信じて、最後まで耐え続けたのです。父は恵まれて、愛にあふれた神が祈りのように身近であることを幼い頃から知っており、決して忘れることはありませんでした。

だからこそ、主は親たちに次のように教えておられるのです。「また、彼らはその子供たちに祈ることと、主の前をまっすぐに歩むことも教えなければならない。」(教義と聖約 68:28)

イエス・キリストの福音は、モルモン書や、家族をつなぐことのできる全ての神権の鍵とともに回復されました。それは、ジョセフ・スミスが少年時代に信仰をもって祈ったから

です。彼は愛にあふれた信仰深い家族の中でそのような信仰を身につけたのです。

20年前に、大管長会と十二使徒定員会が発表した「家族——世界への宣言」の中で、主は次のような勧告を家族に与えられました。「実りある結婚と家庭は、信仰と祈り、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動の原則にのっとり確立され、維持されます。」<sup>1</sup>

わたしたちは預言者ジョセフ・スミスを育ててくれた家族にどれほど感謝しても足りないほどです。彼の家族は信仰と祈りだけでなく、悔い改め、赦し、尊敬、愛、思いやり、労働、健全な娯楽活動についても模範を示しました。

皆さんの後に続く世代は、皆さんが家族の中で示した祈りの模範のゆえに、皆さんを祝福された者と呼ぶことでしょう。皆さんは神の偉大な僕を育てることはないかもしれませんが、しかし、皆さんの祈りと、忠実さの模範とによって、主イエス・キリストが善良な愛する弟子をお育てになるのをお手伝いすることはできます。

皆さんが自ら選んで主の役に立とうとするときに、祈りはあらゆる行動の基本となります。明らかに普通の人であっても、その人が祈るときに、他の人々を霊的に鼓舞し、そこで祈りを聞いてくださっている御方を見る目を開くことができるようにしてくれるのです。皆さんはそのような人になることができます。

家族の祈りでともにひざまずく人々にとって重要なことは何か、考えてみてください。皆さんが信仰をもって神に語りかけていると家族が感じるとき、彼らの信仰は深まり、彼らも神と語るようになることでしょう。家族も知っている祝福がもたらされたことについて、皆さんが神に感謝の祈りをささげるとき、神が彼らを愛しておられ、皆さんの祈りにこたえてくださっており、彼らの祈りにもこたえてくださるであろうと





いう、彼らの信仰は増すことでしょう。皆さんが何度も何度も個人の祈りの中でそれを経験して初めて、家族の祈りの中でそれが起こり得るのです。

神と語る父親と母親がいたことによって、わたしは今でも祝福にあずかっています。家族の中での祈りの

力に関する彼らの模範は、その後が続く世代に今もなお祝福をもたらしています。

子供たちも孫たちも、わたしの両親が示してくれた模範によって毎日祝福にあずかっています。愛にあふれた神が祈りを聞いてこたえてくださると

いう信仰が、彼らにも受け継がれているからです。皆さんは家族の中にこのような遺産を生み出すことができます。皆さんがそのようにして下さいますように。■

注

1.「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号、129

### 家族に関する宣言の20周年を祝う

「**家**族——世界への宣言」で教えられている原則は、1995年9月23日に初めて発表されたときと同様、今日も時宜になっています。あなたが教えている個人や家族に、以下の方法でこの宣言の20周年を祝うように勧めるとよいでしょう。

1. この宣言の中から、彼らにとって特別な意味を持つ原則をリストに挙げる。(上記のメッセージの中でアイリング管長が祈りについてこれを行っています。その方法を参照してください。)
2. それぞれの原則によって、現在、また

将来、彼らにどのように祝福がもたらされるか話し合う。

3. それらの原則を生活に取り入れ、また他の人々に分かち合うために、具体的な目標を設定する。

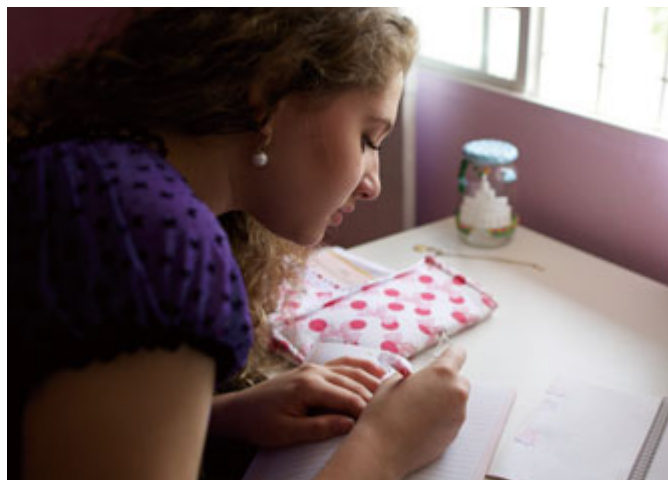
## 祈りを改善する

**あ**なたが天の御父と密接な関係を築くことによって家族に祝福がもたらされると、アイリング管長は教えています。あなたは祈りを改善することによって天の御父との関係を改善することができます。そのための方法について幾つかアイデアを紹介しましょう。

祈りを始める前に、何を伝えたいかについて考える時間を少し取ります。抱えている疑問や、これまで悩んできた事柄について考えます。忘れないように書き留めてもよいでしょう。聖霊からもたらされる穏やかな印象に集中できるよう雑念を追い払うために、この時間を使います。祈っているときに気が散るようであれば、天の御父が祈りを聞いてくださっている様子を思い浮かべるようにします。具体的に語りかけます。また、祈りの終わりに少し時間を取って、御霊の促しを聞きます。感じた印象を日記に書き留めるとよいでしょう。

祈りが「務めの一つ」と呼ばれていることを覚えておいてください (Bible Dictionary, “Prayer” の項)。そのために練習が

必要か、あるいは難しそうかどうかについては、心配しないでください。祈る努力をすることは神との関係を築くのに役立ち、それはやがて後の世代の祝福となります。



## こども

### いのりを思い出してもらおう

**ア**イリング管長が かぞくと いっしょに いのることの大切さを 教えています。みなさんは、毎日 いのることによって かぞくのもはんに なれます。そして毎日 いっしょに いのることを かぞくに 思い出してもらうことができます。左の カードを 切って かぞくぜんいんが 見えるところに はりましょう。そうすることで 天の お父さまは あなたの話を 聞きたいと 思っていられることを いつも 思い出せます。



てん の おとう さまは  
あなたの  
いのりを  
聞いておられます。

てん の おとう さまは  
あなたをあいしておられます。  
あなたの 名前を  
ごぞんじです。

大管長会第一顧問  
ヘンリー・B・アイリング管長  
【絶えざる啓示】『リアホナ』2014年11月号、73



祈りをもってこの資料を学び、何を伝えるべきか分かるよう祈り求めてください。  
救い主の神聖な特質が理解できるようになると、救い主を信じるあなたの信仰はどれほど増し、  
家庭訪問を通してあなたが見守っている姉妹にどれほど祝福が注がれるでしょうか。  
詳しくは [www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn](http://www.lds.org/callings/relief-society?lang=jpn) を御覧ください。

## イエス・キリストの 神聖な特質—— 力と栄光に満ちた 御方

本記事は、救い主の神聖な特質に焦点を当てた  
家庭訪問メッセージシリーズの一環です。

**聖**典は、イエス・キリストは「彼は  
**主**天においても地においても、  
一切の権威を受けられた。そして、  
御父の栄光は彼とともにあった」と  
教えています（教義と聖約 93：17）。  
十二使徒定員会の M・ラッセル・  
バラード長老は、救い主はこの力に  
より天地を創造し、奇跡を起こし、  
ゲツセマネとカルバリでの苦痛に  
耐えられたと語っています。<sup>1</sup> このこ  
とを理解すると、キリストを信じる  
信仰が増し、さらに強められるで  
しょう。

神殿の聖約を交わし、守るときに、  
主は御自身の力でわたしたちを祝福  
してくださいます。中央扶助協会会  
長のリンダ・K・バートン姉妹は次の  
ように言いました。「聖約を守る  
ことは強さと力と守りを与えます。  
……わたしは最近、愛する新しい  
友人に出会いました。その姉妹は、



神殿でエンダウメントを受けた後、  
それまで悩まされてきた誘惑に打ち  
勝つ力を得て強くなったと証してい  
ました。』<sup>2</sup>

ニーファイは聖約の力について証  
を述べています。「わたしニーファイ  
は、神の小羊の力が、……主の聖約  
の民のうえに下るのを見た。彼らは  
義と神の力とをもって、大いなる栄  
光のうちに武装していた。」（1ニー  
ファイ 14：14）

### その他の聖句

エレミヤ 51：15；黙示 1：6；モルモ  
ン書ヤコブ 4：6－7；モーサヤ 3：17

### 考えてみましょう

神の力はどのような方法でわたしたちに  
力と栄光をまわさせてくれるでしょうか。

#### 注

1. M・ラッセル・バラード「これがわたしの業で  
あり、わたしの栄光である」『リアホナ』2013年  
5月号、18
2. リンダ・K・バートン「聖約を守ることから生じる  
力と喜びと愛」『リアホナ』2013年11月号、111

信仰・家族・扶助



### 聖文から

イエス・キリストは、マルタと  
マリヤへの思いやりに満たされて、  
御自分が持っておられた神の力に  
より兄弟のラザロを死からよみが  
えらせられました。

イエスは、ラザロが墓に横たえ  
られてから4日後にマルタとマリ  
ヤの家に到着されました。ラザロ  
の墓に行くとき、イエスは入り口を  
覆っている石を取り除くよう命じ、  
マルタにこう言われました。「もし  
信じるなら神の栄光を見るであろ  
うと、あなたに言ったではないか。」  
それから父なる神に祈り、「大声で  
『ラザロよ、出てきなさい』と呼ば  
われた。

すると、死人は手足を布でまか  
れ、顔も顔おおいで包まれたまま、  
出てきた。（ヨハネ 11：1－45  
参照）救い主は御自分の力を使っ  
てわたしたちを贖い、力を与えられ  
ます。主が力と栄光に満ちておら  
れることを心に留めておくと、主  
を信じる信仰は増すでしょう。

# 2015年4月の大会ノート

「主なるわたしが語ったことは、わたしが語ったのであ〔る。〕……  
わたし自身の声によろうと、わたしの僕たちの声によろうと、それは同じである。」  
(教義と聖約1:38)

2015年4月の総大会を復習する際に、このページ(および今後の「大会ノート」)を使って、  
生ける預言者と使徒、他の教会指導者の最近の教えを学び、生活に取り入れることができます。

## 教義的な重要点



## 結婚生活を信じる

「次の世代を育てる方法として、結婚した親と子供たちのいる世帯ほど効果的な方法を思いついた人は、いまだかつていません。……

わたしがローマで再確認したように、結婚と家族は今もなお、ほとんどの人々の強い願いであり、理想です。このように考えているのはわたしたちだけではないというすばらしい、心強い、心の安らぐ事実をとときとき思い起こす必要があります。現代ほど、仕事と家族と個人に必要な事柄について現実にバランスを取るのが困難な時代はありません。しっかりと結婚生活

と家族を築き、支援するために、わたしたちは教会としてできる限り助けたいと思っています。」

十二使徒定員会

L・トム・ベリー長老(1922 - 2015年)  
「世界中どこでも——なぜ結婚と家族が大切なのか」  
『リアホナ』2015年5月号, 41, 42

2015年4月総大会で話された、結婚についての教義的な記事をさらに読むには、ボイド・K・バック「幸福の計画」(26ページ)、リンダ・K・バートン「ともに高め合しましょう」(29ページ)、D・トッド・クリストファーソン「なぜ結婚、なぜ家族か」(50ページ)を参照してください。

## 預言者の約束



## 神の恵みは 誰もが 受けることが できる

「神の恵みが、わたしたちの大いなる永遠の望みです。

イエス・キリストの犠牲によって、<sup>あわ</sup>憐れみの計画が正義の要求を満たし、「人々が悔い改めを生じる信仰を持つようにするその道を設ける」のです(アルマ34:15)。

わたしたちの罪は、たとえ<sup>ひ</sup>緋のようであっても、雪のように白くなります。わたしたちの愛する救い主が『すべての人のあがないとしてご自身をささげられた』(1テモテ2:6)ので、主の永遠の王国への入り口がわたしたちに用意されているのです。……

心が打ち砕かれ霊が悔いている人は誰でも、今日にでも、そして永遠に、神の恵みを受けることができます。……

主の戒めを守り、喜びに満ちて『新しいのちに生きる』ことによって、わたしたちが神への愛と、神の無限の恵みの<sup>たまもの</sup>賜物への感謝を示すことができますように。」(ローマ6:4)

大管長会第二顧問

ディーター・F・ワークトドルフ管長

「恵みの賜物」『リアホナ』2015年5月号, 108, 110



## あなたのための答え

各大会で、預言者と指導者は教会員が抱くかもしれない疑問に靈感を受けて答えています。それらの疑問への答えを見つけるには、『リアホナ』2015年5月号を読むか、[lds.org/general-conference?lang=jpn](https://lds.org/general-conference?lang=jpn) にアクセスしてください。

- わたしはイエス・キリストの贖い<sup>あがな</sup>を信じていますが、その力を受けて生活するにはどうすればよいでしょうか。デール・G・レンランド「末日聖徒は努力し続ける民です」56 参照
- 宣教師の伝道地はどのように決まるのでしょうか。宣教師から帰還宣教師へと切り替えるために何ができるのでしょうか。

セミナーとインスティテュートに参加することによりどのような祝福を受けるでしょうか。M・ラッセル・バラード「ヤングアダルト——最も偉大な世代の人々」67 参照

- どうすればもっと良い父親になれるでしょうか。ラリー・M・ギブソン「父親の役割——わたしたちの永遠の行く末」77 参照
- 肉体と地上における人生がもたらす独特の祝福は何でしょうか。ジョセフ・W・シターティ「生めよ、増えよ、地を従わせよ」126 参照



## 大会で話されたすばらしい物語

すばらしい物語以上にわたしたちの心を引くものがあるでしょうか。以下は、総大会で話された多くの物語のうちの4つです。

- アリゾナ州チンリステークのヤッツィー姉妹は、なぜ孫の人数が分からなかったのでしょうか。イエローヘア姉妹は思いがけない答えを口にしました。——キャロル・M・スティーブズ「神様からの家族」11 参照
- マリー・マデリーン・カードン姉妹の勇気の物語は劇的です。カードン姉妹は、1850年に北イタリアのアルプスで暴徒を前にして末日聖徒の信条を擁護した若い女性でした。今日のわたしたちの模範です。——ボニー・L・オスカーソン「家族の宣言の擁護者」14 参照
- 1991年、シエラレオネの内戦中にトゥーレイ家族が断食献金によりどのような祝福を受けたか読みましょう。——ヘンリー・B・アイリング「〔これは〕わたしが選ぶところの断食……ではないか」22 参照
- この勇気と希望、そして光に従うことについての物語は、最近大きく採り上げられたニュースですが、そのメッセージをわたしたちは永遠に応用することができます。——L・ホイットニー・クレートン「信じることを選ぶ」36 参照

総大会の説教を読んだり、見たり、聴いたりするには、

[lds.org/general-conference?lang=jpn](https://lds.org/general-conference?lang=jpn) にアクセスしてください。

## 祈り——母親の<sup>たまもの</sup>賜物

匿名

息子は反抗していましたが、わたしは息子のために祈ることを決してやめませんでした。

わたしは、息子の一人が17歳になった頃ほど、よく祈ったことはありません。その子は福音に疑問を持ち始め、時には反抗的で、聞く耳を持ちませんでした。夫とわたしはいつも教会に行かせようとしたのですが、多くの場合、拒否されました。わたしたちは家庭の夕べを開き、聖文を読み、家族で祈りましたが、その子はたいてい参加しませんでした。この子の心を動かしてこの子が正しい道を歩み続けられるようにしてください、と何度ひざまずいて天の御父に祈ったか分かりません。

それから2年間、その子には何度も浮き沈みがありました。教会の指導者はわたしを助けてくれましたし、本人と話してもくれました。でも、何の役にも立たないようでした。結局その子は家を出てしまいました。

その間ずっと、わたしは祈り続けました。ときどき夫はそうすることに疲れて、「放っておこう。この子には道徳的な選択の自由がある」と言いました。しかし、わたしの対応はいつも変わりませんでした。「いいえ、わたしは望みを捨てません。」

しばらくして、息子が家に来ました。そしてわたしに赦しを求め、「お母さん、家に戻りたい」と言ったのです。夫もわたしも半信半疑でしたが、話し合った末、受け入れることにしました。家に戻ってからというもの、その子からは、変わろうという決意が見て取れました。教会に活発に集うようになり、活動に参加するようになりました。

その後初等協会の教師に召されて奉仕しましたが、それはその子にとって特別な経験でした。

ある日わたしは、『リアホナ』に載っていたポスターを貼りました。「心配や疑いで釘付けになり専任宣教師になることをあきらめないでください」と書いてあるポスターです。<sup>1</sup> このポスターをその子の寝室に貼ってから

### 子供を助ける

道をそれた子供には選択の自由があるので、霊的な促しに応えないかもしれません。しかし、福音には、そのような子供を助ける方法がたくさんあります。

- 伴侶や他の子供たちと相談する。
- 恐れから行動するのではなく、霊的に強くなって、信仰と愛を原動力に行動できるようになる。
- 個人の啓示を受けるにふさわしい生活をし、子供を助ける方法について啓示を求める。
- イエス・キリストの弟子としての生きた模範となる。
- 言葉と行いで子供に愛を伝える。
- 家庭での福音学習、休暇、休日、計画などの家族の活動に子供を誘う。
- 決して諦めない。





2 か月ほどたったある日、その子が突然やって来て、「お母さん、ほくは年末に伝道に出たい」と言ったのです。すばらしいことです。夫とわたしは涙が止まりませんでした。そしてもちろん、その子が神殿に行き、伝道に出られるよう助けました。引き続き常に祈っていたわたしは、息子の心を動かしてくださったことに対して、天の御父に感謝をささげるようになりました。

伝道に出てしばらくたった頃、何度目かの手紙にこう書いてありました。「お母さん、お母さんのおかげで、ほくには祈りについての大きな証<sup>あかし</sup>があります。ほくはお母さんがほくのためにずっと祈っていてくれたことを知って

います。そして、ほくが今伝道地にいるのは、主がほくの心を動かしてくださったからであって、ほくが立派だったからでは決してありません。ありがとう、お母さん。ほくの人生を変えたこの原則を、教会の姉妹たちに教えてあげてください。」

息子は忠実に伝道し、驚くべき業に参加しました。この間天の御父がわたしの祈りにずっと耳を傾けて息子の心を動かしてくださったことにとっても感謝しています。おかげで息子は正しい道に戻りました。■

筆者はグアテマラ在住です。

注

1. 「次の一歩を踏み出そう」『リアホナ』2009年6月号, 31



## 親の影響

「神殿の聖約を尊ぶ親はその子供に対して時を超えて霊的な影響を及ぼすことのできる立場に……います。聖霊の導きと神権の特権とにより、家族が救いと昇栄の祝福にあずかることができるように助ける人には、神の導きと力を受ける権利が与えられますが、忠実な教会員たちは、このことを知って、慰めを得るのです。

……そのような影響力は、子供に与えられた選択の自由ほどの力はありませんが、それでも、招き寄せよう、誘おうとする力があります。結局のところ、子供としても自分の選択の自由を使って、信仰をもって応え、心の底から悔い改め、キリストの教えに従って行動を起こす必要があるのです。」

十二使徒定員会 デビッド・A・ベドナー長老  
「忠実な親と道をそれた子供」  
『リアホナ』2014年3月号, 19



十二使徒定員会  
M・ラッセル・  
バラード長老

# 主は 今

あなたを  
必要としておられます！

わたしは  
主イエス・キリストの使徒として、  
皆さんが「神の武具で身を固め」て、  
今日の戦いに加わるように  
勧めます。

**わ** たしたちが今住んでいるこの世界は、キリストの  
教えによる律法や慣習から急速に離れつつあり  
ます。その結果サタンは、神の息子と娘を混乱  
させ、選民を惑わして、彼らが自分の義務を果たさず、完全な  
主の祝福を受けないように、躍起になっています。

サタンの望みは、毎日聖文を研究することや、毎日祈る  
こと、毎週ふさわしい状態で聖餐せいさんを受けること、心から誠実  
に奉仕することなど、皆さんが家庭やセミナー、インスティ  
テュート、そして伝道で身につけた良い習慣をやめさせる  
ことです。さらに、重要で命運をかけた現代の戦いにあっ  
て、皆さんに傍観ぼうくわんしてほしと願っているのです。

忘れないでください。わたしたちは戦争のただ中にあり  
ますが、それは銃や弾丸を使う戦争ではありません。しか  
し、この戦争は現実げんじつに起こっており、数え切れない人々が  
犠牲ぎせいになっています。この戦争は、実は、前世で始まった  
戦いの延長なのです。

パウロは「神の武具で身を固め」るようにわたしたちに勧  
め、こう言いました。「わたしたちの戦いは、血肉けつにくに対するも  
のではなく、もろもろの支配と、権威と、やみの世の主権者、  
また天上にいる悪の霊に対する戦いである。」(エペソ 6：  
11 - 12)

わたしは主イエス・キリストの使徒として、皆さんが「神の  
武具で身を固め」、かつてヒラマンの息子たちが行ったよう  
に、今日の戦いに加わるように勧めます。結婚するまで、

生涯の仕事に就くまで、あるいは年を重ねるまで待たないで  
ください。教会は今、青少年の皆さんを必要としています。  
主は今あなたを必要としておられるのです！

皆さんは、2,000人の若い兵士が「ニーファイ人の自由の  
ために戦うという……誓いを立てた」ことを覚えているで  
しょう(アルマ 53：17)。教会は、「いつでも、どのようなこと  
についても、どのような所ところにいても……神の証人になる」と  
いう誓いを立てた現代の若い兵士を必要としています(モー  
サヤ 18：9)。

若い女性と若い男性は、現代におけるヒラマンの娘と息子  
です。彼らに向けられた次の言葉が皆さんにも当てはまるで  
しょう。「この青年たちは……この度……大いなる助け手  
となった。……」(アルマ 53：19)

## ボルノグラフィーと戦う

わたしたちはボルノグラフィーに対してともに戦うために、  
皆さんを必要としています。このひどい疫病まんえんは全世界に蔓延  
しつつあります。

180年以上前、主は健康の律法を明らかにされ、それには  
たばこの使用に対する警告が含まれていました(教義と  
聖約 89章参照)。多くの人がこの主の警告に聞き従いま  
したが、それより多くの人従いませんでした。その当時は  
もちろん、わたしが皆さんの年齢であったときでさえ、喫煙  
による長期的影響について知る人はいませんでした。今日、







数十年にわたる科学調査から、喫煙が肺がんなどの死に関わる病気の原因になっていることが分かっています。主の知恵の言葉は、わたしたちを守るための祝福だったのです。

同様に、主はわたしたちの時代に、ポルノグラフィーの影響について警告しています。何百万人もの人々が主の勧告に忠実に従う一方で、従わない人は無数にいます。愛する友人の皆さん、ポルノグラフィーの破壊的な影響に気づくまで、180年どころか10年さえも待つ必要ありません。最近の科学調査により、幾つかの点でポルノグラフィーが若い成人をむしろ、いつの日か来るはずの愛ある永続する結婚の機会を損ねることが明らかになっています。

その調査は、ポルノグラフィーに頻繁に接することにより、異常なほどの行動を取ったり、脳の思考回路に影響を与えて依存という牢獄に捕らえられることがあると示しています。さらに、ポルノグラフィーは非現実的な期待を膨らませ、健全で親密な人間関係について危険で誤った考えを与えることも立証されています。

最も気をつけなければならないのは、ポルノグラフィーによって、わたしたちは人を物として見るようになり、その結果、情緒的にも肉体的にも人を無視し軽んじるよう仕向けられるということです。

多くの場合、ポルノグラフィーには、秘密の行為という別の側面があります。ポルノグラフィーを見ている人はしばしば、その行為を隠します。少なくとも、恋人や伴侶など、周りに誰かいるときにはできる限りしないようにします。人がこのように自分の行為を隠すとき、つまり、自慢できないことを行い、それを家族や友人に秘密にすると、人間関係を損ない孤独感を抱くようになります。またそれだけでなく、気分が落ち込んだり、不安を感じやすくなり、自尊心も低下することが、研究の結果分かっています。秘密を持つことで信頼を損ねます。

まず、わたしたちはポルノグラフィーを自ら避けなければなりません。ポルノグラフィーは致命的なのです。それは、誠実で思いやりのある人間関係を損ない、結婚と家族を破壊します。致死率が最も高い毒が人の体と心を死に至らせるように、ポルノグラフィーは人の霊を破壊します。

だまされてはなりません。いったん伝道に出れば、またはいったん結婚すれば、この常習的な行為を止めることができると考えてはなりません。もし今このことに関わっているとしたら、この習慣のわなにかかっているなら、今すぐ霊的な助けを受けてください。救い主の助けによりポルノグラフィーを克服することができます。待たないでください。

どうかそれに関わらないでください。LDS.orgには、ポルノグラフィーの画像が持つ陰湿さを乗り越えるための多くの助けがあります。

今は困難に満ちた時代です。しかし、家族と教会を守るために立ち上がったヒラマンとその若い兵士の時代よりも困難というわけではありません。今こそ皆さんが足を踏み出し、義にかなった献身的な若い男性、若い女性の一人に加わり、ポルノグラフィーと戦う時です。

## 結婚の教義

わたしは皆さんに、聖文と「家族——世界への宣言」を通して天の御父から与えられているとおりの、結婚に対する教会の立場を理解してほしいと思っています。この靈感された声明文には次のように書かれています。「家族は神によって定められたものです。男女の間の結婚は、神の永遠の計画に不可欠なものです。子供たちは結婚のきずなの中で生を受け、結婚の誓いを完全な誠意をもって尊ぶ父親と母親により育てられる権利を有しています。」<sup>1</sup>

使徒には「敵がまだ遠くにいる間に」気づく見張り台の上の見張り人としての責任と（教義と聖約101:54）、キリストの教義を教える責任があります。皆さん全員が、今日、結婚の伝統的な定義が攻撃を受けていることを知っています。このテーマを公民権という見地に絞って話そうとする人々がいます。大管長会と十二使徒評議会は、教会の立場と、神の霊の子供たちが永遠の命を得るために不可欠な、死すべき人生を経験することに関する神の目的と計画に関わる教義を説明しています。

2014年に教会の指導者に向けた声明文を引用します。どうか、注意深く読んでください。

「神が定められた道徳に関する律法が、民法の変更により変わることはありませんし、全く変えることはできません。神は、たとえ社会の意見や潮流と異なるとしても、神の戒めを守り続けるよう、わたしたちに期待しておられます。神の純潔の律法は明白です。すなわち、性的な関係を持つことは、夫と妻として正式に法律にのっとって結婚した男女間のみで適切だということです。わたしたちは『家族——世界への宣言』に記された教義を再度読み直し、教会員に教えるように切にお願いします。」

声明文はこう続きます。

「同性結婚を推進する人が丁寧な扱いを受ける権利を有するのと同様に、同性結婚に反対する人にも同様の権利があります。……





教会員であるわたしたちは、イエス・キリストの福音を教える責任と、神の戒めを心に留めることにより注がれる大いなる祝福と同時に、戒めを顧みないときの必然の結果についても明らかにする責任を負っています。わたしたちは皆さんに切にお願いします。あらゆる地の人々の心が福音の真理に対して和らげられるよう、また、社会の未来にとってきわめて重要な問題について決定を下すよう求められる人々に知恵が授けられるように祈ってください。』<sup>2</sup>

わたしは、皆さんが主を愛し、支持していること、また主の預言者を支持していることを知っています。しかし、神の子供たちのために神が明らかにされた計画を支持する教会の決定に多くの意味があることに混乱している人がいることも知っています。

青少年の皆さんの中に、教会の教義に賛同していない人たちに対して、家族と結婚に関する教義をどのように、親切に、優しく、愛をもって説明すればよいかを理解することに苦労している人がいることを知っています。皆さんは、偏屈な人であるとか、心が狭い人であるというレッテルを貼られることを恐れて

いるかもしれません。

皆さんは、同性に魅かれることに苦しんだり、同性のパートナーと一緒に住むことを決めたりした人を知っているかもしれません。皆さんがそのような人たちを愛し支えながらも、主の永遠の幸福の計画に忠実であろうとするとき、神の息子娘として彼らを思う愛ゆえに、心に葛藤<sup>かつどう</sup>を覚えることがあるでしょう。

末日聖徒イエス・キリスト教会の考えを明確に伝えましょう。「同性に魅かれる経験は、多くの人にとって複雑に入り組んだ現実です。魅かれる気持ち自体は罪ではありませんが、その気持ちに従って行動することは罪です。誰に魅かれるかを選択することができないとしても、その気持ちにどう対応するかは選択できます。教会は愛と理解をもって、〔同性に魅かれる人を含めて〕神の全ての子供たちに手を差し伸べています。』<sup>3</sup>

教会は、人を排除するなどクリスチャンにふさわしくない行動を教えたり、提唱したりすることはありません。わたしたちは人々を愛し、彼らが神の戒めを無視したり、軽視したりすべきではないことを理解できるように助ける努力をしなければなりません。

天の御父は、  
墮落した世界に住むことの  
結果を御存じでした。  
そのため、  
神の子供たちのために  
「世の初めからほふられた  
小羊」を備えられたのです。

## 支援と理解のために

**教**会はポルノグラフィーと戦っている人や同性に魅かれる性癖に苦闘している人に理解を示し、支援を提供しています。教会はさらに、神聖な結婚の制度に関する理解を深めたいと思っている会員や、インターネットを通じて福音を分かち合いたいと考えている教会員のために資料を用意しています。以下のオンライン資料へのアクセスを検討してください。

- 「イエス・キリストの贖いを通してポルノグラフィーを克服する」  
[overcoming-pornography.org/?lang=jpn](http://overcoming-pornography.org/?lang=jpn)
- “God Loveth His Children”  
[lds.org](http://lds.org)
- “The Divine Institution of Marriage,”  
[mormonnewsroom.org](http://mormonnewsroom.org)
- 「インターネットで福音を分かち合う」  
[lds.org/church/share?lang=jpn](http://lds.org/church/share?lang=jpn)

## 証人と警告

「家族——世界への宣言」で大管長会と十二使徒定員会はこう述べています。「わたしたちは警告します。貞節の律法を犯す人々、伴侶や子供を虐待する人々、家族の責任を果たさない人々は、いつの日か、神の御前に立って報告することになります。またわたしたちは警告します。家庭の崩壊は、個人や地域社会、国家に、古今の預言者たちが預言した災いをもたらすことでしょ。」<sup>4</sup>

わたしはその警告に加わった者の一人です。見張り台の見張り人の一人として、わたしには「ラッパを吹き、民を戒める」責任があります（エゼキエル 33：1－9 参照）。わたしがそうするのは、皆さんを愛しているからです。そして、わたしたちが主と向き合い、主の戒めを守らなければならないことを皆さんに理解してほしいからです。それがわたしの義務です。

主の警告はまた、主のもとに来るようにとの招きとともに与えられています。天の御父は、墮落した世界に住むことの結果を御存じでした。そのため、神の子供たちに「世の初めから」「ほふられた小羊」を備えられたのです（黙示 13：8）。

「神はそのひとり子を賜わったほどに、この世を愛して下さった。それは御子を信じる者がひとりも滅びないで、永遠の命を得るためである。」（ヨハネ 3：16）

福音が「良きおとずれ」であることを忘れないでください。<sup>5</sup> 福音は希望のメッセージなのです。今問題を抱えているのなら、助けを得てください。主は憐れみ深く、赦しを与えてくださる御方です。

使徒パウロはこう教えています。

「だれが、キリストの愛からわたしたちを離れさせるのか。患難か、苦悩か、迫害か、飢えか、裸か、危難か、剣か。……

しかし、わたしたちを愛して下さったかたによって、わたしたちは、これらすべての事において勝ち得て余りがある。

わたしは確信する。死も生も、天使も支配

者も、現在のものも将来のものも、力あるものも、高いものも深いものも、その他どんな被造物も、わたしたちの主キリスト・イエスにおける神の愛から、わたしたちを引き離すことはできないのである。」（ローマ 8：35，37－39）

イエス・キリストにより、罪の意識を平安に変えることができます。健全な人間関係を回復することができます。依存症を克服することができます。

わたしたちは、家族と友人に、神は愛であり、「そして主は、御自分のもとに来て主の慈しみにあずかるように、すべての人を招かれる。……主のもとに来る者を決して拒めない」という真理を知らせる必要があります（2 ニューファイ 26：33）。

わたしは、皆さんが伝道に出る前、伝道中、そして伝道の後も、救いの業に携わってほしいと思っています。

## テクノロジーを活用して祝福をもたらす

主は、皆さんが自分の好きなソーシャルメディアを使うよう勧めておられます。それは、福音を分かち合うためであり、末の日の大いなる戦いにおいてヒラマンの現代の息子娘として行動するためです。主は、皆さんが現代の若い兵士となり、真理を強く支持して一つとなるように望んでおられます。主は、皆さんが敵の接近にも、勇敢で固い信念を持つように望んでおられます。わたしたちは、最後には主が勝利を収められ、サタンが敗北することを知っています。

今、ソーシャルメディアを賢く活用する機会があります。ソーシャルメディアには、それを使うための適切な時間と場所があることを忘れないでください。皆さんが学び、感じていることをどのように考えているか伝え、証を分かち合う時があるのです。さまざまなソーシャルメディアプラットフォームを通じて、家族や友人と、そして帰還宣教師はかつて教えた求道者や新会員とも、福音について話し合うことができます。皆さんは真理に対する証人として立ち、王国を守ることができるのです。





皆さんの中には、天の御父と主イエス・キリスト、そして教会に対する信仰を表明すると、間違っ**て**判断されたり、あざ笑われたり、嫌がらせを受けたりすることを心配している人がいることを知っています。愛する若い友人の皆さん、大きく広々とした建物の中**に**いる人々について心を煩わせないでください。

## 王国を守る

皆さんの中には、天の御父と主イエス・キリスト、そして教会に対する信仰を表明すると、間違っ**て**判断されたり、あざ笑われたり、嫌がらせを受けたりすることを心配している人がいることを知っています。その不安はよく分かります。

わたしは第二次世界大戦の終戦後に、若い宣教師としてイングランド伝道部で奉仕しました。当時、モルモンは「軽蔑的となり、笑いぐさ」となっていて、宣教師は冷笑とあざ笑いの対象でした(3ニーファイ16:9)。物を投げつけられ、唾を吐きかけられさえました。しかし、わたしたちはひるむことなく、証を宣べ、福音を分かち合い続けました。アビナダイやパウロ、そして救い主がそうであったように、わたしたちも身を引くことはありませんでした。わたしたちの働きがどのような影響を及ぼすことになるのかを、当時のわたしたちには想像することすらできませんでした。14の地方部がありましたが、ステーキはありませんでした。現在、ブリテン諸島にシオンのステーキが46あります。

愛する若い友人の皆さん、大きく広々とした建物の中**に**いる人々について心を煩わせないでください。ニーファイは、彼らが「その木の所までやって来てその実を食べている人々を指さし」、あざけり笑っているのを見ました。「その実を味わった後にあの人々にあざけり笑われたので恥ずかしく思い、禁じられた道に踏み込んで姿が見えなくなってしまった」

人のようにならないでください(1ニーファイ8:27, 28)。

皆さんは偉大で重要な世代の人々です。そして今、素晴らしい時に生きています。未来は明るいのです。自分自身にこう言い聞かせてください。「わたしが手を差し伸べて証を分かち合い、神がこの末の日に明らかにされた真理を教えるとき、わたしは主のお役に立っているのです。」

わたしたちが戦いのさなか**に**あり、年齢を問わず全ての人が一つとなって団結しなければならないことを分別をもって理解できるよう、主が皆さんを祝福し、年齢以上の知恵を与えてくださいますように。皆さんが歩んでいるこの旅路において、次のことを決して忘れないでください。皆さんは、将来、イエス・キリストが「もうそれで十分です」と言われ**て**、救い主、主の主、王の王、世の贖い主として統治し、支配するために戻られるその日のために、この世を備える大切な存在なのです。その主が生きておられることを証します。■

2014年5月4日にアメリカ合衆国カリフォルニア州で行われたヤングアダルト向けCESディポーショナルの説教「安らかに**あがな**して、わたしが神であることを知らないから」から。

## 注

- 1.「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
- 2.末日聖徒イエス・キリスト教会大管長会からの手紙, 2014年1月10日付(アメリカ合衆国), 2014年3月6日付(アメリカ合衆国以外)
3. "Love One Another: A Discussion on Same-Sex Attraction," mormon-sandgays.org
- 4.「家族——世界への宣言」129
- 5.『聖句ガイド』「福音」の項参照

結婚生活を改善することによって

# 子供を 祝福する

結婚および家族問題の公認セラピスト  
ローリー・クラフ・シェード

**最**近、危険な行為に関わることで、自らの命を危険にさらした経験のある若い女性にカウンセリングを行っていた時のことです。以前わたしは、彼女の両親の問題を扱ったことがありました。今回は、彼女が自分の家族の関係をどのように捉え、理解しているかを把握しようとしていました。両親の関係について尋ねたとき、彼女はわたしの目を見て、ためらうことなくこう答えました。「父と母はお互いに好きではありません。」

どうしてそのようなことが分かるのかと尋ねました。というのは、彼女の両親が、自分たちは一度も争ったことがないと何度も言っていましたし、夫婦間の苦悩に子供たちは気づいていないと断言していたからです。結婚および家族問題のセラピストとして、多くの夫婦がそのように断言するのをよく聞いてきました。

「父と母の関係は、すぐに分かりますよ。」彼女はそう答えました。家族が崩壊するかもしれないという不安に絶えずさいなまれていたと話してくれました。そのような不安のせいで、体に不調を来し、なかなか眠れず、学校に行くのもつらかったと涙ながらに打ち明けてくれました。「いつもそのことが頭から離れません。」彼女はそう言いました。

気づくか気づかないかは  
別として、  
結婚生活の質は  
子供に影響を及ぼします。  
あなたとあなたの伴侶が  
結婚生活を改善しようと  
努力するときに、  
子供も祝福を受けます。







彼女と向かい合って座り、うんざりするほど知っているこの種の話について考えるとき、心が引き裂かれる思いがしました。確かに、この両親は娘のことを愛していたでしょうし、何としても娘を助けたいと望んでいたことでしょう。しかし、気になるのは、結婚生活の問題が、娘や他の子供たちをどれほど傷つけているのかの判断が甘かったのではないかとということです。

家族の宣言では、こう述べられています。「夫婦は、互いに愛と関心を示し合うとともに、子供たちに対しても愛と関心を示すという厳粛な責任を負っています。」<sup>1</sup>「子供たちに対して」という部分が「夫婦は、互いに」という部分を押しつけているのではないかと心配になることがあります。

職業柄、自分たちの子供の成功を助けるために、多大な犠牲を払う教会員の姿を目にします。こうした親たちは、自分の子供が、祈り、聖典学習、教会への出席など、宗教上の良い習慣を身につけるように育てます。また、教育の履修や技術の習得を奨励し、子供たちを明るい未来へと備えさせます。しかし、若人を永遠の目的に備えさせる際に、質の高い結婚生活が及ぼす貴重な影響力を過小評価している人がいるのではないかと危惧するのです。

価値はあっても、結婚生活を強めるためにほとんど何の

役にも立たない大義に注意を向ける夫婦が大勢います。子供たちの発表会には一生懸命に時間を調整して出席しても、伴侶とデートをする時間を作れない夫婦がいるのです。慌ただしく子供を育て、仕事のキャリアを積み、教会の召しを果たす中で、結婚生活は容易に軽視され、また時には、言い争い、憤り、背信行為に染まることさえあります。

結婚生活が子供にもたらす力強い影響力を夫婦がより深く理解するようになると、明らかになってくることがあります。それは夫婦が積極的に結婚生活を育み、強めようとするとき、その努力がもたらす恵みは実に広範囲に及ぶということです。

### 夫婦関係の質は子供に影響を及ぼす

ほとんどの末日聖徒の夫婦は、結婚生活がうまくいくように望んでいると思います。また、彼らのほとんどが夫婦間で示す献身の度合いに、わたしは感銘を受けます。概して、結婚の永遠の聖約(教義と聖約131:2参照)を交わす末日聖徒は、その聖約を真摯に捉え、多くの場合、自分たちの結婚生活が損なわれないように非常に多くの苦悩を堪え忍びます。

しかし、互いに忍耐し合っているけれども、あまり愛し



合っていない夫婦に出会うことがあります。子供たちの前で単に口論を控えていれば、子供たちは結婚生活の亀裂に気づかないと勘違いしている夫婦がいます。子供は並外れた直観力があり、通常、何かうまくいっていないことがあるとすぐに気づきます。そのために深い不安感を抱くことがあるのです。結婚生活に衝突がないからといって、夫婦の結びつきが強くなるわけではありません。

夫婦関係の質と子供に関する調査により、質の高い結婚生活は情緒的な安定を高め、子供の全般的な幸福感を増すことが分かっています。<sup>2</sup> 実際の臨床でも、両親の結婚生活の質が子供に大きな影響を与えるという現実を目の当たりにしてきました。この原則は、スペンサー・W・キンボール大管長（1895 - 1985年）の言葉にも見いだすことができます。「結婚は目先の幸福だけでなく、永遠の喜びにつながっています。結婚は当事者である二人だけでなく、その家族や、特に二人〔の間〕に生まれてくる子供たち、さらに子供たちの子供たちへと、多くの世代にわたって影響を及ぼします。」<sup>3</sup> わたしは皆さんによく説明するのですが、夫婦は自分たちの結婚生活だけを形作っているのではなく、子供たち、さらには孫たちの結婚生活をも形作っているのです。

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老もこう語っています。「結婚は永続する貴いものであるという考え方が、どこでも希薄になってきています。自分自身の両親の離婚や、『結婚は自己実現の足かせである』という通俗的な考えに影響され、ある若い人々は結婚を避けています。揺るぎない決意をせずに結婚する人の多くは、最初の重大な問題に出遭うと逃げ出してしまいます。」<sup>4</sup>

結婚セラピストとして、はっきり言えますが、離婚したり、結婚生活の質が低い両親のもとで育った成人から、長期に及ぶ実り多い関係を維持し、継続する能力に自信がないという報告が数多く上がっています。そのような成人は、結婚生活における意見の不一致にしばしば極端に敏感であるため、どんなことをしても衝突を避けようとします。そのため、時には夫婦間の親密さが制限されることがあります。成人であっても、両親の結婚生活の衰退と破綻を目の当たりにしたときに経験した心の痛みを思い出して泣くのを見るのは、わたしにとって珍しいことではありません。夫婦関係の質が低い家庭の場合、結婚に対する子供の信頼感は薄れます。

## 夫婦関係の質を高めることを選ぶ

夫婦関係の質を高めることは、選択と深い関係があります。十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は「愛し合っている男女は、最高品質の結婚を選ぶことも、長持ちしない低品質の結婚を選ぶことも……できます」<sup>5</sup>と断言しています。

評判の良い結婚セラピストであり研究者であるウィリアム・J・ドハティは、決意と行動力を結びつけることの大切さ、すなわち夫婦関係を向上させる積極的な努力について書いています。「結婚生活は、絶えず補強し続けなければ、少しずつ損なわれ、やがては崩壊します。たとえ伴侶に対する揺るぎない決意があっても、わたしたちのほとんどは、そのような崩壊の過程を知りません。……行動力のない決意は、安定していても生気のない結婚生活をもたらすのです。」<sup>6</sup> 数多くの夫婦は深い決意と安定を口にしますが、結婚生活に役立つことを積極的に行おうという努力をほとんどしていません。結婚生活における貴重な資産が有効活用されないのを見ると落胆してしまいます。

## 伴侶を愛する

元中央若い女性会長のイレイン・S・ダルトン姉妹はある話の中で、父親が娘にできる最も大切なことは、「〔娘〕の母親を愛する」<sup>7</sup> ことであると提案しています。夫ではなくわたしに向けられた話であるという認識に心を刺し貫かれる思いがしました。夫はわたしよりもはるかに誠意を持って、子供たちに自分がどれほど伴侶を愛しているか伝えていました。わたしが部屋に入って行くと夫と子供の一人が次のような会話をしている場面に遭遇したことが数えられないほどあります。夫が尋ねました。「わたしがどう思っているか言ってごらん。」それに子供が答えます。「分かるよ……お母さんを愛しているんでしょう」「分かるよ……お母さんは一番の友達なんだよね」「分かるよ……お母さんは理想の女性なんですよ。」夫は、過去何年にもわたって幾度となくこのような会話を繰り返してきました。わたしは、自分の結婚生活で感じ、当然のことと思っていたこの限りない安定感は、夫が子供たちに妻への愛、称賛、敬意を惜しまず言い表した直接の結果だということに気づきました。

ダルトン姉妹の教えの大切さは、モルモン書の預言者ヤコブも強調しています。ヤコブはニーファイ人の罪悪を叱責したとき、レーマン人の「夫は妻を愛し、妻は夫を愛し、



## 結婚の可能性

「結婚には、どんな人間関係にも増して、大きな幸福をもたらす可能性があります。しかし、その幸福を十分享受していない夫婦もいます。そのような夫婦は、恋心が薄れ、互いの存在を当たり前のように思い、他への興味や無関心の影を放置しているため、結婚の本来の姿を見失っています。もっと注意深く育てば、結婚生活はさらに幸せなものになります。」

十二使徒定員会  
ラッセル・M・ネルソン長老  
「結婚のきずなをなくむ」  
『リアホナ』2006年5月号, 36

夫と妻は子供たちを愛している」(モルモン書ヤコブ3:7)ことを指摘し、主はこのことをきわめて重要視しておられることを強調しました。

教会が放送する公共広告シリーズ Homefront (ホームフロント) で人気のテレビコマーシャル “By the Hour” (バイ・ジ・アワー) では、一人の少年が働いている父親の関心を引こうとします。あるとき、父親はこう言います。「お父さんが仕事をしなかったら、お金がもらえないんだよ。」それに母親が付け加えます。「お父さんの仕事をとても気に入っている人がいるから、それにお金を払ってくれるのよ。」<sup>8</sup> これはわたしのお気に入りの広告です。一人の親が割り込んできて、子供を応援するために、内気なもう一人の親を責めるという一般的でありながらも非効果的な三角関係を避けているからです。こうした三角関係が生まれると、通常、責められた親は自己弁護をし、子供は不安感を抱くこととなります。肯定的で効果的な言葉を使うことで、この広告に出てくる母親は父親と子供の両方を助けています。もっと多くの親が、自分たちの会話を、もっとこのような会話になるように変えるなら、全体的な夫婦および家族の質は改善されることでしょう。

## 夫婦関係の質を高めるための提案

夫婦関係の質を高めることについての良い点は、小さな変化を取り入れると、効果はすぐに現れ得るということです。幾つかの提案を挙げましょう。

5年後、10年後、あるいは20年後に自分たちの結婚生活がどうなっていてほしいか、はっきりと言葉にして共有する。自分たちが理想とする結婚生活について話し合わない夫婦が多いことに、わたしはいつも驚いています。このような会話をすることで、夫婦は結婚生活を中心に据え、積極的な夫婦関係の向上と将来に対する決意の道を歩むことができる

ようになります。

**結婚生活の楽しい思い出を書き留め、分かち合う。**否定的な感情は影響力が大きいので、希望を消し去ってしまうことがよくあります。楽しい思い出について考え、分かち合うと、再び希望を感じることができるようになります。

**試練を二人で克服できたときの思い出を分かち合う。**こうした状況を思い出すことによって、結婚した夫婦として一致することができます。

**二人が離れて再び会うときのためのささやかなでも有意義な決まりごとを作る。**直感的と思われるでしょうが、結婚生活において何回も肯定的なものを生み出すうえで、キスや抱擁、あるいは言葉による表現は大切です。夫婦はこのことを忘れることがよくあります。

**デートに目新しい要素を入れる。**新たな経験を得ようとする意図をもってデートする夫婦の関係は、質的に向上することが多いという調査結果があります。これにはお金ではなく、創造性や努力が必要です。

**日頃から、子供の前で伴侶を褒める。**これはわたしのお気に入りの方法です。カウンセリングを受けている夫婦にこの方法を実践してもらったところ、すぐに肯定的な結果があったとの報告を受けました。

**心を高め夫婦関係を改善するためのリソースを積極的に探す。**このリソースには、書物や記事(印刷物や音声によるもの)、ゲーム、講演、ファイヤサイド、ワークショップ、大会などが含まれます。

**以前よりもどのくらい夫婦としての結びつきが強まったか、日頃から、互いに聞き合い、夫婦間のギャップを埋めるために何ができるかを話し合う。**これは毎日、毎週、あるいは毎月行うことができ、そうすることで結婚生活に注意を向けることができます。

**必要なら、ビショップと相談のうえ、専門的なリソースを利用する。**さまざまな理由で、人は助けを求めるのを先送りすることがあります。結婚生活が強い憤りで毒される前に、夫婦が





もっと早く助けを求めたらよかったのにと何度思ったことが数え切れません。

**祈る。**大管長会第一顧問であるヘンリー・B・アイリング管長は、次のように勧告しています。「互いの長所を見ることができるよう愛を祈り求めてください。弱点や失敗が小さく見えるような愛を祈り求めてください。相手の喜びを自分の喜びとできるよう愛を祈り求めてください。相手の重荷を減らし悲しみを和らげるような愛を祈り求めてください。」<sup>9</sup> もしこれが難しすぎるようであれば、伴侶としてそのようなことを願う望みが持てるように祈るとよいでしょう。

### 天の御父はわたしたちが幸せな夫婦関係を楽しむことができるよう望んでおられる

ハワード・W・ハンター大管長（1907 - 1995年）は次のように宣言しています。「イエスが手を置かれた者は皆生き返ります。もしイエスがその手を結婚生活の上に置かれるならば、結婚生活は命を得、もし家族の上に手を置かれる

ならば、その家族はよみがえるのです。」<sup>10</sup> わたしには確信があります。天の御父はわたしたちが高品質のすばらしい結婚生活を送るよう望んでおられます。また、わたしたちが家族のために夫婦関係を改善しようと努力するときに、わたしたちを導いてくださいます。幸せな結婚は、わたしたちにも、子供たちにも、大きな祝福をもたらしてくれるのです。■

筆者はアメリカ合衆国ユタ州在住です。

#### 注

- 1.「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
2. マーク・カミングズおよびパトリック・T・デービス, *Marital Conflict and Children: An Emotional Security Perspective* (2010年)
- 3.『歴代大管長の教え——スペンサー・W・キンボール』193
4. ダリン・H・オークス「離婚」『リアホナ』2007年5月号, 70
5. ラッセル・M・ネルソン「日の栄えの結婚」『リアホナ』2008年11月号, 92
6. ウィリアム・J・ドハティ, *Take Back Your Marriage: Sticking Together in a World That Pulls Us Apart*, 第2版 (2013年), 8, 9
7. イレイン・S・ダルトン「娘の母親を愛する」『リアホナ』2011年11月号, 77
8. "By the Hour" (video) 参照, *Homefront* テレビコマーシャル, [lds.org/media-library/video/homefronts](https://lds.org/media-library/video/homefronts)
9. ヘンリー・B・アイリング「わたしたちの完全な模範」『リアホナ』2009年11月号, 71
10. ハワード・W・ハンター「聖典を読む」『聖徒の道』1980年3月号, 89 参照



ブルース・C・  
ヘーフェン長老

1996年から2010年まで  
七十人定員会会員として奉仕

# 神殿と、

天が定めた

# 結婚の秩序





本記事は『家族——世界への宣言』の  
20周年を記念するための、ヘーフェン長老による二つの記事の二つ目です。  
最初の記事は『リアホナ』2015年8月号に掲載されました。

**混**乱した社会の影響で、結婚の意味を取り違えて  
しまうと、あまりに早急に、自分や伴侶に見切りを  
つけてしまうことがあります。しかし、希望はあり  
ます。神殿で永遠の規範に思いをはせると、混乱した現代  
を乗り切る力が得られます。

わたしたちは神殿に参入して儀式を受けるたびに、天が  
定めた結婚の秩序をはじめ、万物の本来の秩序を取り戻し  
ます。昔の水夫のように、わたしたちは進むべき方角を知る  
ために天に目を向けます。それを行うのは神殿において  
です。末日聖徒の学者ヒュー・ニブレーはこう書いています。

「神殿は宇宙を統括する原則を象徴して建てられます。  
神殿は、死すべき人がこの原則を学ぶための学校なのです。  
……

……地上の神殿は全ての中心に〔あり〕、……天に関わる  
全ての業は神殿を軸として行われます。神殿は天と地を  
つなぎ合わせる結び目なのです。」<sup>1</sup>

したがって、神殿には、神が定められた結婚と家族生活  
の律法をわたしたちの心に刻みつける力があります。

### アダムとエバの結婚

結婚に関して最初に神殿で学ぶ教えは、アダムとエバの  
話です。これは、神殿で学ぶ根本的で重要な話です。ある  
とき友人がこう尋ねてきました。「もしキリストが福音と  
神殿の中心だとしたら、なぜ神殿のエンダウメントでキリスト  
の生涯について教えないのか。なぜアダムとエバなのか。」

神殿は  
天と地をつなぎ合わせる  
結び目です。



わたしは、キリストの生涯は贖罪を<sup>しよくざい</sup>与える話だと感じるよう  
になりました。これに対してアダムとエバの話は、時折恐ろ  
しく感じられるこの世の逆風の中で贖罪を受ける話です。

アダムとエバはイエス・キリストの贖罪を受けた最初の  
人です。この二人はまた、生まれたばかりの子供への愛を  
知った最初の両親でした。彼らは子育ての中で、霊を成長  
させる犠牲を払い、子供が選択の自由を愚かな方法で使う  
のを見る悲しみも味わいました。

父祖リーハイは、彼らの経験したこととわたしたちの経験  
することが理解できるよう、教義的な背景を教えています。  
アダムとエバが善悪を知る木の実を食べていなければ、  
彼らは「そのままエデンの園にいたであろう」と言っている  
のです。

「そして、アダムとエバは子供を持たなかったであろう。  
また、不幸を知らないので喜びもなく、罪を知らないので  
善も行わず、罪のない状態にとどまっていたであろう。……

アダムが墮落したのは人が存在するためであり、人が  
存在するのは喜びを得るためである。」(2ニーファイ2:  
22 - 23, 25)



ですから、逆説的に言えば、罪や苦悩、子供が、喜びとは何かを知るための環境を作ってくれるのです。この過程は、イエス・キリストの贖罪によって可能となりました。

贖罪のおかげで、わたしたちは罪の宣告を受けることなく経験から学ぶことができます。そして、アダムとエバが受けたように、贖罪を身に受けるということは、罪という染みを拭き去るための教えであるだけでなく、人を成長させる中核的な教義なのです。したがって、キリストの犠牲は、単に彼らをエデンの園にいた頃のような罪のない状態に戻したわけではありません。それでは筋立ても登場人物の成長もない物語になってしまいます。そうではなく、彼らは互いにしっかりとつかまりながら園を出て、一緒に前進し、今わたしたちが住んでいる世界に来たのです。

神殿で学ぶ根本的で重要な話は、この世で次々にやって来る逆境の中で助け合う夫婦の物語なのです。なぜなら、逆境によって時折惨めな思いをすることで、彼らは初めて真の喜びを理解できるようになるからです。

アダムとエバの話から、結婚について二つのことが理解できます。それについて考えてみましょう。第1は、回復された福音の教えにある、墮落に対する肯定的な解釈です。アダムとエバはエデンの園で賢明な選択をした、とわたし

たちは考えています。神の計画を成し遂げるために彼らが経験しなければならなかったことは、死すべき状態でしか経験できないからです。それはわたしたちも同じです。一方、伝統的なキリスト教では、エバの選択は恐ろしい誤りであり、全人類に神の怒りを招いたと教えています。一部のキリスト教会では今でも、女性は愚かなエバの娘なのだから、妻は夫に**従属**するべきであると教えています。

今日であれば、ほとんどの人はこの考え方に強く反発して、妻は夫から**独立した存在**であるべきだと言うでしょう。そして、公平になるよう、夫も妻から独立した存在であるべきだと付け加えるのです。しかし、夫婦の双方が互いから独立した存在だとすると、当人たちは今日よくある「拘束力のない約束」しか受け入れませんから、面白くなると、または問題が起き始めると、結婚を解消します。

従属と独立、どちらが正しいでしょうか。どちらも不正解です。一般的なキリスト教と違い、回復された福音は、エバとアダムが園で行った選択は間違いでも過失でもなく、むしろじっくり考えられた、救いの計画の栄光あふれる段階でさえあると教えています。したがって、回復においては、エバ、そして全ての女性は、男性とまったく同等の、気高い存在です。

このように、エバはアダムに従属しているわけでもありませんし、アダムから独立しているわけでもありません。エバとアダムは**助け合っている**のです。二人は「**対等のパートナーとして**」全てのことにおいて「**助け合い**」ます。<sup>2</sup>

### 打ち砕かれた心を祭壇に置く

第2に、アダムとエバが園を去ってから、主は彼らに、祭壇を築いて動物を犠牲としてささげるよう命じられました。多くの日の後、天使はアダムに、なぜ犠牲をささげるのか、と尋ねました。アダムは答えました。「わたしには分かりません。ただ、主がわたしに命じられたのです。」すると、天使は言いました。「これは、……独り子の犠牲のひながたである。」(モーセ5:6-7)

アダムとエバは

「**対等のパートナーとして**」

全てのことにおいて

「**助け合い**」しました。



したがって、アダムとエバが犠牲としてささげた動物は象徴であり、御父が将来払われる御子の贖いの犠牲に二人の心に向けさせるためのものだったのです。次に、天使は彼らに、キリストの犠牲と贖いの計画は、彼らが経験するあらゆる逆境に、そして実際のところ、現世でする経験全てに意味と目的を与えると教えました。

今日、アダムとエバが最初に犠牲をささげたときのように、単に命じられたからというだけで、理由を知らずに神殿に行く人がいます。もちろん、素直に従うことは、儀式をまったく行わないよりもはるかによいことです。しかし、天使をお遣わしになった主は、アダムとエバに理由を知ってほしいと望んでおられたはずです。また、わたしたちにも理由を知ってほしいと思っておられるはずだとわたしは信じています。

今日神殿で行われる儀式も、「独り子の……ひながた」なのでしょう。神殿の聖壇は、アダムとエバの祭壇と同様、祈りと犠牲、聖約の聖壇です。このことについて考えてください。エンダウメントで交わす全ての聖約に、さまざまな面の犠牲があることについて考えてください。

キリストが贖罪の使命を成し遂げられて以来、動物の犠牲をささげることはなくなりましたが、犠牲をささげるという聖約は交わします。どのようにして犠牲をささげるのでしょうか。

キリストはニーファイの民にこう教えられました。「あなたがたは打ち碎かれた心と悔いる霊を、犠牲としてわたしにささげなさい。」(3ニーファイ9:20。2ニーファイ2:7も参照)

動物を犠牲にすることは、御父が御子を犠牲にされることの象徴でしたが、打ち碎かれた心と悔いる霊の犠牲は、御子が御自身を犠牲としてささげられたことの象徴です。十二使徒定員会のジェームズ・E・タルメージ長老(1862-1933年)は、「主イエス・キリストは『その心が打ち碎かれて』死なれた」と記しています。<sup>3</sup> 同じように、今日、わたしたちは自分自身をささげます。つまり、打ち碎かれた心を犠牲としてささげるのです。<sup>4</sup> 十二使徒定員会のニール・A・マックスウェル長老(1926-2004年)は次のように述べています。「真の個人の犠牲が動物を祭壇にささげることであったことは、これまで一度もありませんでした。真の個人の犠牲とは、わたしたちの中にある動物的な欲望を喜んで祭壇の上に置き、焼き尽くすことなのです。」<sup>5</sup>

最近、ユタ州セントジョージ神殿の会長として奉仕していたとき、ある若い夫婦の結び固めをしました。二人を聖壇に招くと、花婿が花嫁の手を取りました。わたしにはあることがはっきりと分かりました。二人は、キリストが自分たちのために払われた犠牲に倣って、彼らの打ち碎かれた心と



悔いる霊、すなわち互いと神に対する無私のささげ物を犠牲の祭壇にまさに置こうとしているところであるということです。何のためにそうするのでしょうか。生涯にわたって互いのために犠牲をささげることを通して、すなわち主がなさったように生活することを通して、二人が一層主に似た者となるためです。

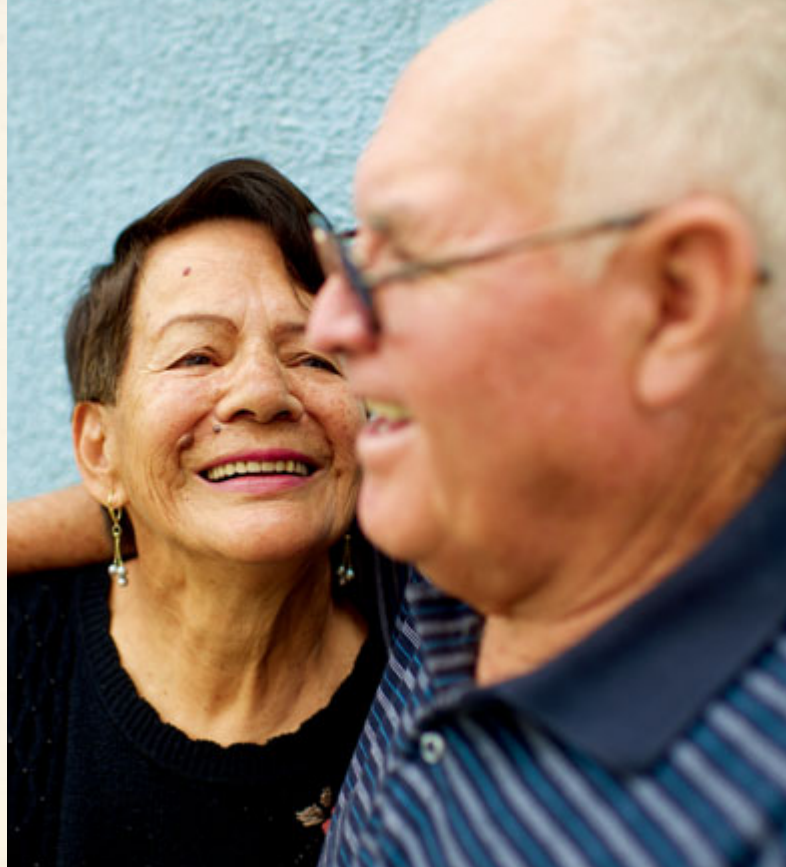
毎日そのようにして生活することで二人はさらに神に近づき、それによって互いに近づくこともできるのです。したがって、結び固めの儀式の聖約を守ることは、二人の結婚を清めるだけでなく、心や生活そのものも清めます。

結婚に対するこのような理解の仕方は、現代の世に広まっている結婚観とは明らかに大きく異なります。良い羊飼いのたとえの中で、イエスは雇い人、すなわち羊の世話をしよう賃金で雇われた人について語られました。オオカミが来ると、雇い人は「羊をすてて逃げ去る」と主は言われました。雇い人はなぜ逃げ去るのでしょうか。自分の羊ではないからです。これに対してイエスは、御自身について次のように述べられました。「わたしはよい羊飼いであって、……わたしは羊のために命を捨てるのである。」(ヨハネ 10:11-15 参照)

今日の多くの人々は結婚を、二人の雇い人の間で交わされる非公式な取り決めと考えています。雇い人は、問題というオオカミが迫って来て脅威を感じると、すぐに逃げ去ります。単なる雇い人は、快適さや便利さを失うような危険を冒したりはしません。ましてや、命の危険まで冒したりするでしょうか。

しかし、わたしたちが良い羊飼いに倣って、結婚生活の中で打ち砕かれた心と悔いる霊をささげるとき、聖約によって結び固められた家族のために一度に1日ずつ、あるいは1時間ずつ、命をささげると約束しているのです。これは、伴侶や子供の苦悩も喜びも無私の心で受けるということであり、限られた方法ではありますが、救い主がわたしたちの苦悩を引き受けてくださったことに倣った行いなのです。

主はピーター・ホイットマーに、伝道の同僚であるオリバー・カウドリについて、「彼のあらゆる苦難を自分の苦難とし」なさいと言われました(教義と聖約 30:6)。イザヤはキリストとキリストに贖われる人々について、同じことを言っています。「彼らのすべての悩みのとき、主も悩まれて、……いにしえの日、つねに……彼らを携えられた。」(イザヤ 63:9。教義と聖約 133:53 も参照)



妻が数年にわたる闘病の末に亡くなったという、ある神殿儀式執行者がわたしにこう言いました。「わたしは愛がどんなものかを知っていると思っていました。わたしたち夫婦は50年以上の幸福な年月をともに過ごしてきたのです。しかし、最後の数年間、妻の世話をしてみても初めて、真の愛というものが分かりました。」

彼は妻の苦しみをともに負うことによって、雇い人では決して知り得ないような、深い思いやりの情が心の底から湧いてくることを悟ったのです。そのような発見を積み重ねることにより、つまり、主のように生き、与えることによって、清めの過程が生まれ、良い羊飼いのようになります。そのような生き方が、文明社会にかけがえのない力を吹き込むのは、偶然ではありません。

### 結婚と真の喜び

最近、ある友人が次のように尋ねました。「神殿の結び固めにある昇栄の約束を受けるには、どれくらい完全に近い生活を送らなければなりませんか。」夫婦は互いをよく知っています。特に、永遠の祝福を求める夫婦の場合、自分や伴侶は十分に完全な生活を送れているのだろうかという素朴な疑問を感じることもあるでしょう。

わたしは、モロナイの別れの言葉にある答えが好きです。「もしあなたがたが神の御心みこころに添わないものをすべて拒み、勢力と意思と力を尽くして神を愛するならば、神の恵みはあなたがたに十分であり、あなたがたは神の恵みにより、



キリストによって完全になることができる。】(モロナイ 10: 32, 強調付加) **神の御心に添わないものを排除する一つの方法は、神殿から離れないことです。神殿の儀式には「神性の力が現れる」からです(教義と聖約 84: 20, 強調付加)。**さらに、「勢力……を尽くして神を愛する」とは、自分にしかない力を最大限に使って愛することを意味します。漠然とした、手の届かない完全さをもって愛することではありません。

神の御心に添わないものを全て拒み、能力を尽くして神を心から愛するならば、人を完全な者にするキリストの恵みは、わたしたちが完全になる道を歩む際に足りないところを補ってくれます。1902年に書かれた大管長会の書簡では、キリストの完全な犠牲とわたしたち自身の完全な犠牲を組み合わせるとどのようになるかが教えられています。「命の完全な状態に到達した人々は、自分たちを夫婦として結び合わせた義の原則を含め、[義]の中で生活すること以外は望みません。……第一の復活、すなわち日の栄えの復活を受ける人は清い、聖なる状態になればならず、肉体においても完全になります。……この筆紙に尽くしがたい命の状態に達する全ての男女は、神の御座を取り巻く天使のように美しくなります。……そのとき、彼らは既に肉体の弱さに打ち勝ち、それを忘れているでしょう。そして、二人は自分たちを一つに合わせた律法と調和しているでしょう。」<sup>6</sup>

知り合いのある女性は50年前に神殿で結婚しました。夫との間に子供が何人か生まれた後、夫の奔放な生活が原因で離婚し、夫は教会から破門されました。すると、その女性自身も教会員として生きることをやめ、あえていばらの道を歩むことにしたのです。その後、元の夫は亡くなりました。わたしが彼女に会ったのは、娘に連れられて彼女がわたしの執務室に来たときでした。娘は母親が神殿に戻る

**神殿で永遠の規範に思いをはせると、  
混乱する現代を乗り切る力が得られます。**

ことができないかと相談しに来たのです。

罪の宣告を受けることなく経験によって学ぶ方法について和やかに話し合った後、悔い改めと、再度のバプテスマ、神殿の祝福を回復する手順について話しました。それから、回復の儀式によって、彼女の神殿の結び固めも回復されることを話しました。それを受ける準備は彼女にできているのでしょうか。

娘が先に口を開きました。「わたしは躁鬱病です。息子もそうです。この病気について、前よりはるかによく分かるようになりましたし、効果のある薬も服用しています。振り返ってみると、父も躁鬱病だったのではないかと思います。たぶん、それが災いして、家庭生活にいろいろと難しい問題が起こったのだと思います。今は父を責める気持ちはありません。」

母親は静かに答えました。「もしいつか神殿に戻れるなら、結び固めを回復していただく心の準備はできています。」

わたしは二人が廊下を歩いて行く姿を見送りながら、エリヤの結び固めの権能には親子の心を互いに向けるだけでなく、夫婦の心をも互いに向ける力があることを実感しました。後日、その母親がもう一度バプテスマを受けるという知らせが届きました。

神がアダムとエバにお与えになった結婚の秩序は、生活の中でそれを見だし、築き、守るために全力を尽くす価値があることを証します。また、良い羊飼いのように生活しようと努力する夫婦は、真の喜びのある、より豊かな生活を見だし、それを伴侶にもささげることができることを証します。

2014年1月31日、ソルトレーク・シティで開かれたJ・ルーベン・クラーク弁護士協会年次ファイヤサイドにおける説教「結婚と家族法、神殿」(“Marriage, Family Law, and the Temple”)より。

#### 注

1. ヒュー・ニブレイ, *Eloquent Witness: Nibley on Himself, Others, and the Temple, The Collected Works of Hugh Nibley* 全19巻(2008年), 第17巻, 312, 313で引用。 *Encyclopedia of Mormonism*, 全5巻(1992年), “Meanings and Functions of Temples,” 第4巻, 1458 - 1459も参照
2. 「家族——世界への宣言」『リアホナ』2010年11月号, 129
3. ジェームズ・E・タルメージ, *Jesus the Christ*, 第3版(1916年), 669
4. 「非常に多くの正しい者の霊が、……集まっていた。彼らは死すべき世に住んでいた間、イエスの証に忠実であった者たちであり、神の御子の偉大なる犠牲のひながたとして犠牲をささげ、また贖い主の名によって艱難を受けた者たちである。」(教義と聖約 138: 12 - 13)
5. ニール・A・マックスウェル「すべて神のみこころに背くことを捨てよ」『聖徒の道』1995年7月号, 73 参照, 強調付加
6. ジョセフ・F・スミス, ジョン・R・ワインダー, アンソン・H・ランドからクリスティーン・エグルストン宛てた書簡, 1902年1月28日, 末日聖徒イエス・キリスト教会歴史図書館所蔵







七十人  
ペア・G・  
マーム長老

# 教会手引き

## 文書化された物事の規定

手引きに従い、そこに集約されている  
多くの人々の知恵を活用するとき、  
主は、わたしたちやわたしたちの仕える人々が  
「キリストにあって……満たされる」ように  
助けてくださいます。

**帰** 還宣教師として、幼い子供たちの子育てや仕事で忙しくしていた頃、信仰深く、成熟した会員が多くいるかなり大きな支部の会長に召されました。奉仕を始めるに当たって、わたしは十分に準備ができていて、訓練と教育を受けていると感じたでしょうか。いいえ。さまざまな案件について話し合える優秀な顧問がいましたが、二人の助けで十分だったでしょうか。いいえ。

主は全ての人に「自分の義務を学」ぶ（教義と聖約 107：99）ことと、「〔神〕の言葉を〔自分〕の心の中に大切に蓄える」（教義と聖約 84：85）ことを期待しておられます。次に主が期待しておられるのは、聖霊の靈感を信頼することです。この靈感は全ての会員に与えられる特別な賜物で、導きと啓示が途切れることはないという約束を伴っています。

支部会長の召しや他の召しについて振り返って考えると、聖霊と聖文の他に、わたしにとって本当に助けとなったのは教会の手引きだったことに気づきます。手引きは情報の宝庫でした。学び始めたわたしに指針を与え、召しを果たしていく中で貴重な参考書となりました。

支部会長の召しや他の召しについて振り返って考えると、聖霊と聖文の他に、わたしにとって本当に助けとなったのは教会の手引きだったことに気づきます。

### なぜ教会手引きが必要なのか

十二使徒定員会のダリン・H・オークス長老は次のように教えました。「手引きには聖文と同じ権威はありません。それでも手引きには確かに、教会の最高権威による最新の解釈と、手順についての指示が示されています。」<sup>1</sup> 十二使徒定員会のラッセル・M・ネルソン長老は、最高権威者、つまり大管長会と十二使徒定員会は、



### 手引きに従えば 安全です

「長年にわたる教会員であろうと、比較的新しい会員であろうと、方針や手続きについて不確かなときは『手引き』を読んでもください。状況に対処する方法を知っていると思うかもしれませんが、実際には思い違いをしている場合もあります。『手引き』に従えば、安全です。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「開会の言葉」  
2010年世界指導者訓練集会

「成熟度、経験、そして長期にわたる準備」が備わった男性であると付け加えています。<sup>2</sup>

このように教会の手引きには、預言者と使徒たちが試し、有効性を確認した経験による数多くの知恵が反映されています。その知恵を用いて教会の使命を遂行しようとするとき、時間の経過とともに自然に最良の方法を知ることができます。主は次のように勧告しておられます。「あなたがたは知恵の言葉を熱心に求め、互いに教え合いなさい。まことに、最良の書物から知恵の言葉を探し求め〔なさい。〕」（教義と聖約 88：118；109：7）確かに、知恵にあふれる手引きは「最良の書物」と呼ぶに値するものです。

### 手引きは、方針、手続き、プログラムの維持を助ける

トーマス・S・モンソン大管長は、手引きがなければ「教会の方針や手続き、プログラムの統一を図ることはほとんど不可能になるでしょう」と断言し、重ねて「これまで長年わたしたちは、悪意のない指導者たちが教会のプログラムの一部を変更する多くの試みを訂正しなくてはならないことがありました」と

言っています。

指導者が正しい手続きを踏まないと、「大管長会が措置を承認するか、またはやり直してもらわなくてはなりません」とモンソン大管長は述べています。つまり、わたしたちが手引きをないがしろにすると、大管長会の仕事が増えるのです。

「ほとんどの場合、指導者が『手引き』を読み、理解し、指示に従いさえすれば、そのような問題は起こらないということです。……『手引き』に従えば、安全です。」<sup>3</sup>

モンソン大管長はさらに、指導者としての召しが何であれ、情報と導きの宝庫である手引きを助けにすれば、効果的に教え導き、教会の正しい機能の仕方を理解し、自分の義務を学び果たすことができ（教義と聖約 107：99 参照）、また、将来指導者となるために備えることができると語っています。

### 手引きは最も重要なことを教える

手引きに書かれている教えによれば、「親には、子供が天の御父のもとに帰る準備をするのを助けるという大切な責任がある」一方で、「教会は神のすべての子供たちにイエス・キリストの福音を教える組織と手段を用意して」います。また、教会は「ふさわしく、進んで受け入れるすべての人に、救いと昇栄の儀式を執行する神権の権能を備えている」ともあります。<sup>4</sup>

『手引き第2部—教会の管理運営』の初めの3章には、教会の管理運営に関する教義上の枠組みが説明されています。

1. 神の計画における家族と教会
2. 神権の原則
3. イエス・キリストの教会における指導のあり方

これらの章は丹念に読まなければなりません。これらの章は、教会が「神によって



組織されたのは、神の子供たちに救いと昇栄をもたらす業を支援するためである」<sup>5</sup> ことを再認識させてくれます。それを実現するため、教会はさまざまな活動や機会やプログラムを設けて、奉仕し、祝福を受ける機会を与え、個人の成長を図っています。そうした活動、機会、プログラムは、個人と家族を支えて強めるために神によって定められた責任に重点が置かれています。

これらの責任には、「イエス・キリストの福音に従って生活するよう会員を助けることや、伝道活動を通じてイスラエルを集めること、貧しい人や助けの必要な人の世話をすること、神殿を建設し、身代わりの儀式を行うことによって死者が救いを得られるようにすることが含まれ〔ています〕」<sup>6</sup>

この教義上の枠組みを理解すると、教会における全ての召しの目的と役割が明確になります。その目的と役割とは、「神権指導者と補助組織指導者、教師は、人々がイエス・キリストの真の弟子となるよう助けることに力を注ぐ」ことです。しかし「教会の組織とプログラムは個人と家族に祝福をもたらすために存在するのであって、これら自体が目的では〔ありません〕」<sup>7</sup>

手引きは、「あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい」（ルカ 22：32）と救い主がペテロにお与えになった勧告を含めて、聖文の教義に基づいています。

### 手引きは啓示を受けやすくする

あまり活発ではないある会員が教会に戻れるように助けていたビショップがいました。彼は、『手引き 第1部——ステーク会長およびビショップ』の教会宗紀に関する章をよく読み、ステーク会長会と話し合った後、宗紀評議会を開くことを決めました。

「あなたが立ち直ったときには、兄弟たちを力づけてやりなさい」（ルカ 22：32）と救い主がペテロにお与えになった勧告を含め、手引きは聖文の教義に基づいています。

「事前にビショップリックの3人が集まり、正しい手続きを確認し、そのときの案件に関する問題点を特定するために手引きを読み返しました。わたしたちがその会員と話している間、主の御霊の助けを強く感じました。」

その後、ビショップリックが主の助けを求めて祈った後、一人の顧問が『手引き 第1部』の関連する箇所をもう一度声に出して読まなければならないと感じました。読み終わると、ビショップは顧問一人一人に、どうしたらよいと思うか尋ねました。

第一顧問は「ビショップ、驚かれるかもしれませんが、わたしはこう感じています」と言って、自分の提案を伝えました。第二顧問も同じことを感じていて、ビショップもそうでした。

「手引きを読み合うことで、御霊がわたしたちの思いに啓示を示してくださいました」とビショップは回想しています。「原則がこの状況にどう当てはまるのかがより明確になり、全員が同じ答えに導かれました。わたしたちは十分な



手引きに従い、  
そこに示されている  
多くの知恵を  
活用するとき、  
主は、わたしたちや  
わたしたちの仕える人々が  
「キリストにあって……  
満たされ〔る〕」ように  
助けてくださいます  
(コロサイ 2:10)。

準備ができたうえで、この愛する兄弟に、キリストのみもとに戻る助けとなる適切な勧告を与えることができました。

このビショップリックが知ったように、教会手引きに書かれている指示を「原則や方針、手続きを理解するために用い、御霊の導きを求めながら応用するならば、啓示を受けやすく〔なります〕。』<sup>8</sup>

### 手引きは、わたしたちが仕える人々を祝福する助けとなる

手引きを読み、理解し、その指示に従うときに、手引きは皆さん自身と皆さんが仕える人々にとって祝福となるでしょう。<sup>9</sup> 例えば、『手引き第2部』で説明されている、ある方針の変更

は、12歳の息子をアロン神権に聖任することができないと考えていた一人の父親をビショップが祝福し、強める助けとなりました。

第20章にこう書かれています。「ビショップとステーク会長は、神殿に参入するふさわしさを十分には備えていない神権者に、幾つかの儀式や祝福を執行させたり、そのような儀式や祝福に参加させたりすることができるかどうか判断する。」ここにはバプテスマとアロン神権の聖任も含まれます。<sup>10</sup> 神殿推薦状を持たないこの父親は、息子を聖任することはできないと考えていたのです。しかし、ビショップは面接の後、「御霊……の指示に従い」<sup>11</sup> 許可を与えました。

父親の現在のビショップはこう語ります。

「この経験は彼の人生の転機となりました。彼が後に神殿に入るふさわしさを身につけて神殿で妻と結び固められ、子供たちと結び固められるまでの過程における重要なステップでした。」

### 柔軟性と調整 —— 適切な範囲内で

教会の原則、方針、手続きの統一性を保つことで、「指導者と会員の生活に聖霊の影響力がもたらされます」<sup>12</sup>と十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は話しています。しかし、世界規模の教会では、会員たちが直面する状況は政治的にも社会的にも経済的にもさまざまです。会員や指導者の人数、資源の不足から、教会の全てのプログラムを実施することができない支部やワードもあります。また、安全面、交通の便、通信手段、各家庭の財政に関わる問題を抱えるユニットもあるでしょう。

『手引き 第2部』第17章には、「統一が必要なもの」が明記される





と同時に、補助組織の人員とプログラム、指導者会と活動の形式と頻度に関する「地元での調整を認められる状況」も明確に説明されています。当然ながら、調整は指導者たちが聖霊の導きを求めた後で初めて可能となります。<sup>13</sup>

そうすることで、「規模や状況に関係なく、すべてのワードと支部が同じように主の御霊を豊かに受けることができます。』<sup>14</sup>

### 明文化された規定

手引きには、「明文化された規定」とも呼べる事柄が提示されています。

ステーク会長とビショップが使う『手引き 第1部』には、「ステーク会長とビショップの全般的な責任」の概要と、神殿、結婚、宣教師の奉仕、福祉、教会宗紀、財政など、幅広い分野にわたる「方針と手続きに関する詳細な情報」<sup>15</sup>が書かれています。

全ての教会員が入手できる(LDS.orgでも閲覧可能)『手引き 第2部』は、複雑な教会プログラムの煩雑さを軽減し、前述のように、柔軟性を持たせ、地域に合わせた調整を可能にしています。これは、教会を管理運営し、救いの業を進めるための「ワード評議会とステーク評議会の会員のためのガイドであ[り]」、<sup>16</sup> 補助組織のためのガイドです。

手引きに見いだせる多くの知恵は、救い主の教会の全てのワードとステークにあるはずの真の奉仕文化を作り出すために、容易に参照し活用できるように編集されています。しかし、その知恵を得るためには、手引きを研究し、手引きから学び、そこにある原則を吸収して実践しなければなりません。その結果、光と理解力が増し、兄弟姉妹に仕えるための最善の方法を見つけるという末永い祝福にあずかることができます。

教会における奉仕について、大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長は次のように述べています。「キリストのような愛をもって人に手と心を差し伸べるとき、素晴らしいことが起こります。わたしたち自身の霊が癒やされ、精錬され、強くなるのです。さらに幸福になり、さらに平安になり、聖なる御霊のささやきがさらに受けやすくなります。』<sup>17</sup>

### 手引きは、完成した絵を見る助けとなる

2015年4月の総大会で、七十人のラファエル・E・ピノ長老は、息子がジグソーパズルを作っているときに腹を立てた話をし、こう回想しています。「息子は、小さなピースの一つ一つに完成した絵の中で収まる場所があることを理解して、ようやくパズルのやり方が分かりました。』<sup>18</sup>

教会でどのような責任で奉仕していても、手引きは、ジグソーパズルの箱に描かれた絵のように、あるビジョン、つまり完成図を示してくれます。この完成図によってわたしたちは導かれ、主への奉仕の中で、主がわたしたちに達成してほしいと願っておられることをよりよく理解できるようになります。手引きに従い、そこに示されている多くの知恵を活用するとき、主は、わたしたちやわたしたちの仕える人々が「キリストにあって……満たされ[る]」ように助けてくださいます(コロサイ2:10)。

将来、形式や内容の変更があったとしても、手引きは教会の管理運営上、また教会員と指導者を祝福するうえで、なくてはならない役割を果たし続けます。大管長会第一顧問のヘンリー・B・アイリング管長は次のように宣言しています。手引きは「皆さんがそれを使って永遠の命への道を選ぶように他の人々を導くとき、皆さんの宝物となります。それが、[手引きの] 目的です。』<sup>19</sup> ■

### 注

1. ダリン・H・オークス「新しい手引きの概要」2010年世界指導者訓練集会, 2010, <https://www.lds.org/broadcasts/article/worldwide-leadership-training/2010/11/overview-of-the-new-handbooks?lang=jpn>
2. ラッセル・M・ネルソン「預言者を支持する」『リアホナ』2014年11月号, 75
3. トーマス・S・モンソン「開会の言葉」2010年世界指導者訓練集会
4. 『手引き 第2部——氏教会の管理運営』(2010年) 1.1.5
5. 『手引き 第2部』2.2
6. 『手引き 第2部』2.2
7. 『手引き 第2部』1.2.2, 1.4
8. 『手引き 第1部——ステーク会長およびビショップ』v. 『手引き 第2部』v, 強調付加
9. トーマス・S・モンソン「開会の言葉」2010年世界指導者訓練集会参照
10. 『手引き 第2部』20.1.2
11. 『手引き 第2部』20.1.2
12. クエンティン・L・クック「新しい手引きから抜粋した原則」2010年世界指導者訓練集会
13. 『手引き 第2部』17.1, 17.2 参照
14. 『手引き 第2部』第17章
15. 『手引き 第1部』v
16. 『手引き 第2部』v
17. ディーター・F・ウークトドルフ「あなたは、わたしの手である」『リアホナ』2010年5月号, 75
18. ラファエル・E・ピノ「福音がもたらす永遠の観点」『リアホナ』2015年5月号, 117-118 参照
19. ヘンリー・B・アイリング「大管長会メッセージ」2011年世界指導者訓練集会(2011年), <https://www.lds.org/broadcasts/archive/worldwide-leadership-training/2011/02?lang=jpn>

# 決して独りではない

ノーマン・C・ヒル

ガーナ・アクラ西伝道部会長（2013年－現在）  
シエラレオネ・フリータウン伝道部会長兼任（2014－2015年）

**も** しもあなたの国が内戦からの復興途上にあり、恐ろしいウイルスに侵され、他の国々から孤立した状態だとしたら、どうやって教会は存続できるでしょうか。自国出身の宣教師を除く全ての宣教師が国外に異動になったら、それが1度だけでなく何度も繰り返されたら、あなたは どうしますか。

もしあなたが西アフリカの国シエラレオネに住んでいたら、きっと主を信頼し、教会が発展する様子を目にすることでしょう。地元の指導者たちが召しを尊び大いなるものとするのを目の当たりにすることでしょう。教会員たちが互いに強め合い、伝道の業を続けて行い、信仰が恐れを克服する様子を見ることでしょう。

## 着実な成長

1991年から2002年まで内戦が続いたにもかかわらず、シエラレオネの教会員の数に着実に伸びています。専任宣教師が初めてこのサハラ以南の国に着任したのは、1988年5月のことでした。2年後、地方部が組織されました。1990年代は内戦のため、何度か宣教師が国外に異動になりましたが、地元の会員たちが教会の運営を続け、発展させました。2007年、リベリアを含むシエラレオネ・フリータウン伝道部が創設されました。そして2012年12月、十二使徒定員会のジェフリー・R・ホランド長老がシエラレオネの首都であるフリータウンにステーキを組織しました。教会で3,000番目のステーキでした。

## エボラとの闘い

それから発生したのがエボラの流行です。エボラウイルスによる出血熱の大流行は、2014年3月にギニアから始まりました。5月にはシエラレオネに入り、急速に広がりました。専任宣教師たちは異動になり、ガーナの伝道部会長がアクラにとどまりながらシエラレオネの伝道部会長を兼任するよう依頼されました。

「宣教師がいなくなると、わたしたちは自分たちだけで事態に対処しなければならないのかと心配しました」とケネマ地方部会長のジョナサン・コビナは言います。「でもその週のうちに、決してそうではないと保証する手紙がアフリカ西地域会長会から届きました。」それ以降、シエラレオネの1万3,000人の会員は地域の支援を受けました。そして、国際団体が救援活動の準備を始めると、教会福祉サービスと緊急対応チームがさまざまな国際団体と協力して地域社会の必要に対応しました。（このページの関連欄を参照）

「新たに割り当てを受けた伝道部会長と数日以内にビデオ会議をしました」とコビナ会長は言います。「教会の集会と活動については病気に感染しないように注意が必要だが、それ以外はこれまでどおりにしてもよいと伝道部会長に言われました。」

2014年9月、シエラレオネの大統領は病気のさらなる拡大を避けるため、数日以内に全国的な外出禁止を始めると発表しました。外出禁止期間中は全国民が屋内にとどまらなければなりません。ほとんどの人は家にある食べ物だけで飢えをしのがなければならないのです。



# シエラレオネの聖徒たち

病気, 孤立, そして今も続く内戦の後遺症にもかかわらず, このアフリカの国に住む末日聖徒たちは, 天の御父が彼らを忘れておられないことを知っています。



末日聖徒は  
忠実であり続け、福音を学び、  
それを広める努力を忘れなかった。  
エボラの感染拡大を防ぐために、  
必要に応じて家庭で集会を開いた。  
右——プラスチックのバケツに入れて  
配られた洗浄用品が  
恐ろしいウイルスの広がりを防ぐ  
助けになった。





## ともに働く

**会**員に時宜にかなった助けを与えたほか、教会は末日聖徒のいない多くの町や村でもエボラとの闘いに支援の手を差し伸べた。教会はさまざまなグループと提携し、教会の人道支援団体を通して7つのコミュニティ

プロジェクトを支援した。このような協調した取り組みのおかげで、リベリア、シエラレオネ、マリの各国のエボラによって大きな打撃を受けた地域に、食べ物、寝具、衛生用品とその使用法の指導、医薬品および公衆衛生用品、そしてエボラ関連の作業員のための防護衣が提供された。

## かるうじて間に合う

幸いにも、外出禁止令が発表される僅か数週間前に、アフリカ西地域は教会本部と調整してシエラレオネの末日聖徒支援のために動き始めていました。それは、シエラレオネ在住の全7,800家族の末日聖徒に洗浄用品を送り、必要に応じて米50キロと調理用油数リットルを2,500軒以上の末日聖徒の家庭に提供することを許可するという内容でした。近い将来外出禁止令が出されることなど知らぬまま、地元の指導者たちはこのような物資の配送に奔走していたのです。

「当時わたしたちが感じた切迫感については説明できません」と伝道部長特別補佐のサー・ドウは振り返ります。「物資の配給が承認された週末になると、隔離のために一部の地域が封鎖されるかもしれないことが分かりました。そうなれば物資の配送に大きな支障が出ます。そこでわたしたちは昼夜を問わず物資をトラックに積み込み、全国の支部に送り出したのです。ある町では、町が封鎖されるわずか数時間前に物資が届きました。封鎖される直前までに、国の全部の地域に物資を届けることができたのです。わたしたち全員にとって祝福であり、現代の奇跡でした。」

エボラの大流行は大規模な失業問題も引き起こしました。「わたしは希望を失いかけていました」とアレントウン支部のサイ・カマイラ姉妹は言います。カマイラ姉妹は3人の子を持つ母親で、小さな商品売って生計を立てています。「9月にはお金はまったくなくなりました。外出禁止令が施行される前です。人々は買い物するのを恐れていたのです。どうしたらよいか分かりませんでした。」教会からの物資を受け取ったとき、他の人々と同じように彼女は喜びの涙を流しました。

「夫を亡くして一家のあるじとなったわたしは、教会の助けを受けることができて本当に良い気持ちを感じました」と語るのはキシー第2ワードのメアリー・マーゲイ姉妹です。「外出が禁止されている間どこにいればよいのだろうと思っていた

ので、食べ物があって家にいられることを心から喜びました。」

世界中の教会員と同じように、シエラレオネの聖徒たちも自立するために努力をしています。しかし、予測もしなかった困難な事態が起きて、他に頼るすべのなかった多くの人々にとって、物資は絶妙なタイミングで到着したのです。「このように時宜にかなった助けが与えられたことで、この国の聖徒は自分たちが決して見捨てられはしないことを知りました」とシエラレオネの広報ディレクターであるマリアツ・ブラウンは言います。町が封鎖されている間、末日聖徒は自分たちの物資を隣人とも分かち合い、それがなかったら何も無いに等しかった人々を祝福しました。

## 主の御手にゆだねる

残念なことに、問題は飢えをしのぐことだけではありませんでした。末日聖徒の中に病気に感染した人々がいたのです。教会の会員になって1年しかたっていないテコロード支部のサイモン・カマラは、妻と息子がエボラで命を落とすのを目にしました。その後、彼自身も感染してしまったのです。

治療センターに入院中の彼は「わたしの命は主の御手にあります」と言いました。「父親は皆そうですが、わたしも子供たちにできる限りのことをしてやりたいと思います。でも、福音を見いだし救いの計画を理解している今は、何が起ころうとも、自分と家族について大きな希望があります。」最初回復の兆しを見せていたにもかかわらず、カマラ兄弟は亡くなりました。残された子供たちは両親を失って悲しんでいます。今は会員や友人の世話を受け、元気を取り戻しています。

## 個人の証

ウォータールー支部のハジュ・ジュロー姉妹は看護師





左——米、油、洗淨用品は、他に頼るすべのなかつた多くの人々のもとに絶妙なタイミングで届けられた。  
町が封鎖されている間、末日聖徒は自分たちの物資を隣人と分かち合い、それ以外にはほぼ何もなかつた人々にとって大きな祝福となった。  
上——ナイジェタウン支部におけるバプテスマ会

です。病人の世話をしていた彼女は、毎日エボラウイルスにさらされていました。患者の数が増えるにつれ、彼女が勤務していた病院では時折、防護衣の洗濯や消毒が十分でないことがありました。2014年8月に教会に入ってから間もなく、ジュロー姉妹はエボラの検査で陽性となり、自宅に隔離されました。

「教会に出席することができなくなったので、支部の会員たちは電話でわたしを励ましてくれました」と彼女は言います。「部屋から出ることができなかつたので、モルモン書の研究に集中することにしました。多くの霊的な経験について読みました。中にはわたしのような平凡な人々に起きた奇跡もありました。奇跡が起きてほしいと思っていましたが、それを願い求めてよいものかどうか分かりませんでした。わたしは続けてモルモン書を読み、読んだことについて友人と電話で語り合いました。数週間自宅で過ごした後にもう一度検査を受けると、結果は陰性でした。それからもう一週間隔離生活を続けてから再検査を受けましたが、その結果も陰性でした。そこでわたしは家を出て教会に出席することが許されただけでなく、仕事にも復帰できたのです。それはわたしにとって奇跡でした。」

### 業を速める

緊張の多い時期にも伝道の業は続けられるべきでしょうか。シエラレオネの聖徒たちには伝統があります。たとえ何があろうとも、福音を広め続けるという伝統です。

「自分の不運を嘆いたり、成長しない状態を続けたりせず、専任宣教師の代わりに支部宣教師を召すことで聖徒たちの力を再結集するよう勧められました」とコソータウン地方部のバイ・シアシー会長は説明します。「わたしたちには落ち込んでいる暇はありませんでした。救いの業を行う必要があつたのです。わたしたちは帰還宣教師と宣教師見込み会員を一組にし、幾つかのゾーンを組織しました。

各支部の伝道主任は、伝道活動の目的に使うためのテレホンカードの所持が認められました。テレホンカードは責任をもって使用しなければなりません。おかげで、支部宣教師が新しい求道者だけでなくバプテスマを受けたばかりの改宗者と連絡を保つのに役立ちました。そしてそのことが、本当に大きな違いを生んだのです。」伝道部会長のもう一人の顧問であるブライアン・ロビン・テラーは言います。

「求道者や新しい改宗者たちとは『電話レッスン』をしています」と彼は続けて言います。「教会で行われる週1度の宣教師とのレッスンを『電話レッスン』で補っています。わたしたちは、会員や求道者の必要に合わせているのです。そうしなかつたら、封鎖による制限や病気に感染する心配から、連絡が途絶えてしまったかもしれません。」

現在、シエラレオネにおける改宗者のバプテスマ数は、専任宣教師がいた頃に比べてほんの僅か下回っているだけです。教会に来ていなかった会員の多くが活発に教会に集うようになり、教会は着実に発展しています。

### 希望が持てるすばらしい理由

エボラの大流行の間、失業率は60パーセントを超えました。隔離目的で移動が制限されているため、農作物を市場に運ぶことができませんでした。多くの人が愛する家族を失いました。シエラレオネの前途には、間違いなくさらに多くの困難が待ち受けていることでしょう。

しかし、そのような困難にもかかわらず、聖徒たちは忠実で、教会は発展しています。マリアツ・ブラウンはこう述べています。「わたしたちは天の御父がわたしたちを心に懸けておられることを知っています。そして、主がともにおられると、教会が自分の支えになります。そして、手を携えてともに働くとき、そこには希望が持てる大きな理由があります。シエラレオネの聖徒たちは、どんなときも決して独りではないのです。」■

## リモンで立ち往生したら

**あ**る夏のこと、家族で親戚に会いに行く旅の途中、12年も乗ってかなりの距離を走行したミニバンのエンジンが止まり、だんだんとスピードが落ちてついには止まってしまいました。完全に立ち往生です。幸いなことに、止まった所はアメリカ合衆国コロラド州のリモンという小さな町からわずか5マイル（8キロ）しか離れていない所でした。

ところが、地元の修理工による故障の診断は最悪でした。トランスミッション（自動車の変速機）を交換する必要があり、しかも、部品が来るまで最低でも5日はかかると言うのです。わたしたちは現金の持ち合わせはあまりありませんでしたが、テントやキャンプ用の道具はそろっていました。そのため、わたしたちは地元のキャンプ場にしばらく泊まることにしたのです。

家族や友人から何百マイルも離れた場所で、数日分の生活に必要な食料品を購入するのに、どうやって店まで行っ

たらよいか、考えてみました。わたしたちは地元の支部会長と連絡を取ってみることにしました。どうにか行く手段が見つかるかもしれないと考えたのです。ドーソン会長に電話をすると、30分もしないうちに、その小さな支部の扶助協会の会員から2本の電話が来ました。幸運なことに、ある家族がキャンプ場からそれほど離れていない所に住んでいることが分かり、わたしたちが電話をしてから数時間もしないうちに会いに来てくれたのです。

次の1週間、コロラド州の風の強い平原にあるその小さな支部から受けた愛と思いやりに、わたしたちは圧倒される思いでした。近くに住む家族は、あの最初の晩、わたしたちを夕食に招待してくれました。その晩、わたしたちにご両親と会話を楽しみ、子供たちはそこの娘さんと遊ぶことができました。翌朝は、別の会員の車に乗せてもらって、泊まり込みに必要な食料や物資の買い出しに行くことができました。

**完**全に立ち往生です。

幸いなことに、止まった所はアメリカ合衆国コロラド州のリモンという小さな町からわずか5マイル（8キロ）しか離れていない所でした。

支部の会員たちの優しさは、最初のお願いの域をはるかに超えて続きます。日曜日には教会に行くためにわたしたちを迎えに来てくれました。思い出を作る助けになるようにと、町の鉄道歴史博物館<sup>ひょう</sup>へも連れて行ってくれました。突然雹が降ったときには、子供たちを自分たちの家に避難させてくれました。会員の一人は、車の修理代の足しにでもなればと言って、夫を数日間アルバイトとして使ってくれました。

毎晩、その小さな支部の会員は、食事に誘ってくれたり、それぞれの家でわたしたちの子供たちを遊ばせてくれたりしました。泊まり込みも終わりに近づいた頃、また別の家族はわたしたちを自分たちの牧場に連れて行き、子供たちに乗馬を教えてくれたりしました。

1週間後にリモンを離れるときには、わたしたちは新しくできた親しい友人たちに感謝の祈りをささげて離れました。彼らこそ、わたしたちに思いやりを示し、リモンを居心地の良い場所にしてくれた人々だったのでした。■

クリスティーナ・ワドリー  
(アメリカ合衆国、ミズーリ州)





# 学ばなければならなかったこと

大学での勉強が1年を過ぎた頃、わたしは聖書の理解を深める目的で一つの計画を立てました。以前耳にしたことがある幾つかの宗教の教派で、クリスチャンではないと言われている教派の教えを研究し、それを聖書の教えと比較してみることにしたのです。

次の学期が始まったとき、わたしは末日聖徒イエス・キリスト教会の研究から始めました。わたしの履修する授業の一つに、誰か一人と組んで実験実習を行う必修クラスがありました。わたしは、自分が学ぶ必要があることを一緒に学べるよう、良いパートナーを求めて祈りました。

わたしは実験室の作業台を一つ選ぶと、間もなくそこへ一人の学生が近づいて来て、パートナーがいるかと尋ねられました。そして、自己紹介をしてリンカーンと名乗ったのです。わたしはその前年、大学で彼を見かけた覚えがなかったため、転学してきたのかと尋ねました。

それに対して彼はこう答えたのです。「実は、ぼくは末日聖徒イエス・キリスト教会の宣教師としての奉仕が終わり、帰って来たばかりなのです。」

わたしはリンカーンに、自分が今その教会について研究を始めたばかりで、いろいろと聞きたいことがあると伝えました。彼は喜んで答えるよと言ってくれました。

それからの3か月間、わたしはモルモン書について、神殿について、末日の預言者について、そして現代の啓示について質問を重ねていきました。この時期、わたしは非常にたくさんのことについて学びましたが、まだモルモンはクリスチャンではないと考えていました。

ある週末、わたしたちの大学がフットボールの大事な試合で負けてしまったときのことで、実験室の教師の中には、主の御名をいたずらに繰り返して、負け試合の結果について熱っぽく語る人もいました。リンカーンはその教師たちのそばに行くと、お願いだから、そのようにイエス・キリストの御名を使うのをやめてもらえないかと、申し出たのです。

「そんなことが本当に気になるのかい？」と教師たちはいぶかしげに尋ねました。

「はい」とリンカーンは答えました。「イエス・キリストはわたしの親友ですから。」

その瞬間から、わたしにとって教会の研究は、知的な好奇心から信仰の問題へと変わったのです。この宗派がこのような人物を作り出しているとしたら、それは間違いなく、あらゆる面でクリスチャンだからです。

その晩、リンカーンとわたしが外に出たとき、わたしはいつか一緒に教会に行ってもいいだろうかと尋ねました。教会へ行ってから、モルモン書を1冊もらえないか、そして宣教師と会わせてもらえないだろうかと尋ねました。

それから2年にわたって、わたしはこの教会の求道者となって、会員たちと一緒に時間を過ごしました。誠実な人たちが主の弟子になろうと陰ひななく熱心に努力する姿を目にしてきました。数多くの場面で、わたしがいつも最善を尽くして仕えたいと願ってきたイエス・キリストが、この時代に確かに御自身の教会を回復されたという確信が聖霊によってもたらされました。その教会は預言者と使徒の監督を受け、イエス・キリストの直接の導きを受けていたのです。

こうしてわたしはバプテスマを受け、回復された福音とその教えから祝福を受け続けて、もう12年以上が経過しようとしています。天の御父が、必要なことを学べるように実験室に良いパートナーを送ってくださいと願ったわたしの祈りにこたえてくださったことに、わたしは心から感謝しています。■

マイケル・ヘンドリックス  
(アメリカ合衆国、ワイオミング州)





あの復活祭の日曜日、  
わたしは安息日を  
神聖に保つことをしませんでした。  
わたしは雑草につまずくことで、  
そのことに気づかされたのです。

## 日曜日の種まき

数年前のことです。復活祭の週末の前は、1週間雨が降りっぱなしでした。わたしは当時、西アフリカのベニンにいましたが、復活祭にはトーゴへ帰省するつもりでいました。わたしが到着した土曜日には雨が降っていなかったのですが、その晩からまた雨が降り始めました。

日曜日には教会が9時から始まることは承知していましたが、雨もひどく、自分も帰って来たばかりだったため、9時というのは少し早すぎると考えました。

わたしは自分にこう言い聞かせました。「教会にはちょっとだけ遅れて、10時に着くことにしよう。」こうしてわたしは弟に会いに出かけました。「9時に教会へ行くことはやめて、家のそばにある畑へ行ってみよう。」弟にそう言いました。

畑に着くと、地面は雨のためにうまい具合に湿っていました。わたしはこう考えました。「今日は日曜日だし、教会へ行くのは10時にしたんだから、教会へ行く前に、少し豆の種をまこうか。」

そこで弟と一緒に、65平方フィート(6平方メートル)ほどの小さな畑に種をまきました。それからわたしたちは1時間遅れて教会に出席しました。翌日、わたしたちは近くの町まで出かけて行きました。そこにも畑があります。そこには、とうもろこしと、もう少しの豆を植えました。

2か月後、わたしは再度帰省して、家のそばにある畑の様子を見に行きました。何も芽が出ていません。畑の中に歩いて行ったわたしは、雑草の塊に足を取られてしまいました。「あ、そうだ。ここに豆の種を植えたのは、復活祭の

日曜日のことだった!」

せっかくあれだけの種を植えたのに、芽を出したのは雑草ばかりだったのです。復活祭の後の月曜日に他の畑に植えた豆ととうもろこしは、問題なく育っていました。あのとき以来、家のそばの畑に植えたものはことごとく、普通に成長しています。

あの復活祭の日曜日、わたしは安息日を神聖に保つことをしませんでした。わたしは雑草につまずくことで、そのことに気づかされたのです。あのとき以来、主の日には、自分がしたいと思っていないことでも、できないこともあるのだということを忘れたことはありません。むしろ、安息日を神聖に保つことをいつも思い出すようにしています。■

デジレ・カオミ・ベジャンニ  
(西アフリカ、トーゴ)



## わたしはルツのために祈り始めました

**独**身女性として予想もしなかった借金を抱えてしまったわたしは、副業を探す必要があると分かりました。その後、同じワードのマーティという姉妹がわたしの所に来て、助けてもらえないだろうかと言ってきました。彼女は夫婦で伝道に出ることになっていたのに、仕事を辞めなければならなくなっていたのです。彼女の説明によれば、毎週土曜日に、介護生活者用のアパートに住んでいるルツという年配の女性のヘルパーをしているということでした。マーティはその仕事をわたしに譲り、ルツから仕事に見合う賃金が支払われると言いました。

次の月曜日に、マーティとルツから仕事について説明を受け、その数日後からその仕事を開始しました。まず、ルツの洗濯物を集め、それを2階の洗

濯室に持って行くことから始めました。わたしが仕事を始めるやいなや、ルツが走って来て、わたしをどなりつけました。洗濯をするときには、必ず自分に尋ねてから始めてくれと言うのです。

わたしは、ただ彼女とマーティからやってほしいと言われていたことをしていただけです。意外な言葉に驚き、傷ついたわたしは、あやうく涙をこぼしそうになりました。わたしは、自分の生活にこれ以上のストレスも問題もいらないと思いました。もしマーティに、留守の間はわたしがルツの世話をするというのを約束していなければ、わたしはそのままその仕事を辞めていたかも知れません。

それから何週間も、わたしが何をしても、ルツがわたしに対して必ずどなり声を上げるという状態が続きました。

わたしがどれほど努力しても、彼女を喜ばせることなど不可能ではないかと思われました。

わたしは、ルツやルツの厳しい言葉に耐えられる強さを与えてくださいと祈り始めましたが、何も変わることはありませんでした。彼女を助けなければならぬことにずっと腹を立てていました。

そんなある日、わたしは自分の祈りを変えてみました。自分自身のために祈るのをやめ、ルツのために祈り始めたのです。天の御父に、彼女に何が必要なのか、またどうやって助けたらよいのかわたしが理解できるよう助けてくださいとお願いしました。

その日をきっかけに、あらゆることが変わり始めたのです。わたしの心は和らげられ、ルツに対する愛も深まりました。ルツも同じように変わりました。彼女も心を開くようになり、自分の生涯や喜び、そして悲しみについて話してくれるようになったのです。彼女は、自分の家族と会えなくてさみしいと教えてくれました。彼女は、昔はしていたけれども、今はもうできなくなってしまったすばらしいことが幾つかあるのよ、と話してくれました。一人ぼっちでさみしいとも言いました。

わたしは、毎週ルツに会うのが楽しみになってきました。彼女の方もわたしに会うのを楽しみにしてくれるようになったのです。

わたしはルツとの経験を通じて、大切なことを学びました。全身全霊を込めて真心から仕えたとき、スペンサー・W・キンボール大管長(1895-1985年)の次の教えが理解できるようになったのです。「仕えるという奇跡の中にこそ、自分を失うことによって自分を得る、すなわち自分自身を見いだすというイエスの約束があるのです。」(“Small Acts of Service,” *Ensign*, 1974年12月号, 2) ■

ジューン・フォス(アメリカ合衆国, ユタ州)

**ま**ず、ルツの洗濯物を集め、それを2階の洗濯室に持って行くことから始めました。わたしが仕事を始めるやいなや、ルツが走って来て、わたしをどなりつけました。



# イエス・キリストの あがな 贖いの力を 感じたとき

ヤング・アダルトが、  
救い主の  
贖いの力を受けた経験を  
紹介します。

## よいときも悪いときも 助けてくださった救い主

バプテスマを受けた日は夢のようでした。完全な人として新たな人生を始められることがうれしくてたまらず、わたしはやる気に満ちていました。しかし、バプテスマを受けて数時間もしないうちに、きょうだいと口げんかをしてしまいました。バプテスマと確認を受けてすぐに過ちを犯してしまったことに落胆したのを覚えています。しかし、悔い改めたときに元どおりの気持ちを取り戻したことも覚えています。このように、わたしは幼いときに、イエス・キリストの贖いは、必要な、罪からの解放をもたらしてくれることを知りました。

その後も福音への理解を深めていくうちに、贖いは罪を犯したときにだけ頼るものではないことを学びました。試練や喜び、心痛、成功など、人生のさまざまな時期に生活に取り入れることができるのです。どうすれば友達に受け入れてもらえるか悩んでいたときに、天の御父に祈りました。すると、御子が同じ気持ちに苦しまれたことを思い出し、慰められました。何かがうまくいったときに、救い主も喜んでくださっていると思うと喜びがさらに増しました。救い主はそのような気持ちも経験なさっているからです。

アビー・マキーオン (アメリカ合衆国、ユタ州)







## 主に頼ることを学びました

何年もの間、わたしは独りぼっちで忘れられているように感じていました。やがて正しくない望みを抱くようになり、そのために罪を犯し、罪悪感と羞恥心のサイクルに陥ってしまいました。幸い、愛にあふれたビショップはわたしに、弱さや心の痛み、悲しみ、さらには罪をも補ってくださる救い主の贖いの役割について教えてくれました。ビショップは、わたしが進歩すると喜び、後退すると励ましてくれました。

わたしは、救い主についての知識を頭で知っているだけでは十分ではないことを学びました。天の御父に祈り、イエス・キリストの贖いを通して積極的に悔い改める必要がありました。そうすると、神の戒めにもっと従順に従うようになり、救い主に近づくことができました。

まだ誘惑に苦しむことがあります。救い主とその贖いに完全に頼ることができることを学びました。贖い主の岩に立っていれば、弱さは強さになるのです。パウロと声を合わせて次のように言うことができます。「それだから、キリストの力がわたしに宿るように、むしろ、喜んで自分の弱さを誇ろう。……なぜなら、わたしが弱い時にこそ、わたしは強いからである。」(2 コリント 12:9-10)

ジェイコブ・H・テラー (アメリカ合衆国、アイダホ州)

## 心の変化を経験しました

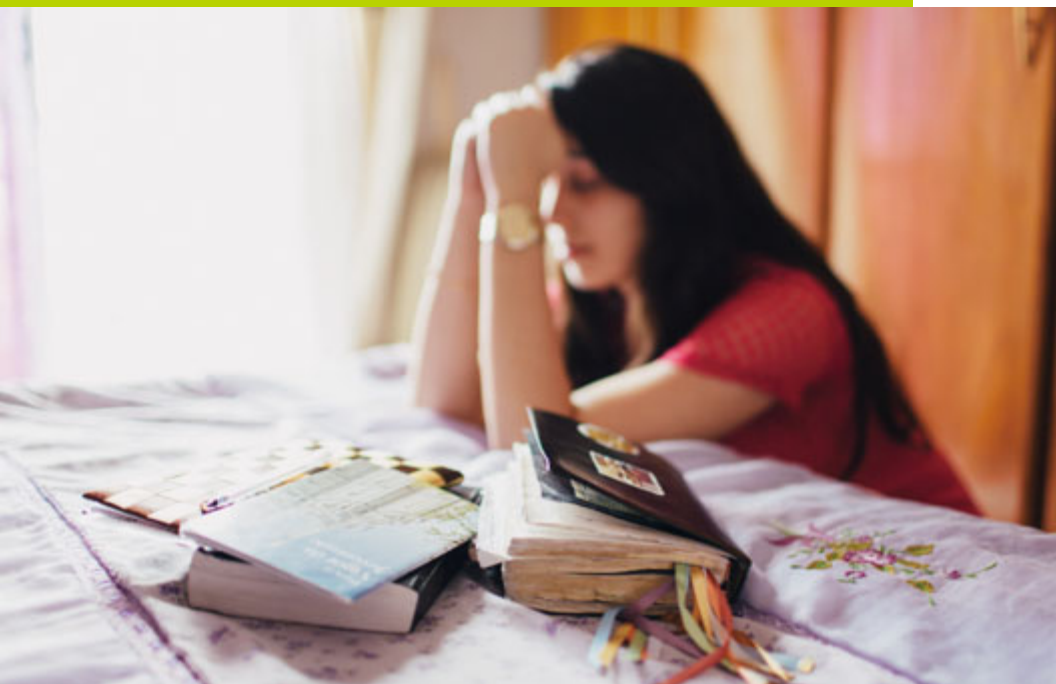
高校時代、わたしは福音にあまり心を向けていませんでした。伝道に出て、伝道とは何かを徐々に理解するようになり、本当にふさわしければ生活にもたらされるはずの力と進歩を得たいと望むようになりました。とうとう、過去の罪に対する罪悪感と悲しみが重くのしかかってきて、わたしは自由が欲しいと望むようになりました。清くなり、さらに主の御手に使われる者になりたいと思ったのです。伝道部長と何度か話し合いを重ねたわたしは、実家に戻って悔い改めるための時間を取るようになりました。

家に帰ったことは、自分の人生の中でもっともつらい出来事でした。わたしはそれまでとは違った方法で聖文を読むようになりました。実際に理解し、実践するようになったのです。何もかも「正しく」行っていたものの、罪悪感という重荷を依然感じていました。わたしはキリストとその贖いに焦点を絞って研究するようになりました。主がなぜわたしの救い主であり、主の無限の贖罪がどのようにわたしの

霊を贖うことができるのかを研究し始めたのです。ある晩、よく祈りながら研究して学んできた事柄について思い巡らせていると、御霊がわたしの心に触れ、わたしの霊を癒やし、慰めてくださるのを感じました。わたしは安心感と愛を感じ、罪悪感は消えました。

家に帰ったばかりの頃、悔い改めの過程に必要なのは心の変化だけだと思っていました。しかし今では、悔い改めには時間が必要であることを知っています。変化は、教訓に教訓を重ねながら少しずつ起こるのです。さらにキリストのようになるためには、心と望みと習慣を変えるための努力を長期にわたり重ねなければなりません。一瞬にして180度変わることはできませんが、贖罪のおかげで完全に変わることができます。

匿名 (アメリカ合衆国、ジョージア州)





## ゆる 赦せるようになりました

あるとき、わたしはあまりにも心が傷ついたために、他のさまざまなことにまで影響が出たことがありました。授業や宿題に集中できず、ルームメイトとの関係はぎこちなくなり、今にも泣き出しそうな状態が常に続きました。何より、最初にわたしを傷つけた人をなかなか赦せず、そのことでさらに怒りをつのらせていました。

ついに、悲しみと怒りに終止符を打とうと決意しました。それ以上その重荷を負うのはやめようと思ったのです。わたしは、赦すことができるように天の御父に助けを求めました。いつの間にか、心の痛みには耐えられるようになっていました。完全に消えてはいみせんでしたが、耐えられるようになったのです。わたしはこの経験から、救い主の贖いは悔い改めを可能にするだけでなく、癒やしを受ける助けとなることが分かりました。重荷を負い、謙遜に、真心から天の御父に近づいたときに、御父は心の傷や痛みを負うのを助けてくださいました。

ダニ・ローリセラ (アメリカ合衆国, カリフォルニア州)

## 将来への希望を感じました

両親が離婚したとき、永遠の家族になるという希望を失ったように感じました。人生の中でとてもつらい時期でした。しかし、そのときはなかなか気づきませんでした。その試練により予期せぬ祝福が家族にもたらされました。まず、母がバプテスマを受けました。

わたしも救い主をもっとよく知ることができました。わたしは悲しみを克服するために、ペルーのおばを訪問することにしました。そこで出会った友達がわたしをとて強めてくれたのです。わたしはその友達としばしば一緒に聖文を研究しました。あるとき、特別な経験をしました。福音のさまざまなテーマについて話し合っていると、救い主がわたしに抱いておられる愛をとて強く感じたのです。あたかも救い主がわたしに、「わたしはいつもあなたとともにいましたよ。あなたが気づかなかっただけです」と語りかけておられるように感じました。

今では、救い主がわたしたちを助けたいと思ってくださっていて、常にわたしたちとともにおられることを知っています。ときどき、自分の悲しみが信仰を上回り、自分は主に忘れられたのだと思うことがあります。しかし実際は、いつでも主の贖いから助けを得ることができます。

リアーネ・ソアレス・モレイラ (ブラジル, バイア)





## 主の完全な贖い

キリストの贖いには  
傷があって  
みんなは救われるけれど  
わたしはだめ——  
そう思っていた

でも、それは間違いだった  
傷は1つではなく  
7つある

2つは  
主の手のひらに  
群衆の要求により  
十字架につけられたときの  
釘の傷跡

主は彼らを救うために  
亡くなられた

2つの傷跡は  
手首に  
刑の途中  
体の重みで  
手の肉が  
裂けないように  
するために  
打ち込んだ  
傷跡

2つは  
足に  
神の揺るぎない愛を  
神の全ての子らに  
証あかしするために  
立った  
その足の傷跡



そして1つは  
わき腹に  
主がその業を終えられたことを  
証明するために刺した  
脇腹の傷

7つの傷  
完全  
7つの完全な傷跡が  
地上で唯一完全な御方に  
残った

完全な贖いは  
わたしたちの傷をふさいでくれる  
主の傷跡は  
わたしたちを完全にしてくれる

そう、わたしは間違っていた  
キリストの  
贖いは  
完全なのだ  
わたしのための  
贖いなのだ

ケーシー・ハマー (アメリカ合衆国, ユタ州)

## 主の復活に 慰めを見いだしました

わたしが23歳のときに祖母が亡くなりました。祖母は素晴らしい人生を送りましたが、若くして、思ったよりも早く死を迎えました。わたしよりももっと多くのものを失った人が大勢いることも、祖母が安らかな状態にあることも分かっていましたが、それでも現世で二度と会うことはないと思うと心が痛みました。

しかし、この悲しみを通してわたしは天の御父と救い主の助けを感じました。優しい訪問教師と友人が思いやりの込められた手紙やプレゼントを持って来てくれたり、親切な近所の教会員が我が家に立ち寄って、わたしたちに読んでもらいたいと思って本を買ってきてくれたりしました。その本には、救いの計画と、死後の世界が実在することについての使徒や預言者の言葉が書かれていました。

その晩、預言者の言葉を妹とともに声に出して読んでみると、心の中に平安が広がるのを感じました。イエス・キリストの贖いのおかげで、全ての人は清くなり、次の世で主とともに住むことができることを知りました。「キリストは、死者の復活を実現される」ことを知りました(アルマ40:3。アルマ41:2も参照)。贖いのおかげで、亡くなった先祖も含めて家族全員が永遠にともに暮らすことができることを知りました。そのことに永遠に感謝し続けるでしょう。

アマンダ・シーリー (アメリカ合衆国, ユタ州)

# グアテマラにおける 信仰の文化

教会機関誌  
リサ・ロベス

**教**会がグアテマラに初めて紹介されてから68年たった今、会員数は急速に伸びています。グアテマラは熱帯雨林と多様なマヤ文化に豊かに恵まれた国です。そのような美しい国であるにもかかわらず、グアテマラは、貧困と政争の国と言われることがよくあります。しかし、心の貧しい国だというわけではありません。メルシー・アレンスはグアテマラシティ出身の25歳で、個人的には、人々がおおむね寛容であって異なる宗教を受容する国に自分は恵まれて住んでいると感じています。「グアテマラ文化の主要な特徴の一つは、わたしたちが本来宗教的な民だという点にあります」と、彼女は語ります。「その文化と環境は、とても寛大で活気があります。」そうは言うものの、同じ信条を持つ仲間を見つけることは必ずしも容易ではありません。

「わたしが守っている標準は、モルモンについてまったく聞いたことのない職場や学校の人には極端に思われるかもしれません」と語ります。それでもメルシーはくじけることなく、教会

の召しと活動に活発に携わることの大切さを力強く述べます。「そうした活動に行くときには、基本的に同じ目標と原則を持つ人たちと交わり、よい関係を築くようにしています。」霊的な経験<sup>あかし</sup>を共有する友人がいたことで自分の証を強めることができたと、彼女は理解しています。この友情のおかげで、メルシーは思いもしない祝福にもあずかってきました。「友人たちと付き合うことで、デートも気軽にできるようになりました。さまざまな状況で彼らに会ってきました。そのことで、もっと自然に彼らを知るようになりました。」

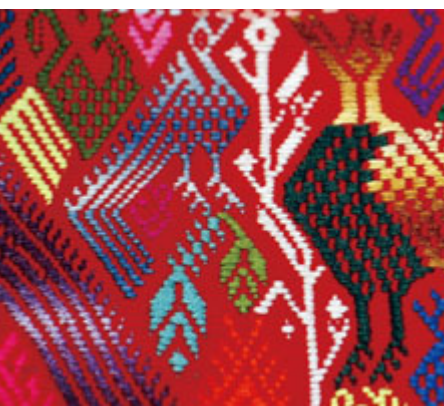
時折、メルシーは結婚のプレッシャーを感じる場合があります。しかし、特に問題もないし万事がうまくいくという安心感があります。「わたしがもっと神に近づけるよう助けてくれる、そんな関係が築ける人との出会いを楽しみにしています。一緒に永遠の家族を築きたいのです。」

メルシーには、自分が受けた全ての祝福の中でも特別なものが一つあります。「15歳のときに母を亡くしました。母の死とともに、多くの疑問

メルシー・アレンスは、  
同じ標準を持つ友人の  
支えがあるときに  
もっと容易に  
自分の標準を守ることができる  
ということを知っています。

が生じました。しかし、これらの疑問とそれに対する答えがあったおかげで、人生が完全に定まりました。」心から祈ることで、メルシーは、幼いときに母から抱き締められたように、いつの日か母を抱き締めることができるという慰めを得ることができたのです。「福音の真理がわたしの日々の生活と活動に輝きをもたらしてくれます」と、彼女は語ります。「わたしは自分が神聖な神の愛とつながっていることを知っています。そして、その思いがあるので、あらゆる点で満たされています。」■





## メルシーについて

大好きなグアテマラ料理は何ですか。

赤ポテトと薄切り牛肉で作った「イラチャス」と呼ばれるシチューです。インゲン豆やニンジンを入れる人もいますが、わたしはポテトだけの方が好きです。

大好きな場所はどこですか。

グアテマラは自然が美しい所です。わたしが行きたい大好きな場所の一つは、アティトラン湖とその近くにある町パナハッチェルです。マヤ文化を感じられる町です。先住民は伝統的な言語を保護するために懸命に頑張ってきました。わたしは彼らの手織りの服の色彩と複雑な模様を見るのが大好きです。

グアテマラでの高等教育はどうでしょうか。

わたしの国では、教育の問題は複雑です。多くの人が読み書きができないという問題を抱えています。高等学校を卒業後、ほとんどのヤングアダルトは、経済的な責任に直面し、大学に通うかフルタイムの仕事に就くか選ばなければなりません。しかし、教会には、会員が高等教育を受けられるよう支援するすばらしい手段があります。

## グアテマラについて

首都 — グアテマラシティ

言語 — スペイン語

## 数字で見ると

人口 — 1,464万 7,083人  
(2014年7月現在の推定)

国立公園 — 21

火山 — 3

## グアテマラの教会

末日聖徒 — 24万 7,708人

ワードおよび支部 — 417

神殿 — 2

伝道部 — 6



十二使徒定員会  
D・トッド・  
クリストファーソン長老



## 真に悔い改める 方法

**悔**い改めは幅広いテーマですが、この福音の基本原則から皆さんに役立つと思われる5つの面についてだけ話したいと思います。

第1に、**悔い改めを勧めることは愛情表現の一つです**。救い主は「教を宣べはじめて言われた、『悔い改めよ、天国は近づいた。』」(マタイ4:17) それは愛のメッセージであって、資格を得て、主とともに、「この世において永遠の命の言葉を享受し、来るべき世において永遠の命……を享受する」よう万人に呼びかけるものでした(モーセ6:59)。変わるよう人に勧めないとしたら、あるいは自分に悔い改めを要求しないとしたら、互いと自分自身に対して負う基本的な義務を怠っています。

第2に、**悔い改めとは変わる努力を意味します**。何の努力もしないのに、主が天使のような人に変えてくださると期待することは、救い主がゲツセマネの園と十字架上で負ってくださった苦しみあざけを嘲ることになり

ます。そうではなく、わたしたちの熱心な努力を補い、報いてくださるよう主の恵みを願い求めるべきです(2ニーファイ25:23参照)。真の悔い改めや**真の変化にはたゆまぬ努力が求められます**が、その努力には人を精錬し、**聖める力**があります。

第3に、悔い改めには、**罪を捨てるだけでなく、従順であることを決意する**という意味があります。『聖書辞典』(Bible Dictionary)にはこう記されています。「悔い改めは、心と思いを神に向け、〔それと同時に、〕人が陥りやすい罪を退けることを意味する。」「(“Repentance”) わたしたちが主に完全に立ち返るには、主への従順の聖約を交わさなければなりません。

第4に、**悔い改めには、たとえ痛みを伴うとしても諦めず貫き通すという明確な決意と進んで行く意志が求められます**。悔い改めの具体的な手順を書き出そうとするのは、人によっては有用かもしれませんが、しかし、それは感慨も変化もない、

機械的な行動リストのようなやり方にもなりかねません。真の悔い改めは上辺だけのものではありません。主は二つの基本的な事柄を要求しておられます。「人が罪を悔い改めたかどうかは、これによって分かる。すなわち、見よ、彼はそれを告白し、そしてそれを捨てる。」(教義と聖約58:43)

第5に、悔い改めるためにどれほどの**苦痛**を受けるとしても、それは**赦しの喜びにのみ込まれます**。

わたしは、主の計り知れない苦痛と、死と復活が「悔い改めの条件を果たし[た]」(ヒラマン14:18) ことを感謝の気持ちをもって受け入れ、そして証あかしします。**悔い改め**という神の賜物は、この世と次の世における**幸福の鍵**です。救い主の言葉を借りて、わたしは心からへりくだり、また愛を込めて、「悔い改めよ、天国は近づいた」とあらゆる人に申します(マタイ4:17)。この招きを受け入れるならば、この世から永遠にわたって**喜びを見いだせる**ことを知っています。■

2011年10月総大会での話から



# 生ける水を求めなさい

「すべて重荷を負って苦労している者は、わたしのもとにきなさい。

あなたがたを休ませてあげよう。」

(マタイ11:28)





伝道に出たいと告げたときの  
両親の反応は  
思いも寄らないものでした。  
家族か伝道かの  
どちらかを選ぶように  
言われたのです。





# とどまるべきか、 それとも、従うべきか

メルビン・ロンディーリャ

**今**でも、わたしを教えてくれた宣教師の言葉を思い出すことができます。「何であれ、神がお命じになることは行いなさい。そうすれば祝福はついてきます。」この言葉は心に深く刻まれました。わたしは16歳のときにバプテスマを受けました。家族で唯一の教会員でした。8か月後、一番下のきょうだいバプテスマを受けて教会員となるのを見る祝福を得ました。

18歳になったとき、専任宣教師として主の業に貢献したいと思い、両親に自分の計画について話しました。人々が福音の原則を受け入れ、儀式を受けて、福音に従って生活できるよう助けることで、彼らをイエス・キリストのもとに招きたいという思いを熱心に伝えたのです。二人の反応は意外なものでした。わたしが伝道に出ることを考えると胸が潰れる思いがすると言い、家族か伝道か、どちらかを選ぶように迫ったのです。

その言葉に、わたしは動転しました。すぐに、家の近くにある教会堂へ行き、部屋の一つに入ってひざまずき、天の御父に尋ねました。「どうすればよいのでしょうか。どちらを選べばよいのでしょうか。家族ですか、それとも伝道ですか。わたしにはどちらも大切なのです。」

ひざまずいていると、「何であれ、神がお命じになることは行いなさい」という宣教師の言葉がよみがえってきました。

わたしは家族を愛しています。家族と永遠に一緒にいることがわたしの望みです。家族の気持ちを大事にしています。しかし、聖文には、「従うことは犠牲にまさ〔る〕」と書かれています（サムエル上15:22）。わたしは主の御霊に満たされて強められ、伝道に出ると決心しました。家族が理解できるよう、天の御父が助けてくださると分かったからです。

しかし家に帰ると、父は怒りに満ちた言葉でわたしを追い出し、二度と帰って来ると言いました。わたしは行く当てもないまま、荷物をまとめました。でも、少しも怖くありませんでした。主がともにいてくださり、どの家族にも主の計画があり、いつか、わたしの家族もこのすばらしい計画を理解する日が来ると知っていたからです。

家から2、3歩出ると、母がわたしをつかまえて抱き締め、心から愛していると言いました。歩きだすと、母が泣いているのが分かりました。去って行くわが子を見送る母親の愛と、心の痛みでいっぱいだったのです。

それから1年余りの間、求道者の

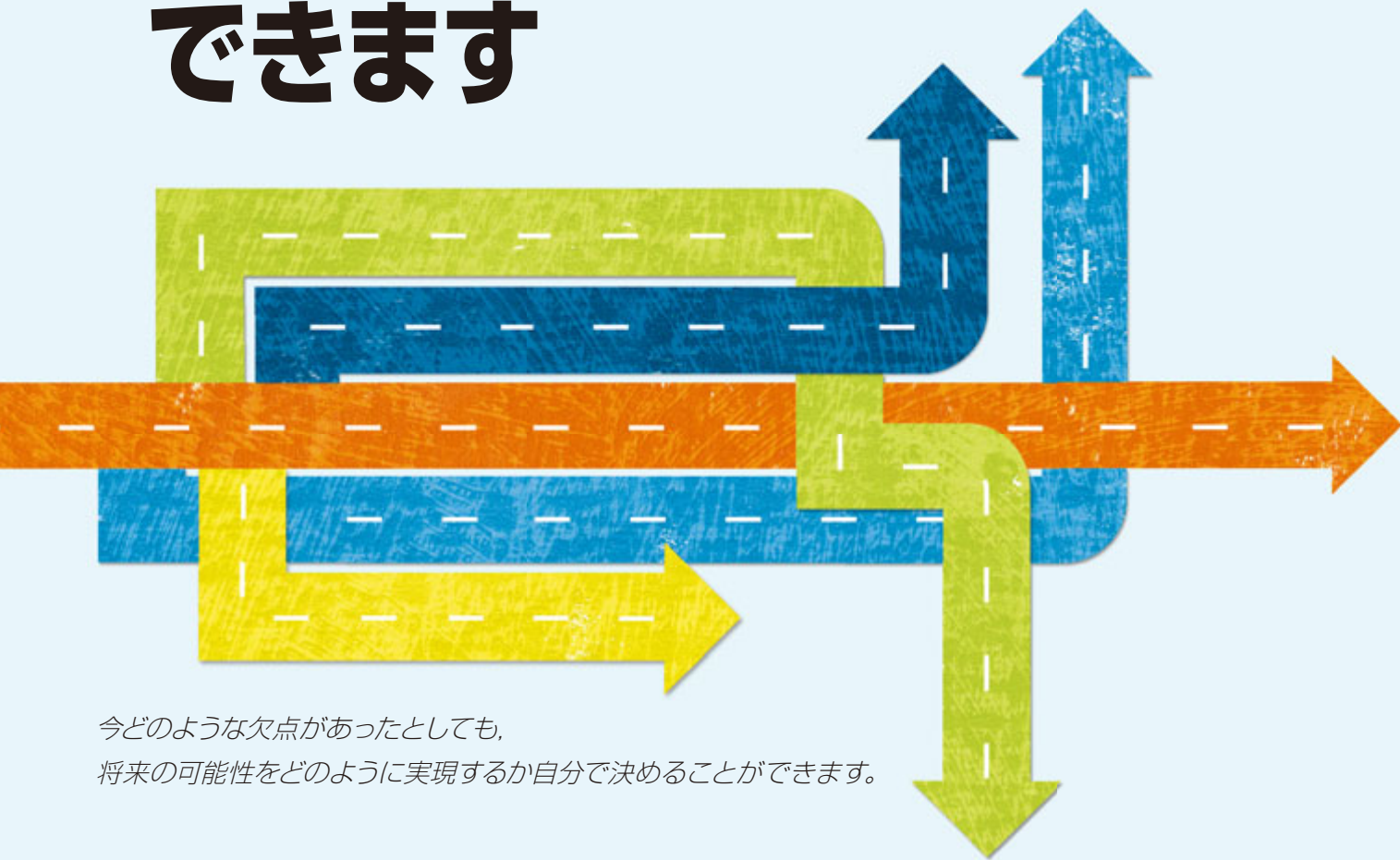
ときに出会った帰還宣教師の家に身を寄せました。主はニーフアイ第一書3章7節の約束のとおり、わたしが主の戒めに従うことができるように道を備えてくださいました。わたしの生活の面倒を見、伝道の備えができる霊的な環境を与えるために、無私の心を持つ、寛容な男性を遣わしてくださいました。困難なとき、神の手に支えられているのを感じていました。贖いの犠牲による救い主イエス・キリストの愛を感じました。この愛は試練の間わたしを支え続け、わたしはついにフィリピン・カウアヤン伝道部の専任宣教師に召されました。

その2、3か月後、わたしの帰りを待っているという家族からの手紙を受け取りました。わたしは、いつの日か家族全員が教会員となり、神殿で永遠の結び固めを受け、天の御父と御子イエス・キリストのもとに行くことができるという信仰と希望を決して失いませんでした。

伝道後、この夢が実現し始めました。母にバプテスマを施すことができました。母は今、神殿に行く準備をしています。家族とも頻繁に会っていて、今までにないほどきずなを強めています。■

筆者はフィリピン在住です。

# あなたは変わることができます



今のような欠点があったとしても、  
将来の可能性をどのように実現するか自分で決めることができます。

教会機関誌  
デビッド・ディクソン

**高**校の卒業式では、さまざまな思いが脳裏を駆け巡るでしょう。「これからどうなるのだろうか。」「準備はできているだろうか。」「これからも友達と連絡を取り続けるだろうか。」

しかし、わたしの場合は違いました。順に名前が呼ばれてわたしの番になり、前へ出ようと歩いているときに思っていたのはただ、「自分は本当に卒業できるのだろうか」ということだけでした。

わたしは優等生とは言いがたい生徒でした。勉強が優先順位の上位を占めたことはありませんでした。

そして最終学年では、ある科目の成績が特に悪く、合格点が取れたかどうかさえ分からなかったのです。その週の初めに行われた最終試験で運命は決まるのですが、点数が分かるのは1週間後でした。

落第点を取っていれば、高校を卒業することはできません。

結果的には、すれすれの成績で卒業することができました。(危なかった!) 当時は伝道に出ることのできる年齢は19歳で、それまで14か月ありました。その間に働いて、伝道資金をためるつもりでした。勉強が苦手なのは分かっていたので、大学

に行く気はまったくありませんでした。

## 決めつけというわな

あなたも同じように感じたことはありませんか。人生のある過去の時期の出来不出来によって自分の能力の全てが決定的に証明されたという思いです。

そのような考えに陥らないください。それはサタンの最大のうその一つです。

七十人会長会のドナルド・L・ホールストロム長老は次のように教えました。「わたしたちの誰もが『わたしはそういう人間なんだ』とひとたび



決めつけたら、自分の変わる力を放棄したことになります。白旗を掲げ、武器を捨て、敗北を認め、まさに降伏したのも同然で、勝利の可能性を失ってしまいます。」<sup>1</sup>

成績が良くない人にとって、学校という所はただ恐怖の場所だと思われかねません。通知表に成績の良い課目がほんの2、3あるだけで、これが自分の将来の限界だといとも簡単に決めつけてしまうのです。しかし、それは間違いです。

「人は将来、現在の自分とは違う人になることができる」とホールストロム長老は語りました。<sup>2</sup>

### 白紙の状態から始める

疑いや過去の失敗でどんなに否定的な気持ちになったとしても、前を向き、過去の自分を責めるのをやめる選択をすることはいつでもできます。

大管長会第二顧問のディーター・F・ウークトドルフ管長は、「新たな出発にはきわめて大きな希望があります」<sup>3</sup>と教えました。

新たに出発すると決めたら、助けを求めて神に祈ることを忘れないでください。成功したいと神に伝え、聖霊と指導者からの促しや導きに注意を

向けてください。

そのために、少し優先順位を変える必要があるかもしれません。「わたしたちの日々の行いや選択は、目標と一致したものでなければなりません」と十二使徒定員会のクエンティン・L・クック長老は語りました。また、次のようにも言っています。「多くの選択があること自体は、悪いことではありません。しかし、そのために全ての時間が奪われたり、最も良い選択ができなくなったりするとしたら、そのときは油断のならないものとなるのです。」<sup>4</sup>

### 新しい自分を見いだす

では、高校の卒業式から3年半の月日を早送りしましょう。1年半ほど働いて、2年間専任宣教師として奉仕したわたしは、結局、大学に行こうと決めました。

その時点で、十分に成長して大学に行く準備は万全だったと言えればよいのですが、そうではありませんでした。わたしはそれまで以上にびくびくしていました。高校であれほど成績が悪かったのに、大学でうまくやっていけるわけがない、と思っていたのです。しかし、今回は最善を尽くし、

神に助けを求めようと決心しました。新しい、より良い学習能力を身につけることができるよう、熱心に祈りました。

すると、まったく驚いたことに、その学期は非常に良い成績を取め、奨学金を受ける資格を得たのです。誰よりもわたし自身が一番驚きました。それでも、それまでの数か月を振り返ってみると、そこには神の手があり、良い成績が取れるように助けてくださっていたことは容易に分かりました。

自分はこんな人間だと高校時代に思い込んでいたことは正しくなかったのです。その時から、神の助けによってまったく新しい道を進むことができ、大学を卒業し、その後の人生を切り開くことができました。

主とともに人生の坂を登って行くとき、そして分野を問わず、人生の新たなスタートを切ると決心したとき、可能だとは夢にも思わなかった高みに到達することができるのです。■

### 注

1. ドナルド・L・ホールストロム「どのような人物であるべきか」『リアホナ』2014年5月号, 53
2. ドナルド・L・ホールストロム「どのような人物であるべきか」53
3. ディーター・F・ウークトドルフ「木を植えるのに最も良い時期」『リアホナ』2014年1月号, 4
4. クエンティン・L・クック「賢明に選ぶ」『リアホナ』2014年11月号, 49, 48





日曜日のレッスン

……  
今月のテーマ——

戒め

# 世のものとならず

今の世の中で、キリストの教会の会員として

毅然<sup>きぜん</sup>とした態度を保つのが難しいときがあります。

しかし、この世にあっても、この世の影響を受けずに生活することができます。

「世<sup>よ</sup>にあつて世のものとならず」という表現がどこから来たのだろうかと思つたことはありませんか。これは単なる人生訓でも、気の利いた表現でもありません。実はこれはイエス・キリストの言葉なのです。

主が十字架におかかりになる前夜の様子を思い描いてください。主は弟子たちと会い、彼らの足を洗い、教え、聖餐<sup>せいさん</sup>を執り行われました。その夜のどこかの時点で、主は声を上げて弟子たちのために御父に祈られました。

「わたしがお願いするのは、彼らを世から取り去ることではなく、彼らを悪しき者から守って下さることです。

わたしが世のものでないように、彼らも世のものではありません。……

あなたがわたしを世につかわされたように、わたしも彼らを世につかわしました。」  
(ヨハネ 17:15 - 16, 18)

救い主御自身も全生涯をこの世で送られました。この世のものではありませんでした。誘惑を受けられても、屈しませんでした。悪を避けられました。弟子や信者だけでなく、罪人や偽善者とも交われました。主はあらゆる人の模範でした。

しかし、「わたしが行ったのなら、あなたたちもできるはずだ」とそっけなく言われたものではありません。主は思いやり深い御方でした。御父に、彼らを助けて下さるよう祈られたのです。しかし、彼らから困難を取り去ってくださいと祈られたものではありません。地上での御自身の生涯を通じて、また現代の使徒と預言者を通して救い主が説いてこられたのは、わたしたちがこの世において良い影響を与える者となることの大切さです。

学校の廊下を歩いているときも、友達と一緒にいるときも、課外活動に参加しているときも、世界中の青少年は絶えず難しい課題に直面しています。しかし、救い主を傍らに、心に福音を抱いて生活することで、彼らはこの世のものとならない方法を見だしてきました。では、どのように救い主の模範に従うことを選択しているのか、何人かの意見を読んでみましょう。



## 熱心に携わる

**誘**惑に遭ったとき、わたしは「イエスならどうされるだろうか」、あるいは「これはわたしを日の栄えの王国に近づけるものだろうか」と自分に問いかけます。セミナーは霊的な成長の助けとなっているので、どんなに疲れていても毎朝行っています。聖文を読むときは、新しいことを学び、もっと善い人になるのに役立つことを学ぶ目的を持って読みます。それが導きの源であり、わたしの支えです。また、安息日<sup>きよ</sup>を聖く保ち、活動に参加することで、もっと容易にサタンに勝てるようになります。主の業に熱心に携わるとき、どのような困難な状況にあっても主は必ず助けてくださいます。

ブレンダ・H, 17歳 (アメリカ合衆国, ミネソタ州)



## 正義を選ぶとき、 創造力を働かせましょう

周りの標準が自分と異なるときは、創造力を働かせて、自らの標準を守りながら付き合っていく方法を見いださなければなりません。十二使徒定員会のL・トム・ペリー長老(1922 - 2015年)がまだビジネスマンだった頃、居心地の悪い状況に陥ったときにこの方法を取りました。長老が参加しなければならない社交の場では、いつも全員がアルコールを飲んでいました。ペリー長老がどのようにしたかは、lds.orgの「バランスが取れて義にかなった生活の伝統」を読んでください。(『リアホナ』2011年8月号, 31 - 37)

## 他の人から力を得る

**わ**たしは教会の友達と活動に参加することで標準を守っています。もちろん、教会員ではない友達も誘います。どうしてわたしが標準に従いたいと思っているのかを見て、理解してもらいたいからです。両親と兄はわたしにとって良い模範です。教会員ではない良い友達も大勢いて、彼らもまたすばらしい模範です。わたしが身につけたいと思うすばらしい特質を、たくさん持っているのです。

セリーナ・W, 15歳 (ドイツ)



はっきり意見を述べる

**デ**ンマークでは、教会に行き、お酒を飲まず、高い標準を持っていると、変わっていると思われる。でもわたしは、自分が守っている価値観について恥ずかしがらずに話せば、すぐに友達から深い尊敬を得られることを経験しました。自分を大切にしている人を見ると、多くの人は、それがかっこいいと思うのです。

エマ・K, 18歳 (デンマーク)

## 日曜日に備えて、深く考える事柄

- イエス・キリストが天の御父に、皆さんを「悪しき者から守ってくださる」よう祈り、願ってくださったことを知ることは、皆さんが次に誘惑に遭ったときにどのような助けになるでしょうか。
- 救い主の生涯について考えてください。地上におられたとき、主は何をなさいましたか。どのようにして、この世のものとならないようにされましたか。主の模範から何を学ぶことができるでしょうか。
- 「この世にいる」ことで陥る困難な状況を考えてください。真理を守ろうとするとき、どのような工夫ができますか。他にも良いアイデアがないか、友達や家族に聞いてみましょう。



光を輝かせる

**2** 3年前、わたしの所属していたラグビーチームが1週間にわたるトーナメントに参加しました。つまり、7日間は、家や両親、教会の指導者から離れるということです。わたしたちが通っていたのは教会の学校だったので、チーム全員が教会員でした。同じホテルに泊まった他のチームは、その1週間ほぼ毎晩、部屋で大音量で音楽をかけて踊ったり、酒を飲んだり、タバコを吸ったり、互いにひどい言葉で叫んだりして騒いでいました。わたしたちのチームは一つの部屋に集まって、いつものように聖文を研究し、霊的な会を開きました。親から言われることなく、正しいことをするのは良い気持ちでした。わたしたちのしていることを驚きの目で見ていた他のチームは、わたしたちを尊敬するようになりました。夜の霊的な会をしているのを知ると彼らも静かになり、わたしたちの行動に興味を持ったようでした。そして、一緒に聖文を読んで祈りに参加する人たちさえいました。

その週のトーナメントでは優勝できませんでしたが、別な意味でわたしたちは勝ったのです。わたしたちは光を輝かせることができ、模範を通して人々の心と思いを変えることができました。■

エリサラ・E, 20歳 (サモア)

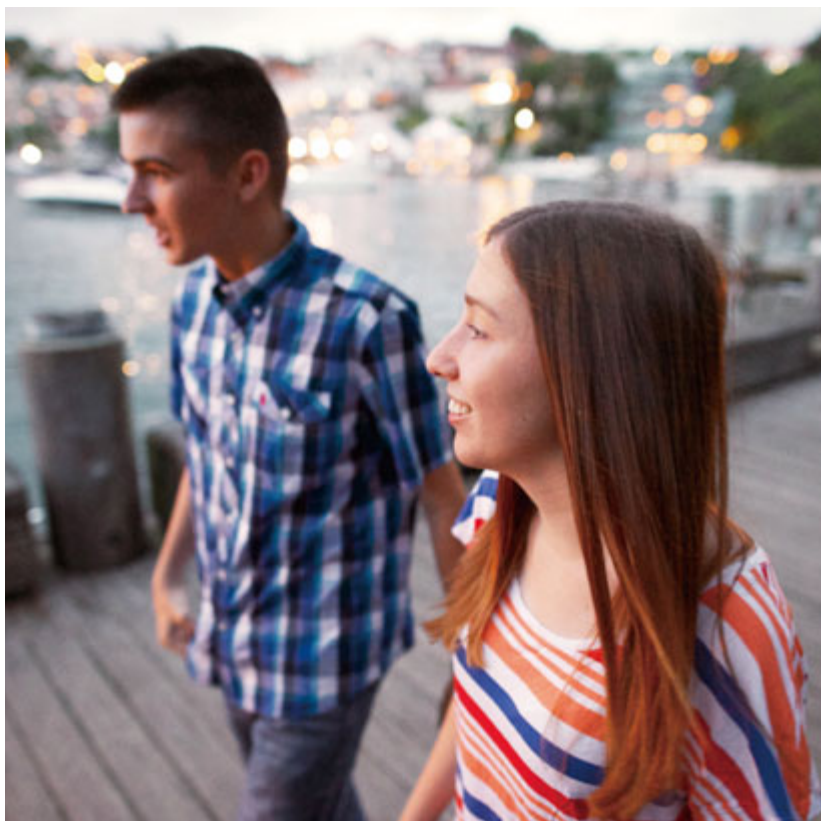


## そこが知りたい

**信仰箇条第 8 条**には  
「わたしたちは、**正確に**  
**翻訳されている**かぎり、  
『**聖書**』は神の言葉である  
**と信じる**」とありますが、  
これはどういう意味なのでしょう。

**聖**書が他の聖典と比べて劣っているという  
ことではありません。十二使徒定員会の  
M・ラッセル・バラード長老はこう言っています。  
「わたしたちは……聖書を信じ、尊び、愛していると  
申し上げます。確かに、わたしたちはさらに……  
その他の聖文を持っていますが、それは聖書に  
取って代わるものではなく、聖書を支える  
ものです。」(「聖書という奇跡」『リアホナ』2007  
年 5 月号, 81)

信仰箇条第 8 条では、「わたしたちは、正確に  
翻訳されているかぎり、『聖書』は神の言葉  
であると信じる」と言っています。ジョセフ・  
スミスの時代では、**翻訳する**という言葉は、  
ただ単にある言語を他の言語に移し替えるとい  
う意味だけで使われていたわけではありませ  
ん。転写する、伝える、解釈する、説明すると  
いった意味もありました。また、ヘブライ語や  
ギリシャ語の原典から翻訳されたさまざまな版  
には、誤りが散見することは確かですが、もっと  
大きな問題は、古代の原典から現在の版に  
至る過程で「分かりやすくて貴い多くの部分  
が取り去られている」ことです(1ニーファイ  
13:28)。ですから、聖書の原文がわたしたち  
に**伝えられる**過程で、ある教えが幾つか失わ  
れました。それが一因となって、ジョセフ・  
スミスが経験したように、聖書に関する数多く  
の異なった解釈が存在しているのです(ジョセ  
フ・スミス—歴史 1:12 参照)。ある意味、現  
代の啓示が聖書の真理を明確にし、確認する  
助けになるというのは、それが失われた他の真  
理を回復してくれるからなのです(1ニーファイ  
13:39 - 40 参照)。



**ぼくは、女の子たちに  
もっと慎み深い服装を  
してほしいと思っています。  
失礼にならずにその思いを  
伝えるためには どうしたらいいですか。**

このような問題については慎重に行動する必要があります。  
**こ**慎みのない服装をする若い女性の中には、意図的にそ  
ういう服装をしている人もいますが、大半の女性は、自分が慎  
みのない服装をしていると考えている人がいるのを知ったら、  
恥ずかしく思うことでしょう。ですから、言葉に気をつけて、  
いつも同じ態度で接してあげてください。慎み深い服装とい  
うことが一般的な話題に採り上げられたときには、慎み深  
さに関する主の標準を断固として支持しましょう。でも、決  
して個人攻撃はしないでください。また、自分自身の服装  
の標準や行動も、決して自分の信念と矛盾することのない  
ようにしましょう。若い女性たちは、皆さんがどんな服装  
をするか、いつも気にかけています。そして、皆さんが  
慎みのない服装をしている女性に気を取られているのか、  
それとも慎み深い服装をしている女性に気を取られてい  
るのか、間違いなく気づいていますよ。■

# セミナーには価値があります



セミナーで学ぶためには多少の犠牲が必要かもしれません。でも、ここに紹介する青少年は、セミナーがどれほど素晴らしい祝福であるかを知っています。

「睡眠時間が1時間削られるなどとは考えません。霊的に備える1時間だと思っています。」

メーガン・C, 17歳  
(アメリカ合衆国カリフォルニア州)

「セミナーのおかげで、証<sup>あかし</sup>がとても強められました。そして、聖文について知識がさらに確かなものとなりました。ゲツセマネでの救い主の犠牲についてわたしが持っていた証は、セミナーのおかげでさらに強くなっています。」

ビナ・C, 17歳 (中国香港<sup>ホンコン</sup>)

「いつも御霊<sup>みたま</sup>を感じられる場所が一つあります。それはセミナーです。我が家ではわたしだけが活発会員ですが、両親はとても協力的です。セミナーのおかげで、わたしはとても成長しています。」

アマンダ・L, 17歳 (アメリカ合衆国ユタ州)

「セミナーにはその日の出来事に備えて気持ちを安定させる力があります。良くない考えが湧いてくるとしたら、セミナーのレッスンについて考えることができます。それはセミナーを超えて大きな影響を与えてくれます。」

エリック・G, 15歳 (イギリス, イプスウィッチ)

「セミナーに行くことは本当に大切です。教会についてもっと学びますし、天の御父との関係を築けるからです。セミナーを好きなのは、教会の歴史がもっと分かるし、また福音が真実であって、天の御父とイエス・キリストがわたしを愛してくださっていると実際に知ることができるからです。」

ブレック・M, 17歳  
(アメリカ合衆国ケンタッキー州)

「わたしはセミナーが大好きです。決断を下す助けになるからです。クラスで主の御霊を感じ、この福音がキリストの福音であるという確信があります。セミナーが好きになれないなんて、考えられません。この4年間の学習が伝道の奉仕に役立つことを知っています。」

カロリーナ・O, 16歳  
(ブラジル, ジョアンペソア)

「たとえ朝早く起きたくないと思うことがあったとしても、毎日、少しずつこの特別な気持ちに満たされるようになります。友人はそのようなあなたに気づき、時には、あなたがどうしてそのような人なのか、もっと知りたいと思うようになります。」■

カレン・K, 18歳 (アメリカ合衆国メイン州)

**全** 世界の末日聖徒の青少年に共通していることが一つあります。それは何でしょうか。それは、セミナーの生徒だということです。青少年がセミナーに出席する仕方はさまざまです。朝5時に起きて登校する前にセミナーに行く人もいれば、通常の学校の授業と授業の間に出席する人もいます。週末に行く生徒やSkype(スカイプ)を使って参加する生徒もまれにいます。

睡眠や週末のサッカーの試合を犠牲にするかどうかに関わりなく、全世界の39万人を超える青少年が、喜んでセミナーに参加しています。彼らがセミナーの祝福についてどう言っているか、聞いてみましょう。







### セミナーを活用する

「セミナーに参加する機会があれば、有効に活用してください。……セミナーから得られることのほとんどは、皆さんの態度と教えを受ける姿勢に懸かっています。皆さんが謙虚に熱心に学ぶ姿勢を持てるように祈っています。……セミナーはわたし自身とわたしの証を強めるのに欠かせませんでした。セミナーには人生を変える力があります。」

トーマス・S・モンソン大管長  
「信じ、従い、堪え忍ぶ」  
『リアホナ』2012年5月号、127-128



## 聖文がわたしを変えました

マリア・マホンリー・イグラジル・アングカ

フィリピンには、学力の高い生徒のための理系高校があります。理系高校の生徒は、普通高校の生徒よりも履修科目も授業数も多く、よく勉強します。

このような環境は、わたしにとって有り難いものではありませんでした。この高校に入った時点で、わたしは多くのものを諦めました。楽器の練習をやめましたし、教会の活動にはほとんど出席しませんでした。また、他校との試合があったために、日曜日に教会の礼拝行事に出席しないこともときどきありました。セミナーは出席の便宜を図って週末に開かれていたにもかかわらず、出席するのに苦労しました。

ある土曜日に、セミナー教師が自分の高校時代のことを話してくれました。非常に忙しかったにもかかわらず、どうにかセミナーの課題を行い、マスター聖句を研究したそうです。教師は同じことをするようわたしたちにチャレンジしました。

このチャレンジに鼓舞されて、わたしはそれを実行することにしました。マスター聖句カードをどこに行くにも持ち歩きました。学業と両立できるよ

う助けを求めて祈りました。あらゆる時間を活用しました。通学時に聖句を暗記しました。おしゃべりを減らし、ポケットからカードを取り出すようになりました。友達はそれに気がつき、聖句カードをシャッフルするのが休み時間と昼休みの時間の新しい活動になりました。友達は面白がってわたしに問題を出してくれました。自分の聖典を持って来る友達も出てきました。他の教派に所属している人まで聖典を持って来たのです。彼らはこの活動について自分の教会の人に伝えました。わたしは周囲の雰囲気が変わってくるのを感じました。学校に行くのが苦痛ではなく、楽しくなってきました。

3人の妹もその手本に従いました。そして今、家族は家庭で聖文のもたらす祝福にあずかっています。それはただ聖句を暗記する以上のことでした。セミナー教師はわたしや周囲の人々に聖文が及ぼす影響についてわたしに教えてくれたのです。家族や友達にどんな問題や試練が降りかかろうとも、愛にあふれた救い主の言葉の中に、いつも力と導きと安らぎがあることを、わたしは知っています。■

筆者はフィリピン、メトロマニラ在住です。





# 「自分で分かりました」



セミナー・インスティテュート  
トラビス・サール

あなたは  
福音が真実であることを、  
自分で知りたいと思いませんか。  
セミナーで、福音学習を  
レベルアップしましょう。

新しい卒業要件に関する詳細については、[seminary.lds.org](http://seminary.lds.org) をご覧ください(セミナーのサイト。一部は英語)。聖文を真摯に研究し祈ることによって証を得たヤングアダルトの実例については、『リアホナ』2009年1月号に掲載されているクレイトン・M・クリステンセンの経験談「最も役立つ知識」を読むとよいでしょう。[liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) でご覧になれます。

「自分で分かりました」とは、預言者ジョセフ・スミスが最初の示現を経験した後で母親に語った言葉です(ジョセフ・スミス——歴史1:20)。この言葉の中には、今日のわたしたちに向けた力強い教訓があります。トーマス・S・モンソン大管長は次のように教えています。「12歳であれ、112歳であれ、あるいはその間の何歳であれ、皆さんはイエス・キリストの福音は真実であることを自分で知ることができます。」<sup>1</sup>

「自分で分か[る]」ようになるため、全世界のセミナーの生徒は、セミナーを卒業するために、さらに次の二つの要件を満たすことになりました。(1) コースに割り当てられた聖文を読む。(2) 各コースにつき2回実施される学習理解度調査に合格する。あなたの証を強めるためにこの新しい卒業要件をどのように役立てることができるか、その方法を以下に紹介します。



### コースの聖文を読み、研究します。

聖文を研究すると御霊みたまの促しを感じるようになり、その促しによって改心の度合いが深まります。ある生徒は昨年のセミナーで課題の聖文を読破して、それまでよりもずっと多くのことを学んだと言っています。「本当の意味で聖文を読んだからです。読むだけでなく、研究しました。」

十二使徒定員会のD・トッド・クリストファーソン長老は、研究することの意味を次のように教えています。「『学ぶ』とは、……数節読み、深く考え、同じ節を注意深く読み返し、意味を考え、理解を求めて祈り、心に問いかけ、霊的な考えが浮かんでくるまで待ち、覚えたりさらに学んだりするために感じたことや理解したことを書き留める〔ということです。〕」<sup>2</sup>

### 学習理解度調査を活用して、何を学び取ったかを確認することができます。

「何が見えるか」と主の天使はニーファイに問いかけました(1ニーファイ11:14)。学習理解度調査は、この問いかけのようなものです。こう問いかけられてニーファイは、自分が学んできたことを評価し、それを伝えました。

学習理解度調査は3つの部分に分かれています。点数のつく選択問題と記述式問題、それに、点数のつかない、信仰に関するアンケートです。ある生徒は、学習理解度調査を受けた後でこう言いました。「これを楽しみにしていました。セミナーで何が身についたか知りたかったからです。」別の生徒は、学習理解度調査は「自分は福音をどの程度理解しているか、さらに何を学ぶ必要があるかを知るのに役立ちます。」と言っています。

学習理解度調査の基本である福音の教義と原則を中心に学んでいくなれば、この調査はさらに大きな効果を発揮するでしょう。問いの背景にある教義についてセミナーのクラスで話し合った後、ある生徒はこう言いました。「それによって、この調査に対する見方が変わりました。この調査は話し合いの題材を提供し、証を築いてくれるのです。調査のおかげで、学んだことが定着するようになりました。」

### 自分で学ぶのが好きになります。

回復されたイエス・キリストの福音が真実であることを自分で知ることは、人生で最もすばらしく、最も喜ばしい経験

### 生徒たちは、学習理解度調査のどんなところが気に入っているのでしょうか。

生徒のコメント——

「伝道に出て、自分の言っていることが真実が知りたいと思っています。」

「この調査のおかげで、セミナーで学んだことが定着しやすくなりました。」

「前よりも、概念がすごくよく分かるようになりました。」

「自信ができました。」

「良い気持ちを感じるだけで教義について忘れてしまったりするのではなく、実際にこれらの事柄をよく学べるようになっていきます。」

の一つとなり得ます。<sup>3</sup> ある生徒はこう言いました。「わたしはもっと積極的に参加することに喜びを感じました。毎日少しずつ進歩していかなければならないことに気づいたのです。ただ来て椅子に座って聞いているだけでは、必ずしも参加しているとは言えません。」

十二使徒定員会のデビッド・A・ベドナー長老は、学ぶことの大切さを次のように教えています。「学ぶことが好きになることは、イエス・キリストの福音の中心であり、継続的な霊的成長と個人の成長に不可欠です。そして、わたしたちが現在暮らしており、これから後も暮らし、奉仕し、働く世の中に絶対に必要なものなのです。」<sup>4</sup>

努力すればするほど、経験する喜びも学ぶものも大きくなります。■

#### 注

1. トーマス・S・モンソン「一人でも気高く立ち」『リアホナ』2011年11月号、62
2. D・トッド・クリストファーソン「あなたが改心したときには」『リアホナ』2004年5月号、11
3. クレーグ・C・クリステンセン「自分自身で知っている」『リアホナ』2014年11月号、50参照
4. デビッド・A・ベドナー、「Learning to Love Learning,」*Ensign*, 2010年2月号、26

# わたしたちのスペース

## 人が地上にいる目的

**学**校の価値教育月間に、わたしたちは、「わたしはなぜこの世にいるのか」という題で作文を書くように教師から言われました。人生の目的をテーマに、10段落の作文を書くのです。ホワイトボードに書かれたテーマを読んで、わたしの心は安らぎと幸福感で満たされました。わたしは教会員ですから、神の娘としての自分の目的をずっと前から知っています。

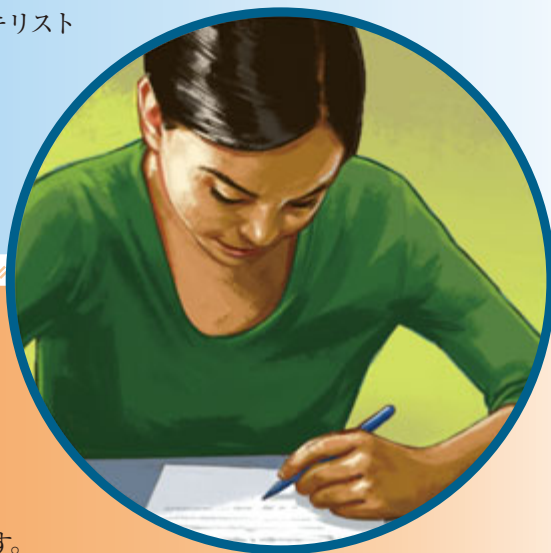
でも、他のクラスメートの顔を見たときに、悲しくてたまらなくなりました。なぜかという、テーマが難しすぎると、彼らがつぶやき始めたからです。彼らには、わたしと同じ知識がありません。

わたしは作文を提出したときに、教会員であるためにいかに自分が祝福されているかが分かりました。その日以来、伝道に出てイエス・キリスト

の福音の証<sup>あかし</sup>を伝えたいという望みが強くなりました。

天の御父がわたしを愛していて、いつの日かわたしに会いたいと思っておられることを、わたしは知っています。また、それこそが他の人に奉仕する目的だということも知っています。■

ジェイミー・A (フィリピン)



## モルモン書にどう助けられたか

**疑**問への答えが必要なときや主の御霊<sup>みたま</sup>を近くに感じる必要があるときはいつでも、モルモン書が靈感を与えてくれます。モルモン書には、忠実で義にかなっていたために御父から選ばれた人々の受けた預言が載っています。この書物から福音について多くの知恵が得られますし、主が常に変わることのない御方であられることを知ることができます。

モルモン書は現代のわたしたちの役に立つ書物です。というのは、昔の人たちが取り組んだ困難な状況は、家族の問題に始まり他の人から受け

る影響に至るまで、現代のわたしたちが直面する困難な状況と似通っているからです。彼らの模範は、気を落とさずに信仰と義をもって力強く進む力と望みを、わたしたちに与えてくれます。昔の人たちも、わたしたちと同じようにさまざまな試練に遭いましたが、それを克服し、逆境に打ち負かされることはありませんでした。このことが分かると、イエス・キリストの福音にしっかりとどまって揺るがずにいようという気持ちが強くなります。■

カロリーヌ・M (ブラジル、サンパウロ)





## 頼まれたところで奉仕する

**エ**ルサルバドル・サンサルバドル神殿が奉獻される少し前、家族とわたしは、オープンハウスで奉仕することにしました。会員でない人が神殿に来たときにイエス・キリストの福音に触れることができるよう助けるのです。わたしはガイドになって、人々に神殿の各部屋と、そこでわたしたちが交わす神聖な聖約と、その聖約を守るときに生活がどう変わるかについて話すという割り当てを受けました。

奉仕の時間になり、わたしは案内を始めました。案内が終わって部屋から出るとすぐに、大きな団体が到着し

たのでまた案内をしてほしいと言われました。応接間に戻ってもう一組の団体を案内するように言われたのです。

そこで応接間に戻ると、割り当てがまた変わり、神殿に到着したばかりの人たちにビデオを見せるようにと言われました。人々に神殿について話すことができないので、わたしは悲しくなりました。

30分ほどたつと、スペイン語の分からないアメリカ合衆国の人たちが到着しました。英語で彼らを案内できる人を、何人かのボランティアが探し回っていました。そのとき、わたしは理解しました。主は本人の望む場所では

ないことがあるにせよ、主が必要とされる場所にわたしたちを送られるのです。わたしはビデオの使い方を知っており、英語で歓迎の言葉が言える唯一の人でした。アメリカ人たちは、神殿を去るときに、温かい歓迎を受けたことをわたしに感謝しました。

一日の奉仕が終わる頃、わたしは主に対して感謝の気持ちを感じていました。主から促された方法で物事を行うならば、自分の行ったことに満足感が得られるということを、主は教えてくださったのです。■

エリック・A (エルサルバドル)

# ほうとうむすこ

ルカ 15: 11-32

この ページを あつ紙か ボール紙に のりではりましょう。  
人の 形に 切りとり、ほうや 紙ぶくろに はりましょう。  
さんしょうせいくを はった ふうとうに ほかんしてください。 ■



とう  
お父さん



おとうと  
弟



あに  
兄



[liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) から、  
もっと いんさつが できます。





この女性たちは、つまずき、母であり、祖母でもあります。他にも一人一人について楽しい事柄を  
シェアしたいと思います。 [liahona.lds.org](http://liahona.lds.org) で、もっとたくさんの方のカードが印刷できます。


# わたしたちの女性指導者



**キャロル・M・スティーブズ** しまい  
中央扶助協会会長会  
 第一顧問



**リンダ・K・バートン** しまい  
中央扶助協会  
 会長



**リンダ・S・リーブズ** しまい  
中央扶助協会会長会  
 第二顧問



**キャロル・F・マッコッキー** しまい  
中央若い女性協会  
 第一顧問



**ボニー・L・オスカーソン** しまい  
中央若い女性  
 会長



**ニール・F・マリョット** しまい  
中央若い女性協会  
 第二顧問



**チェリル・A・エスプリン** しまい  
中央初等協会会長会  
 第一顧問



**ローズマリー・M・ウィクソム** しまい  
中央初等協会  
 会長



**メアリー・R・ダラム** しまい  
中央初等協会会長会  
 第二顧問



- 4人の弟たちと、うら庭のバナナの木で遊びながら育ちました。
- 水泳と、孫たちに本を読んであげることが大好きです。
- モルモン書とイエスの物語を読むことが大好きです。



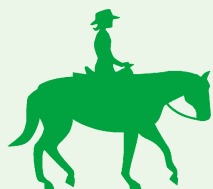
- 子供のとき、ローラースケートや石けり、キックボールや近所での遊びが大好きでした。
- ニューゼalandに住んでいた10代のとき、初等協会音楽指導者にめされました。
- 大学では、小学校の教師になるために勉強しました。



- お母さんがバプテスマを受け、お父さんが教会にもどった後、5才のときに両親と結び固めを受けました。
- 聖歌隊で歌ったり、ボニー・ラッシュというダンスチームのキャプテンをしたりしました。
- 宗教クラスが大好きです。セミナーを教えたこともあります。インスティテュートで夫と出会いました。



- 子供のとき、乗馬や町のロデオパレードで馬に乗るのが好きでした。
- 22才のとき、バプテスマを受けました。
- 最初の仕事は図書館での仕事でした。後で、11人の子供たちにねる前の物語を読み聞かせるのが好きになりました。



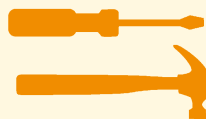
- 子供のとき、あんずの木の下で本を読んだり、二人の兄と木登りをしたりするのが大好きでした。
- 高校のざっしの美術編集者をしていました。大学では文学とグラフィックデザインを勉強しました。
- アメリカ合衆国の8つの州と、スウェーデンには2回住んだことがあります。



- 仕事をしていないときは、納屋の屋根うらで本を読んだり、果樹園や野原で遊んだりするのが大好きでした。
- 10代のときのある年、フランスで夏をすごしました。
- 大学のとき、学生教師として高校の英語のクラスを教えました。



- 冷たい金属にしたをくっつけてしまったときは、危険なことはしない方がよいことを学びました。
- 大学ではダンスを勉強しました。
- 母親になってからは、かんでしや教師、パンしょくにん、にわしのようでもあり、いろいろな物を修理する道具も持つようになりました。



- ふたごの妹と入れかわっていたずらすることもありました。
- 大学を卒業した後、小学校3年生のクラスを教えました。
- 地理の勉強が大好きで、いつかおとすれたいと思っています。た国々を今訪問しています。



- アメリカ合衆国のワイオミング州に住んでいたとき、農場で火事を消し、弟を助け出して、ひどいやけどを負わずにすみしました。
- 読書やスポーツ、特にバスケットボールが大好きです。
- 大学卒業後、2年間学校で教えました。







「いま<sup>いま</sup>はみなさんの時代<sup>じだい</sup>です。  
みなさんは  
神殿<sup>しんでん</sup>と科学<sup>かがく</sup>ぎじゅつ<sup>じだい</sup>の時代に  
生まれました。」

十二使徒定員会  
ニール・L・アンダーセン<sup>ニール・L・アンダーセン</sup>長老  
「神殿と科学技術のある『自分の時代』」  
「リアホナ」2015年2月号, 26-33





「びっくりさせることがあるんだ」とお父さんがえがおで言いました。



# リンゼーの家族のパズル

ジル・ハッキング

教会機関誌  
本当にあったお話をもとに書かれました。

「先祖の名前をさがし求め  
そしてわすれない」

(「エリアが教えた真理」

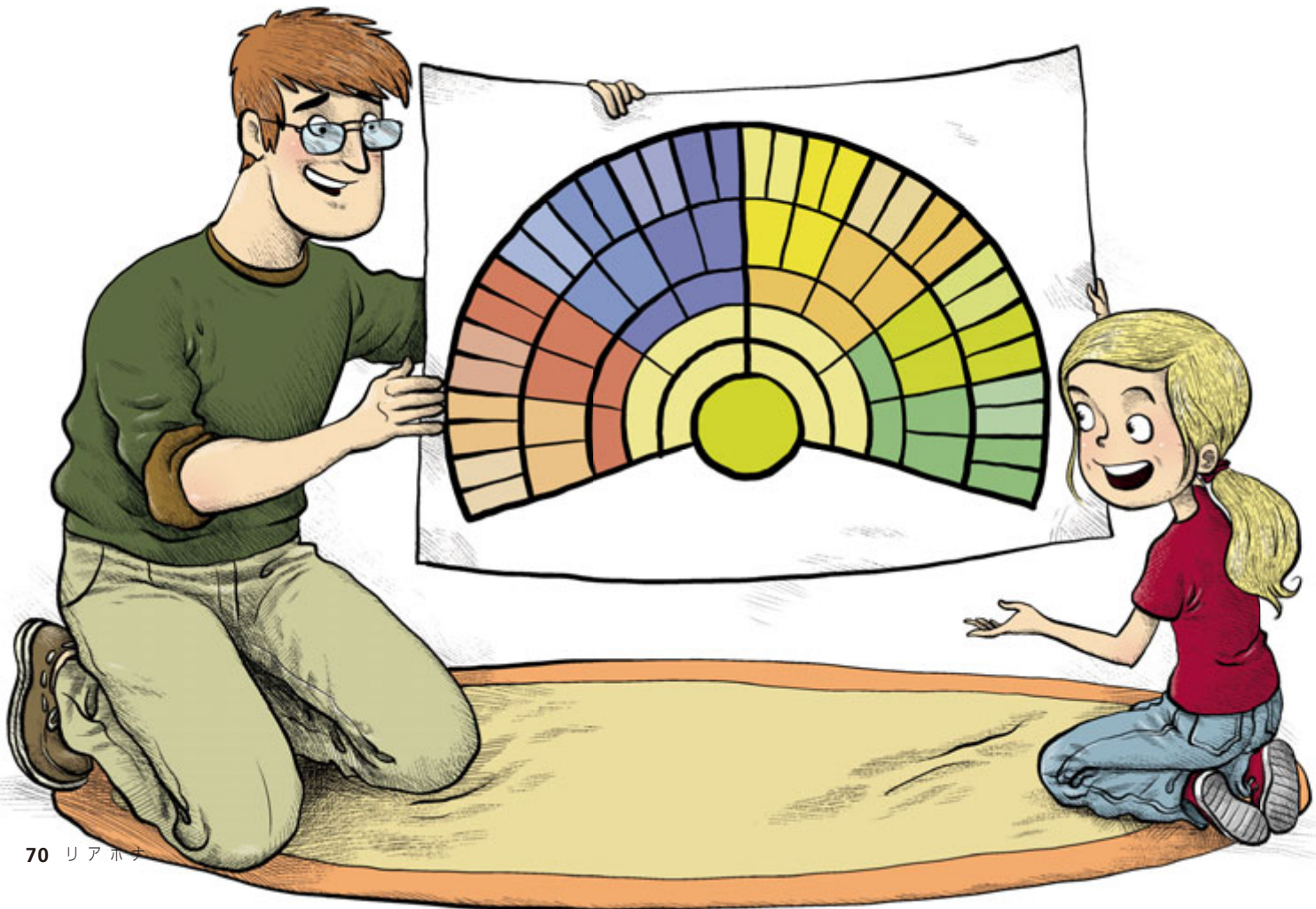
『聖徒の道』2001年10月号, F10-11)

お父さんからよばれて、リンゼーは、あわてて階段をかけ下りました。

最近、家族みんなで家族歴史をよく調べるようになったのです。お父さんに手伝ってもらってファミリーサーチのウェブサイトログインして、家族の写真や物語を見つけるのでした。ついこの間、おじいちゃんが伝道中に書いた、とても古い記録を見つけました。

リンゼーはお父さんが待つ階段の下まで来ると、「今晚も家族歴史を調べるの?」と聞きました。

「そうだよ。びっくりさせることがあるんだ」とお父さんがえがおで言いました。お父さんはせなかにかくしていた、長いまき紙をわたしてくれました。リンゼーはそれをそうっと開くと、そこにかかっている大きなおうぎ形をじっと見つめました。一番下にはリンゼーの名前も書かれてありました。リンゼーの名前の周りにはたくさんの人の名前がきれいにならん







でいました。

「これはお父さんとお母さんね。」  
リンゼーの名前のすぐ近くに書かれて  
いる名前を指さして言いました。  
「それから、おじいちゃんとおばあちゃんもいるわ。」

「そうだよ」とお父さん。「このお  
ぎ形の表には9世代の先祖の名前  
が書けるんだよ。」

そこには本当にたくさんの名前が  
ありました。でも、名前が書かれてい  
ないところもありました。リンゼーは  
なぜそこには名前が書かれていない  
のかなと思いました。「前におじい  
ちゃんとしていたパズルみたい」とリン  
ゼーは言いました。おじいちゃんは  
2、3年前になくなってしまい、リン  
ゼーはおじいちゃんに会いたくてたま  
りませんでした。

お父さんはうなずきました。「本当に  
パズルみたいだね。とても大切な  
パズルだよ。そして、家族や親戚の  
ひとりひとりが、パズルのピースみたい  
なんだよ。」

リンゼーはパズルのピースのよう  
な形をしたおばあちゃんを想像して、  
笑い出しそうになりました。

「だれかの名前を見つけて神殿の  
儀式を受けるとき、その人を他の家  
族みんなに結び付けてあげること  
になるんだよ。まるでパズルのピース  
を合わせるみたいだね。リンゼーは  
パズルを完成させる助けをしているん  
だよ。」

「すごいわ。」リンゼーは一つ一つ  
の名前を指でさわっていきました。  
家族歴史は大切だということは分  
かっていましたが、今は助けることが

もっと楽しみになりました。家族や  
親戚全員が永遠に結ばれるのです。

リンゼーは、二だんベッドのすぐ上  
のかべに、新しくもらった表をはりま  
した。表をながめながら、全部の名  
前を覚えるのが大好きになりました。  
みんなが手をつないで、パズルのピース  
のようにつながっている様子を想像  
しました。幸せな気持ちががしました。  
これは今まで見た中で一番大きなパ  
ズルでした。

あるばん、ねむれないときがあり  
ました。部屋はとっても暗くて小さな  
ライトの光で、かべにかけができて  
いて、こわくなってしまいました。リン  
ゼーは毛布を頭からかぶると、目を  
ぎゅっとつぶりました。

しばらくして毛布からそっと頭を  
出すと、表が見えました。自分の名前  
を読みました。それからお父さんと  
お母さんの名前を読みました。おじ  
いちゃんの名前を読んだとき、温かく  
て平安な気持ちを感じました。

一緒にパズルをしたとき、おじいちゃん  
が見せてくれたえがおを思い出しま  
した。「お父さんの家族歴史を助ける  
とき、家族と一緒につなげているん  
だよ」と思いました。もっとにこにこ  
しているおじいちゃんの顔が思いうか  
びました。もう全然こわくなくなりました。  
リンゼーはにっこりしながら毛布  
にくるまり、みんなのこと、パズルのこ  
と、家族や親戚をみんなつなげるこ  
とを考えながらねむりにつきました。■



### リンゼーのリスト

リンゼーはいろいろな方法で家族歴史を調べています。

FamilySearch.orgで自分のファミリーツリーを  
作りました。家族や親戚の物語や絵をさがしています。

家族歴史のなぞをとくのが大好きです。あるとき、  
見つからない記録が一つありました。お父さんと二人で家族歴史図書館に行きました。たくさん  
のファイルの中から、ある記録のコピーを見つけました。もっとたくさんの親戚の名前も見つける  
ことができました。

家族歴史の活動をしていてリンゼーが一番好きなのは、名前を見つけて神殿の儀式を受けられ  
るようにすることです。12才になって神殿に行ってバプテスマを受けるのを楽しみにしています。

# 家族のお話 クイズ



## キャロライン・コルトン

ゲームをして、自分の家族や家族のお話についてもっと知ろう！

## じゅんぴ

1. お話の4つの種類、例えばおもしろいお話、子供のころのお話、霊的なお話、お休みのときのお話のような種類を考えます。紙に1まい一つの種類を書いて、4まいをかべにはります。
2. それぞれの種類に当てはまる家族のお話を4つずつさがします。家族に助けてもらいましょう。
3. それぞれの物語について短い

ヒントを考えて書きます。

4. ヒントの紙のうら側に100, 200, 300, 400と書きます。お話の種類を書いた紙の下に、その種類に当てはまるお話のヒントの紙を4まいずつはります。

## 遊び方

1. 二つのチームに分かれます。ヒントを書いた人がリーダーになります。
2. 最初のグループがお話の種類とポイント数を選びます。例——「おもしろいお話の200」
3. リーダーはそのヒントの紙を取っ

て、読み上げます。相手チームがそのヒントに合ったお話を言えたら、そのポイントがもらえます。

4. どんなお話か知らないときは、リーダーが代わりに話しますが、細かいことは話さず、その出来事がどこで起こったかや、だれについての話かなどのヒントを出します。当てたら、ポイントの半分がもらえます。
5. 次のチームがヒントを選び、同じ方法で行います。全てのヒントがなくなり、ポイントが一番たくさん持っているチームが勝ちです。



とく べつ しょう にん  
特別な証人



じゅうに しとていんかい  
十二使徒定員会  
ダリン・H・  
オークス長老

じゅうに しとていんかい かいいん  
十二使徒定員会の会員は、  
イエス・キリストの  
特別な証人です。

# どうしたら 人に親切にできますか

わたしたちはみな、  
福音の教えにしたがって  
隣人を愛し、  
言い争いをさげなければ  
なりません。

わたしたちはすべての人々を愛し、  
良い聞き手となり、  
相手が信じることを  
尊重するべきです。

特に家族に親切にするべきです。

いじめたり、ばかにしたり、  
人をきずつけることを  
言ったりすることは  
さげなければなりません。

ダリン・H・オークス  
「違いがあっても周りの人を愛し、受け入れる」  
『リアホナ』2014年11月号、25-28から



よ ろ こ

# 喜んで

た す

# 助けます

エイミー・ジェーン・リービット

ほんとうはなしはなしか  
本当にあったお話をもとに書かれました。

「好きなお母さん手つだうとき 歌が出るほど楽しくなる」  
(『子供の歌集』108)

ウィリアムは家のかべにくまでを立てかけると、草の上にとすんとすわりこみました。葉っぱをくまでで集めるのは大変なことでしたが、ウィリアムとクロエとアメリアががんばったので、やっと仕事が終わりました。飛行機がアルプスの山々の上を飛んで行くのが見えました。どこに行くのだらうと思っで見っていました。

ウィリアムは自分が住んでいる、フランスとスイスの国境近くにある小さな町が大好きでした。世界中からたくさんの方がこの町をおとずれます。これから自分が行きたいところや、これから会える人々のこと、いつか経験するかもしれないぼうけんについて考えました。

空想にふけていると、突然、となりの家の庭から、かさっ、かさっ、かさっという足音と口笛が聞こえてきて、現実に引きもどされました。

「きっとパットがくまでで葉っぱを集めようとしているんだな」とウィリアムは思いました。「うちのは終わってよかった。」

「でも、3人でやるのも大変だったのに、一人でやったら本当に大変だろうな。」ウィリアムは思いました。パットのおくさんのパムは最近手術をしたばかりで、パットは一人







ではっぱ集めをしなければならぬはずです。

「好きな人を手伝うとき、歌が出るほど楽しくなる」と言うのがお母さんの口ぐせでした。ウィリアムは「うちの葉っぱを集めてつかれていても、パットを助けるって意味なんだろうな」と思いました。

ウィリアムはクロエとアメリカの方を見ました。二人は草むらに小さな小えだで家を建てていました。「パットを手伝いに行った方がいいかな。手伝えばあつという間に終わると思うんだ。」そう聞いてみました。

クロエとアメリカは手伝ってもいいと言ってくれ、ウィリアムについて来ました。

「手伝いましょうか？」アメリカは、やぶをぬけてパットの庭に入りながら聞きました。

「助かるよ！でもみんな、午後はずっと葉っぱ集めをしていたんだろう？きつとつかれているよね。」

「大丈夫だよ」とウィリアムは言いました。「手伝いたいんだ。好きな人を手伝うとき、歌が出るほど楽しくなるから。」

作業をしながら、パットはこれまでの人生で楽しかったことを3人に話

してくれました。パットはインド出身でしたが、アジアやアフリカなどいろいろな国に住んだことがあるのです。

葉っぱをふくろに入れた後、ウィリアムが見回すと、パットの庭にある高い2本のリンゴの木の周りにリンゴが散らばっているのが見えました。まだ仕事は終わっていないと思えました。ウィリアムは立ち止まるとリンゴを拾い始めました。拾いながらくさっているのと大丈夫なのを分けました。クロエとアメリカもかけよって来て、リンゴを分けて積み始めました。

パットは茂みから緑色の古い手押し車を押してきました。「くさったリンゴはここに入れよう。大丈夫なのは家に持って行っていいよ。」

「それはいいよ、パット。リンゴは持ち帰らなくて大丈夫だよ」とウィリアムが言いました。

「もらってほしいんだ」とパットは言いました。「だって、人に何かをあげると、歌が出るほど楽しくなるからね。」

その日の夜、夕飯を食べながら、子供たちはお母さんとお父さんに、パットの話聞きながら手伝いをしてどんなに楽しかったかを話しました。

突然ウィリアムはあることを思い付きました。「もらったリンゴを使って何ができるかわかったよ！」そう言っているから飛び上がると、本だなの『リアホナ』を1冊手にしました。「パットとパムはきつとすぐ喜んでくれると思うよ」と言いながら、リンゴケーキのレシピがある方を向きました。「パットが今日言っていたように、『人に何かをあげると、歌が出るほど楽しくなる』よね。」

「ケーキを作って、ほかの近所の人にもあげましょうよ。」クロエが言いました。

ウィリアムはにっこりしました。これから出会うたくさんの人々や、これから聞くわくわくする話について考えました。そのきっかけは、ほんの少しの親切と少しのケーキかもしれません。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。

## 思い出のためのしおり

このしおりを切り取って、あつ紙にはりましょう。  
 せいさん会の間、見ることができるように聖典にはさんでおきましょう。  
 教義と聖約 20 : 77, 79 の、せいさんのいのりのページに、はさんでもよいでしょう。

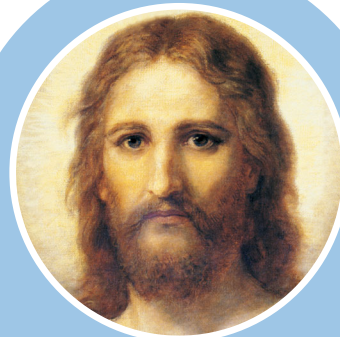
### 家族で話し合しましょう

賛美歌集の中からせいさんの賛美歌を何曲か選んで見てみましょう。賛美歌のメッセージについて話し合ってください。せいさんの賛美歌を歌うことによって、どのようにせいさんを受け取るじゅんびができますか。家族として、教会でせいさんの賛美歌を歌うとき、そのメッセージについて考えるという目標を立てましょう。

歌——「イエス様を思うのは」(『子供の歌集』148)

聖句——ルカ 22 : 19

ビデオ——Biblevideos.orgで、「最後のばんさん」を見ることができます。



イエス・キリストが行われたきせきにはどのようなものがありますか。

イエスは人々に対してどのようにせっしておられましたか。

わたしにはゆるす必要のある人がだれかいるでしょうか。

わたしは何かくい改めるべきことがあるでしょうか。

今週イエス・キリストを覚えるために何ができるでしょうか。

イエスにしたがうためにどんなことができるでしょうか。

### せいくについてのヒント

ほとんどの賛美歌には、参照せいくがのっています。『子供の歌集』の多くの歌にも、参照せいくがのっています。その歌詞の意味がもっとよく分かるように、賛美歌や歌の参照せいくを読んでみましょう。



# せいさん—— イエスを思い出す

エリン・サンダーソン

十字架におかかりになる前のばん、イエスは弟子の二人に夕飯をじゅんぴするようにとおっしゃいました。その後、使徒たちをまねかれました。「最後のばんさん」とよばれる夕飯の席で、イエスは弟子たちにご自分を覚えるための特別な方法をおあたえになりました。そのことについて新約聖書に書かれています。

「また〔イエスは〕パンを取り、感謝してこれをさき、弟子たちにあたえて言われた、『これは、あなたがたのためにあたえるわたしのからだである。

わたしを記念するため、このように行いなさい。』

食事ののち、さかずきも同じ様にして言われた、『このさかずきは、あなたがたのために流すわたしの血で立てられる新しい契約である。』（ルカ 22: 19 - 20）

わたしたちがせいさんを取るとき、最後のばんさんで使徒たちがしたのと同じことをしているのです。パンはイエスの体を表し、イエスがわたしたちのために肉体の苦しみを受けられたことを思い出させてくれます。

水は、わたしたちのためにイエスが流された血を思い出させてくれます。

せいさんのいのりは、バプテスマを受けるときにかわした、イエス・キリストをいつも覚えるという約束も思い出させてくれます。せいさんのいのりを聞きながら、この1週間、イエスを覚えるためにあなたがしたことについて考えてください。これからの1週間、どうしたらイエスを覚えることができるでしょうか。■

このお話を書いた人はアメリカ合衆国ユタ州に住んでいます。



## さらに学ぶ

最後のばんさんで、イエスは使徒たちに大切なことをお教えになりました。

- 人々を愛し、人々に仕えることを教えるために、使徒たちの足をあらわれた。
- 「わたしがあなたがたを愛したように、あなたがたもたがいに愛し合いなさい」と言われた（ヨハネ 13: 34）。
- 使徒たちが人々に福音を教えるようにいのられた。
- 使徒たちとともに賛美歌を歌われた。
- せいいいが使徒たちとともにおられると約束された（ヨハネ 14: 26 - 27 を見ましょう）。

# 新しい気持ち

フランシスレイン・ウルキディ・ファーファン・バサー

本当にあったお話をもとに書かれました。

「みたまは わたしに ささやいてる」

(「お父様は生きています」

『子供の歌集』8)



ガブリエルはイエスについて  
学ぶのが大好きでした。  
聖文の物語を読んでもらうのが  
大好きでした。ガブリエルの家族  
は毎晩一緒に聖文を読みました。  
ある雨の日の夜、温かい家で  
家族みんなでかたをよせ合っ

ていました。お父さんがおいのり  
をしました。それからお母さん  
がモルモン書からお話を読んで  
くれました。ガブリエルはよく  
聞こうとしました。お母さんは、  
イエスが子供たちに話しておら  
れるところを読んでくれました。

「お母さん、子供たちはイエス  
様と一緒にいたの？」ガブリエル  
は聞きました。

「そうよ」とお母さんが言いま  
した。「そして、子供たちひとり  
一人を祝福されて、子供たちの  
ためにいのってくださったのよ。」





ガブリエルは心の中に新しい気持ちを感じました。それが何か分かりませんでした。外は寒いのに、心の中は温かい気持ちを感じました。そして、にっこりしました。

ガブリエルはこの特別な気持ちをみんなに伝えたいと思いました。「すごく幸せであったかい気持ちができるよ」と言いました。あまり幸せで、泣き出してしまいそうでした。

「その特別な気持ちはせいれいだよ」とお父さんが教えてくれました。「せいれいは温かい気持ちを感じさせてくださって、聖文が真実だと知ることができるように助けてくださるんだよ。」



お母さんはにっこりして、ガブリエルをだきしめてくれました。「その気持ちはあなたに、イエス様があなたのことを愛してくださっていると教えてくれるのよ。」

「イエス様はほくを祝福してくださっているんだ」とガブリエルは言いました。「イエス様がモルモン書の中の子供たちを祝福されたようにね。そしてせいれいを送ってくださったんだ。」

ガブリエルは思わずにこにこしてしまいました。そしてこう思いました。「ほくは聖文が真実だって知っている。せいれいがほくに教えてくださったんだ。」■

このお話を書いた人はブラジル、サンパウロに住んでいます。





第5代大管長  
ロレンゾ・スノー大管長  
(1814 - 1901年)

## 救い主の訪れ

主イエス・キリストが  
わたしに御姿を現されたのは、  
ちょうどこの場所だったんだよ。

編集者注——次の話は、ロレンゾ・スノー大管長の息子であるリロイ・C・スノー兄弟によるものです。スノー兄弟は、当時85歳であった父が、病により衰弱しつつあったウィルフォード・ウッドラフ大管長の後を継ぐよう求められることを懸念していたときのことを語っています。1898年9月2日にウッドラフ大管長が亡くなった後、スノー大管長はソルトレーク神殿の聖壇にひざまずいて主に導きを請い求めました。

祈りを終えた〔スノー会長〕は、祈りの答え、すなわち主からの特別な現れがあるものと考えていました。そこで、待っていました。待つて、待ち続けました。しかし、何の答えも、何の声も、何の訪れも、何の現れもありませんでした。〔スノー会長〕は非常に落胆して部屋を出ました。日の栄えの部屋を通過して広い廊下に出ると、栄えある現れを受けました。スノー大管長の孫娘であるアーサー・ヤング・ポンドの言葉を紹介します。……

「ソルトレーク神殿にいる祖父を尋ねたある晩のことです。門衛は既に帰り、夜警はまだ来ていませんでした。そこで祖父はわたしを正面の入り口に連れて行こうと行って、歩き始めました。……祖父の部屋を出て、日の栄えの部屋に通じる広い廊下を



歩いていたときのことでした。わたしはそのとき祖父の数歩前を歩いていました。ちょうどそのとき祖父はわたしを止めてこう言いました。『ちょっとお待ち、アーサー。お前に話したいことがある。ウッドラフ大管長が亡くなったとき、主イエス・キリストがわたしに御姿を現されたのは、ちょうどこの場所だったんだよ。主はわたしに、すぐに行って大管長会を組織するように、前の大管長たちが亡くなった後、待つてくれないようにと仰せられたのだ。わたしがウッドラフ大管長の後を継ぐことになるとも言われた。』

それから祖父はわたしに一歩近寄ると、左手を差し出して言いました。『主はちょうどここに、床から1メートル離れた所に立っておられた。まるで硬い金の板の上に立っておられるよう

に見えた。』

救い主がどれほど栄光に満ちた存在であられるか、主の手足や顔、そして美しい白い衣の様子を説明してくれました。全てが白く栄光に輝いており、まぶしくて見られないほどだったと語りました。

それから、祖父はわたしの方にもう一歩近づくと、右手を私の頭に置いてこう言いました。『アーサー。決して忘れないでおくれ。これがおまえのおじいさんの証だ。おじいさんは神殿のこの場所で救い主と実際に会って、救い主と顔と顔を合わせて話をしたんだよ。』

……わたしはこの経験を第18ワードの聖餐会<sup>せいさん</sup>で話しました。聖餐会が終わると、アーサー・ウィンター長老がやって来て、救い主が神殿で父に御姿を現され、ただちに大管長会を再組織するだけでなくウッドラフ大管長の顧問を務めていたジョージ・Q・キャンロン管長とジョセフ・F・スミス管長を顧問とするよう指示を受けたという話を、自分も聞いたと言いました。

■  
“An Experience of My Father’s,” *Improvement Era*, 第33巻, 11番 (1933年9月), 677, 679で引用。



# 洞 察



**家族に関する世の考えが真実かどうか、どのように判断しますか。**

「家族についてのこの宣言は、世の考えを判断するための基準となりました。わたしは、この宣言に示されている原則が、20年近く前に神の預言者によって与えられたときと同じように今日も真実であることを証<sup>あかし</sup>します。」

# 今月号のその他の記事

## ヤングアダルト

### イエス・キリストの あがな 贖いの力を感じたとき

これらのヤングアダルトたちは、救い主の贖いが、単なる悔い改めをはるかに超えるものであることを学びました。彼らの生活に贖いの力を及ぼした経験について読んでみましょう。



44  
ページ

## 青少年



60  
ページ

### セミナーによる祝福

ベルギーからボリビアに至るまで、末日聖徒の青少年に共通している一つのこと——それはセミナーです！セミナーが犠牲を払う価値のあるものだということに賛成している青少年たちについて読み（60ページ）、セミナーの新しい卒業要件がどのようにあなたの証を強めてくれるか学びましょう（62ページ）。

## 子ども

### リンゼーの かぞく 家族のパズル

今までに、いま家族歴史がパズルとよくにていると思ったことがありますか。  
リンゼーの家族のパズルについて読み（70ページ）、あなたの家族歴史の物語についてもっと知るために、家族と楽しいゲームをしましょう（72ページ）。



70  
ページ

末日聖徒  
イエス・キリスト  
教会

JAPANESE



12569 300